

Hokkaido University News

北大時報

令和2年

4

No. 793 April 2020

総長職務代理からのメッセージ（令和元年度学位記授与，令和2年度入学）
本学永年勤続者表彰に101氏
名誉教授に40氏

お知らせ

・令和2年度人間ドック・特定健康診査の実施について



■ 全学ニュース

- 1 令和元年度学位記授与
- 1 総長職務代理からのメッセージ
- 2 祝辞
- 5 令和2年度入学
- 5 総長職務代理からのメッセージ
- 6 本学永年勤続者表彰に101氏
- 7 名誉教授に40氏
- 8 令和元年度「北海道大学職員表彰」表彰式を挙
- 9 令和2年度北海道大学の予算
- 11 北大フロンティア基金
- 13 北海道大学アンバサダー・パートナー活動報告（令和元年度）
- 14 Academic Fantasia 1月は2名の研究者が高校生に向けた講義を実施
- 15 「オリジナルエコバッグ」を新入生全員に配布
- 15 新渡戸カレッジプログラムの修了について
- 16 大学入試センター試験業務に携わる教職員のための未就学児一時保育を実施
- 16 研究交流発表会「超異分野meetup」を開催

■ 部局ニュース

- 17 法科大学院が教育課程連携協議会を開催
- 18 生命科学院 博士後期課程科目「少人数討論型育成プログラム」（北大帝人ブレインストーミングワークショップ）を実施
- 19 環境健康科学研究教育センターが令和元年度後期「社会と健康」ディプロマ授与を挙
- 19 地球環境科学研究院でFD研修会を開催
- 20 北方生物圏フィールド科学センターで「公開水産科学実習」を開催



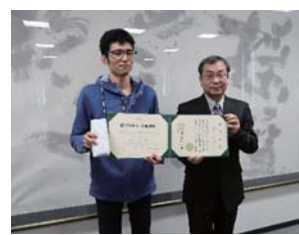
地球環境科学研究院でFD研修会を開催



北海道大学アンバサダー・パートナー活動報告（令和元年度）



Academic Fantasia 1月は2名の研究者が高校生に向けた講義を実施



新渡戸カレッジプログラムの修了について

■ お知らせ

- 21 令和2年度人間ドック・特定健康診査の実施について

■ 博士学位記授与 23

■ 諸会議の開催状況 45

■ 学内規程 46

■ 告示 55

■ 人事 56

- 63 新任部局長等紹介
- 65 部局長等（再任）紹介
- 67 新任教授紹介
- 71 新任部課長等紹介

■ 訃報

- 78 名誉教授 東 三郎 氏
- 78 名誉教授 坂村 貞雄 氏

■ 資料

- 79 令和2年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ
- 80 令和2年度入学者の都道府県分布及び地域比率



北方生物圏フィールド科学センターで「公開水産科学実習」を開催



令和元年度「北海道大学職員表彰」表彰式を挙

表紙：北大春景色

裏表紙：キャンパス風景① 正門（北8条西5丁目）

令和元年度学位記授与

総長職務代理からのメッセージ

北海道大学総長職務代理 笠原 正典

この3月に学士、修士、専門職あるいは博士の学位記を授与され、それぞれの道に進まれる皆さんの門出にあたり、心からお祝いを申し上げます。また、皆さんをこれまで支えてこられたご家族をはじめとする関係各位にも、心から祝意を表します。

本来であれば、関係者が一堂に会して皆さんの門出をお祝いすべきところですが、新型コロナウイルス感染症の流行という非常事態を受けて、学位記授与式の開催を中止することにしました。皆さんの人生においてかけがえのない行事である学位記授与式を挙行できなかったことは大変残念ですが、皆さんならびにご家族の皆様の安全と感染拡大防止の必要性を考えると、やむを得なかったことをご理解いただきたいと思います。しかし、たとえ学位記授与式が中止となっても、皆さんのこれまでの研鑽を称え、前途を祝したいという本学教職員一同の思いには、いささかも変わりがないことを、ここに申し上げておきたいと思います。

この3月には、学士2,441名、修士1,687名、専門職77名、博士313名の方が学位を取得されました。この中には、海外から本学に留学し、学位を取得された、学士33名、修士291名、専門職14名、博士72名の方がおられます。皆さんが学位を取得されるまでには、幾多の困難があったことでしょう。それを乗り越え、学業を成し遂げられたことは、称賛に値することであり、大いに誇りとすべきことです。本学にとっても、皆さんを世に送り出すことは、大きな誇りであります。

ご存知のように、本学は4つの基本理念として、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」を掲げています。これらの理念は、札幌農学校時代から140年以上にわたって本学が大切にしてきたものです。このような理念の下で学ばれた皆さんは、それぞれの専門分野における深い知識を持ちながらも、専門性にとらわれることなく、物事を多元的、俯瞰的に捉える能力と国際的視野、さらには高邁な志と教養人が備えるべき見識を培ってきたと確信しています。

これから皆さんは、社会という大海原に漕ぎ出して行かれることになりますが、卒業により皆さんと本学とのつながりがなくなるわけではありません。むしろ、本学は、これまで以上に皆さんと強い絆を保ち、皆さんがいつでも立ち寄れる「母港」でありたいと願っています。

札幌農学校の初代教頭であったクラーク博士は、“Boys, be ambitious!”と“Be gentleman!”という言葉を残されました。これを時代に合うように言い換えますと、「青年よ、大志を抱け」と「紳士淑女たれ」になると思います。皆さんが、これらの言葉を胸に自らの人生を切り拓き、多くの成功を収めることを祈念しまして、私からのお祝いのメッセージといたします。

令和2年3月25日

祝 辞

北海道大学校友会エルム会長 杉江 和男

本日、北海道大学を卒業される皆さんが自ら選んだ道を歩む人生のスタートに当たり、校友会を代表して、また先に実社会を経験してきたOBとして、皆さんの門出を心からお祝いし、これからの仕事や生活を応援していきたいと思ひます。

今から半世紀前、私が化学会社に入社し、新入社員研修で先輩の課長が「これからは君達の時代だ。君達が会社を引っ張って行って欲しい」という話を聞いて、「何も仕事を知らない新入社員が会社を引っ張れるはずがない。この人は何を言っているのか?」と思ひました。その時から今日まで、日本、世界、そして環境が予想もしない変化を遂げるなかで、働く事とは何か、自分はどう生きるべきか、企業はどう行動すべきかをずっと考えてきました。そして50年前に私が言われた「これからは皆さんが社会を引っ張る」意味を、敢えて卒業生の皆さんに繰り返したいと思ひます。

私は、“反省すれども後悔せず”を座右の銘としています。今日は、多くの失敗をしてきた私の反省と、これから令和に生きる皆さんが後悔しないための心構えを話します。

1. 仕事は自らが創り出すもの

皆さんが生まれ育った平成の日本は、GDPが世界第2位まで上がり、社会学者Ezra Vogelが、躍進する日本の経済力をJapan as No1と絶賛した頂点で始まりました。しかし程なくバブルが崩壊してGDP成長率は平均6%から1%程度に下り、国民の所得水準を表す一人当たりGDPは世界2位から26位に、各国の競争力を比較するIMD国際競争力ランキングは、1位を4年間堅持した後、30位まで下降する激動の30年でした。家電などアメリカ向け製品を安く高品質に仕上げて輸出する、そんな海外依存の経済構造は円高で脆くも崩れました。総じて、日本の技術はMade in USA + α に到達したが、米国の労働市場からは歓迎されないなど、持続可能な目標SDGsは構築できなかったことが大きな反省です。

経済バブル崩壊以降の日本は、国も企業も人も成長目標・戦略を見出せないまま既存事業の改善・改良に留まり、国内企業間の過当競争がデフレを招き、日本は世界のどの国も経験したことが無い低成長国に陥りました。私達大人には、自らの発想で新しい価値を創造する心に欠けていた結果でありました。

2. 情報を目標達成の手段に使う

平成と時を同じくしてアメリカでは、ITプラット

フォーマーと呼ばれるGoogle, Apple, Face Book, Amazon, Microsoftなどが、新たな情報産業を創り出したことは周知の通りです。今や、この5社で働く人は100万人、売上高は日本の国家予算、時価総額は日本のGDPに匹敵する規模に達し、インターネットが創出した新しい稼ぎ方のイノベーションが世界を大きく変革させました。何時でも何処でも欲しい情報が得られ、遠い人・見知らぬ人と容易に交流でき、教育・医療・商取引も人と人の対面からネットに代わってきています。

一方、世界がインターネットを使って新しいビジネスモデルに変革している時に、日本は、人事・会計など組織内業務の効率化に留まったことで、情報化時代の世界から大きな後れを取りました。

超高速通信と共に、人工知能AIによる遠隔手術、同時通訳、自動運転が実現するSociety5.0の社会が目前に迫っています。記憶・記録、認識・変換などは、AI・ロボットに任せ方が余程間違ひが無くなるでしょう。一方、人でなければ出来ない仕事、例えば学校における人間教育、個別対応が不可欠な介護、社会の変化を捉え正しい判断が求められる政治・裁判・金融・組織経営など、そして過去にない発想を求められる科学技術とイノベーション、新しい文化・芸術などは、一日一日変化していく環境と社会を敏感に受け止めて生きる皆さん、すなわち若者が主役でやらなければ誰がするのでしょうか？

3. グローバルな視点で考える

情報化は、国家と国家の間に存在する政治・文化・考え方の違い、そして貧富および人権の格差などを世界の人々に知らしめました。経済面では、どこの国の商品が安く高性能で安全かなどの情報を消費者が容易に知り、企業は、最適な生産国を選択して世界市場に提供する、そのような事業構造でなければ存続できません。日本企業の素材・精密加工品の開発力やサービス業は世界から高く評価されていますが、素晴らしい性能の商品を作っても、それを消費できる国内需要は限られており、市場を世界に求めざるを得ません。一方で、日本の技術を使ってアジアで生産し、安くて質が良い商品を輸入する事業モデル、いわゆる国際分業は、今後も増えていくでしょう。

外国人との会話は、自動翻訳モバイルに任せれば済む時代になりますが、外国人の心は皆さん自身が読まなければなりません。お互いの理解と信頼は、流暢な会話力よりも、外国を含めて文化・歴史・思考などリベラルアーツが基礎に有って得られるものであり、生涯に渡って自己研鑽を続けて欲しいと思ひます。

4. 社会は刻々と変化している

30年後に日本の人口は25%, 3,300万人減少し、3人に一人が65歳以上の高齢者になります。地震・台風・洪水・干ばつ・森林火災など異常気象、自然災害は世界中で年々増加し、災害数では50年前の約5倍に増え、世界で毎年10万人の死者が出ています。

自動車の国内需要は30年前に較べ70%に減りましたが、世界ではまだ成長産業です。しかし今後は、地球温暖化を回避するため動力が電気自動車、燃料電池車に代替し、自動運転・事故防止機能が装備されることで、移動手段である役割から生活の場になるでしょう。

以上のように私達の生きる環境や産業構造は常に変化し、その変化速度は年々早まり、将来を予測できない社会になっています。この時代に、皆さんはどのように行動すれば良いのでしょうか？

5. 対応力に優れる日本の理念

冒頭に反省すべきこととして、自主性・創造力の欠如、情報化の遅れ、グローバルな視点を挙げましたが、世界最高水準と称えられるコトが日本には沢山あります。

自動車の世界トップ20社の中に日本企業は7社入り、日本の技術による素材・部品が無ければ世界先端の情報機器は作れません。食料品も最高級です。その他、デジカメ、医療機器、工作機械、極小金属部品、温水便座、ファインケミカル、小型セラミックス、ICカード、アニメーション等、多くの分野において日本の発想力・技術力は高く評価されています。

また、繊細で多様な食文化、顧客の希望に沿った宅配便やコンビニ、時間・技術とも正確な交通機関、治安の良さ、心がこもったサービス等は世界の誰もが認める日本の良さです。それら製品・サービスの土台を成すものは、礼儀正しく、公共マナーを守り、工夫、きめの細かさ、相手を思いやる心、チームワークなど日本固有の文化・習慣と教育が生み出した日本の理念です。

一方、日本では、少子高齢化が急速に進み、総人口に占める生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の割合は、1990年代半ばの70%をピークに2018年には60%を下回り、生産性が減少するなかで、生産年齢人口一人当たりの実質購買力平価GDP、すなわち働く人一人当たりの日本の実質所得は、USAには及ばないもののフランス・イギリス・カナダと同水準であり、この10年間の増加率はG7国中で最も高いのです。

6. モノではなくて価値を求める

経営学の父と言われるPeter Druckerは、What does our customer consider value?と問いかけました。私が務めたDICは世界最大の印刷インキ会社ですが、30年前から新聞・雑誌の購読数が減少し利益の出ない事業になりました。顧客は印刷会社であり、その価値は安く性能が良いインキです。しかし顧客は消費者と考え、その価値は情報の獲得であり、情報の伝達手段として従来は新聞、今

はデジタル機器になりました。化学会社であるDICは、既存の技術資源を活かした情報機器に使われる液晶・顔料・コーティング剤などのR&Dに勢力を集中し、今では幾つかの商品が大きな世界シェアを持つに至りました。

どんな商品にもライフサイクルが有り、凄いモノでも早ければ1年、長くても20年すれば殆ど消えていきます。新しい商品の開発目標をモノ、Materialに置くのではなく、それらが生み出す価値、Valueに置けば、美味しい、綺麗、楽しい、便利という価値は永遠に存在します。その時代に合った価値を叶える商品・サービスを提供する見方が最も重要です。

7. 協働により何倍もの知恵を得る

イノベーションは、天才的発想ばかりでなくITプラットフォームのような新しい稼ぎ方を見出すことでも起きます。仕事や生活する周りには家族・上司・同僚・顧客・研究者など多様な人がいます。自分一人の力で遣ろうとしないで、周りとは協働して知恵を結集して目標を遂げて下さい。もし、皆さんと意見が違う十人が集まれば、十倍の商品・販路が出来るかもしれません。周りの人が集まるかどうかは、皆さんの人間力次第です。

8. 人として大切な事

トップとリーダーは違います。自分で旗を振る人がリーダーではなく、フォロワーが出来る人がリーダーです。自分の考え・信念を持ち、正しい目標を設定し、自ら行動し、他人の意見を聞いて理解し、目標に挑戦する。それほど難しい事ではなく、そんな人に周りは助けてあげたい気持ちを持つものです。

最後に誤解しないでください。企業や団体が、新入社員に2、3年で創造的な仕事を期待するほど社会は甘く有りません。私が皆さんに望むことは、今迄のように受け身で勉強や仕事をする生き方は今日で終わりにして、これからは自分で考え能動的に生きて欲しい。それがこれからの社会を引っ張ることであり、私達、昭和を生きた老人の反省を繰り返さないことです。日本は、社会を引っ張る潜在力を最も備えた国だと私は信じています。皆さんの先輩たちは、卒業生を同じ家で育った家族として応援してくれることをお伝えし、卒業される皆さんへの祝辞とさせていただきます。

学部・研究科等別の卒業者数、修了者数及び論文博士授与者数

学部・研究科等別の卒業者数、修了者数及び論文博士授与者数は以下のとおりです。
博士学位記授与者については、本号23ページに掲載しています。

(学務部学務企画課)

学部別卒業者数一覧		研究科等別大学院修士課程・専門職学位課程修了者数一覧			
学部名	卒業者	研究科等名	修了者	研究科・教育部・専攻名	修了者
文学部	173	文学研究科	95	法科大学院(法学研究科法律実務専攻)	28
教育学部	47	法学研究科	8	経済学院会計情報専攻	19
法学部	202	情報科学研究科	197	公共政策学教育部公共政策学専攻	30
経済学部	194	水産科学院	115		
理学部	269	環境科学院	127		
医学部	275	理学院	111		
歯学部	52	農学院	172		
薬学部	78	生命科学院	120		
工学部	677	教育学院	38		
農学部	222	国際広報メディア・観光学院	49		
獣医学部	(86) 46	保健科学院	44		
水産学部	191	工学院	(363) 350		
現代日本学プログラム課程	15	総合化学院	152		
計	(2,481) 2,441	経済学院・経済学研究科	51		
括弧書きの数字は 本学及び帯広畜産大 学の合計数		医学院	31		
		医理工学院	11		
		国際食資源学院	16		
		計	(1,700) 1,687	計	77
		括弧書きの数字は本学及び九州大学の合計数			

研究科等別大学院博士課程修了者及び論文博士数一覧

研究科等名	課程博士	論文博士
文学研究科	13	
法学研究科	2	
歯学研究科	34	
水産科学院	5	
環境科学院	11	5
理学院	18	
農学院	25	4
生命科学院	32	
教育学院	5	1
国際広報メディア・観光学院	6	
保健科学院	3	
工学院	18	
総合化学院	22	
経済学院	7	
医学院・医学研究科	71	1
獣医学院・獣医学研究科	13	2
医理工学院	3	
情報科学院・情報科学研究科	25	
計	313	13

令和2年度入学

総長職務代理からのメッセージ

北海道大学総長職務代理 笠原 正典

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ご家族、関係者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、入学式を挙行することができませんでした。規模を縮小して実施することも検討しましたが、皆さんとご家族、関係者の皆様の安全を第一に考え、中止した次第です。皆さんにとって一生の思い出になったはずの入学式を挙行できなかったことは誠に残念ですが、やむをえなかったことをご理解いただきたいと思います。式はなくとも、北海道大学の一員となる皆さんを暖かく迎えたいという本学教職員の思いに全く変わりはありません。

また、皆さんと教職員を新型コロナウイルス感染の脅威から守るため、授業の開始日を5月11日として、授業も可能な限りオンラインで行う準備をしています。新年度の始まりを心待ちにされていた皆さんにとっては戸惑うことが多いと思いますが、この点についてもご理解ください。

さて、本学の前身である札幌農学校は、我が国における最初期の学士授与機関の一つとして、1876年に設立されました。そこでは、米国マサチューセッツ農科大学から招聘された初代教頭ウイリアム・S・クラーク博士の指導のもと、リベラル・アーツ教育を基盤として、農学にとどまらず、化学、数学、生物学から語学、歴史学、経済学まで幅広い分野の教育が英語により実施されました。クラーク博士は、札幌農学校の開校式においてlofty ambition（高邁なる大志）について触れていますが、これは時代の課題に対峙し、敢然として新しい道を切り拓いていく勇氣と行動力の重要性を学生に訓示したものです。また、学生が規律違反を起こした際に、クラーク博士は“Be gentleman”（時代に合うように言い換えると、「紳士・淑女たれ」）と言われ、学生の自覚を促したと伝わっています。本学は教育・研究に関する4つの基本理念として、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」を掲げておりますが、これらの理念はいずれも札幌農学校の時代から大切に継承されてきたものであることがお分かりになるとと思います。

本学は、いまや12の学部と21の大学院、そして3つの専門職大学院を擁する我が国屈指の基幹総合大学へと発展を遂げ、世界水準の教育・研究が行われています。日本全国はもとより、100を超える国々から集った約1万9,000名の

学生が在籍し、国際色もきわめて豊かです。札幌市の中心に位置する札幌キャンパスのほか、函館市に水産学部のキャンパスがあり、ほかにも臨海・臨湖実験所、果樹園、植物園、牧場などを有しています。また、全国6カ所に広大な研究林があり、本学の総敷地面積660平方キロメートルは国土面積の約500分の1に及びます。皆さんには緑豊かな広大なキャンパスでのびのびと勉学に励んでいただきたいと思います。

これから大学で学んでいくにあたって、どういうことに留意すべきでしょうか。私が重要と思うのは、社会的課題であれ、学問的な問題であれ、世の中の多くの課題や問題のほとんどは非常に複雑であり、唯一の絶対的な解はないということです。高校までは、はっきりとした答えのある問題を解ければ、それでよかったわけですが、大学では解がない、複数の不完全な解がある、あるいは解があるのかわからないのかも分からない課題や問題に対処する能力を身に付けていく必要があります。環境汚染、気候変動、エネルギー資源の枯渇、少子高齢化、貧富の格差拡大等の諸課題はもちろんのこと、喫緊の課題になっている新型コロナウイルス感染症の制御や制圧も極めて複雑な問題であり、国や地域によって対応が異なることからわかるように、唯一の絶対的な対処方法はありません。

複雑で困難な課題や問題に対処するためには、専門知識の習得はもちろん重要ですが、それだけでは不十分です。専門領域にとらわれない俯瞰的で複合的、さらには国際的な視点をもって、自らの頭でじっくりと考えること、多様な人々の理解と信頼を得ながらチームを組んで仕事をしていくことが大切だと思います。本学における日々の学びを通じて、そのような能力を修得していただければ幸いです。本学は創基150周年を迎える2026年に向けて、「北海道大学近未来戦略150」を策定していますが、その中で「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」という標語を掲げています。皆さんが、本学で学んだあと、世界の課題解決に貢献する人材として巣立っていかれることを強く願っています。

結びに、皆さんの学生生活が楽しく、そして実り多いものとなることを祈念して、私からのメッセージといたします。ご入学、誠におめでとうございます。

令和2年4月6日

本学永年勤続者表彰に101氏

令和2年3月31日をもって定年、または15年以上在職し退職された101氏に対し、本学に永年勤務し職務に精励された功労を讃え、表彰状が贈呈されました。

なお、このたび表彰を受けられた方々は、以下のとおりです。

(総務企画部人事課厚生労務室)

北海道大学永年勤続者表彰（退職時）被表彰者

所 属	氏 名	所 属	氏 名
総務企画部	栗 林 幸 徳	保健科学研究院	齋 藤 健
学務部	岡 林 精 二	〃	山 本 徹
〃	山 本 直 美	工学研究院	鈴 木 亮 輔
研究推進部	六 家 英 紀	〃	千 歩 修
施設部	天 野 良	〃	高 木 睦
〃	飯 島 浩 司	〃	西 口 規 彦
〃	小 澤 嘉	〃	羽 山 広 文
法学研究科	加 藤 智 章	〃	増 田 隆 夫
〃	常 本 照 樹	〃	山 下 俊 彦
〃	田 口 正 樹	〃	横 田 弘
水産科学研究院	宮 下 和 夫	〃	村 尾 直 人
〃	安 井 肇	〃	藤 田 進一郎
〃	宮 澤 晴 彦	〃	熊 谷 治 夫
〃	足 立 伸 次	〃	志 村 和 紀
〃	李 大 雄	〃	西 山 修 輔
水産学部	藤 本 文 雄	工学系事務部	小 川 悟
函館キャンパス事務部	小 塩 俊 二	〃	上 平 聖 子
地球環境科学研究院	藏 崎 正 明	経済学研究院	板 谷 淳 一
〃	山 崎 健 一	〃	蟹 江 章
理学研究院	由 利 美智子	〃	谷 口 勇 仁
〃	及 川 英 秋	医学系事務部	寺 澤 睦
理学・生命科学事務部	川 上 豊	〃	松 嶋 敏 幸
薬学研究院	井 関 健	〃	藤 沢 一 教
〃	武 田 宏 司	歯学研究院	鄭 漢 忠
薬学事務部	三本木 毅	〃	飯 塚 正
農学研究院	内 藤 哲	歯学事務部	中 谷 慎 志
〃	波多野 隆 介	文学研究院	池 田 証 壽
〃	伴 戸 久 徳	〃	北 村 清 彦
〃	柳 村 俊 介	文学事務部	谷 口 貢
〃	谷 宏	情報科学研究院	金 子 俊 一
〃	和 田 大	〃	ZEUGMANN THOMAS
農学・食資源学事務部	見 永 博 英	〃	宮 永 喜 一
教育学研究院	小 内 透	〃	喜 田 拓 也
〃	保 延 光 一	公共政策学連携研究部	町 野 和 夫
メディア・コミュニケーション研究院	宇佐見 森 吉	低温科学研究所	隅 田 明 洋
〃	竹 中 のぞみ	〃	石 井 吉 之
〃	長 野 督	〃	羽 生 俊 明
〃	河 合 剛	電子科学研究所	三 澤 弘 明

所	属	氏	名
遺伝子病制御研究所		瀧	本 将 人
量子集積エレクトロニクス研究センター		橋	詰 保
北方生物圏フィールド科学センター		荒	木 肇
〃		齊	藤 隆
〃		日	浦 勉
〃		杉	山 弘
〃		峯	田 学
高等教育推進機構		鈴	木 誠
産学・地域協働推進機構		小野寺	晃 一
北海道大学病院		三古谷	忠
〃		下河原	みゆき
〃		蓮	池 清 美
〃		三佐川	清 美

所	属	氏	名
北海道大学病院		棚	田 郁 子
〃		宮	崎 文 江
〃		高	橋 早 苗
〃		太	田 知 子
〃		嶋	原 祐 子
〃		古	源 尚 美
〃		大	村 朗 子
病院事務部		阿	部 康 成
〃		吉	田 直 美
〃		渡	邊 玲 子
〃		三	浦 淳
保健センター		武	田 弘 子

名誉教授に40氏

本学名誉教授称号授与規程に基づき、3月18日（水）開催の教育研究評議会において、次の40氏に対し名誉教授の称号を授与することを決定し、本年4月から新たに名誉教授となられる方々には、決定通知が送付されました。

（総務企画部人事課厚生労務室）

北海道大学名誉教授

加 藤 智 章	（元大学院法学研究科教授）	鈴 木 亮 輔	（元大学院工学研究院教授）
田 口 正 樹	（元大学院法学研究科教授）	小 林 幸 徳	（元大学院工学研究院教授）
藤 原 正 則	（元大学院法学研究科教授）	山 下 俊 彦	（元大学院工学研究院教授）
常 本 照 樹	（元大学院法学研究科教授）	横 田 弘	（元大学院工学研究院教授）
足 立 伸 次	（元大学院水産科学研究院教授）	千 歩 修	（元大学院工学研究院教授）
宮 下 和 夫	（元大学院水産科学研究院教授）	羽 山 広 文	（元大学院工学研究院教授）
安 井 肇	（元大学院水産科学研究院教授）	板 谷 淳 一	（元大学院経済学研究院教授）
由 利 美智子	（元大学院理学研究院教授）	蟹 江 章	（元大学院経済学研究院教授）
井 関 健	（元大学院薬学研究院教授）	町 野 和 夫	（元大学院経済学研究院教授）
武 田 宏 司	（元大学院薬学研究院教授）	鄭 漢 忠	（元大学院歯学研究院教授）
波多野 隆 介	（元大学院農学研究院教授）	土 門 卓 文	（元大学院歯学研究院教授）
伴 戸 久 徳	（元大学院農学研究院教授）	北 村 清 彦	（元大学院文学研究院教授）
内 藤 哲	（元大学院農学研究院教授）	池 田 証 壽	（元大学院文学研究院教授）
柳 村 俊 介	（元大学院農学研究院教授）	金 子 俊 一	（元大学院情報科学研究院教授）
川 端 和 重	（元大学院先端生命科学研究院教授）	ZEUGMANN THOMAS	（元大学院情報科学研究院教授）
小 内 透	（元大学院教育学研究院教授）	宮 永 喜 一	（元大学院情報科学研究院教授）
佐 川 正	（元大学院保健科学研究院教授）	橋 詰 保	（元量子集積エレクトロニクス研究センター教授）
西 口 規 彦	（元大学院工学研究院教授）	荒 木 肇	（元北方生物圏フィールド科学センター教授）
高 木 睦	（元大学院工学研究院教授）	齊 藤 隆	（元北方生物圏フィールド科学センター教授）
増 田 隆 夫	（元大学院工学研究院教授）	鈴 木 誠	（元高等教育推進機構教授）

令和元年度「北海道大学職員表彰」表彰式を挙行



被表彰者と笠原総長職務代理ほか列席者

3月6日（金）、役員会室において「北海道大学職員表彰」表彰式が行われ、関係者列席のもと、笠原正典総長職務代理から被表彰者に、賞状及びメダルが授与されました。

この表彰は、職務上顕著な功績等が

あった方及び職務外において職員の模範として表彰に値する善行を行った方を対象とするものです。

このたび表彰された方は、工学研究院工学系技術センター技術部嘱託職員の中村真人氏で、永年にわたり工学研

究の技術支援に精励され、本学の教育研究に多大な貢献をされるとともに、学会活動を通じて専門技術者として学術研究の支援に貢献されました。

（総務企画部人事課厚生労務室）

令和2年度北海道大学の予算

令和2年度 北海道大学収入・支出予算書

(単位：千円)

収 入				支 出			
事 項	前年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額	事 項	前年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額
〔一般会計〕	45,094,524	44,791,827	△302,697	〔一般会計〕	45,094,524	44,791,827	△302,697
運営費交付金収入	34,151,931	32,659,114	△1,492,817	人件費	27,610,275	27,608,529	△1,746
学生納付金	9,524,057	10,712,186	1,188,129	共通政策課題分	470,458	477,805	7,347
雑収入	1,418,536	1,420,527	1,991	特殊要因経費	2,751,683	1,673,394	△1,078,289
				退職手当	2,379,485	1,468,364	△911,121
				建物新営に伴う設備費	74,079	43,847	△30,232
				移転費	290,161	161,183	△128,978
				P C B廃棄物処理費	7,958	0	△7,958
				調整費	200,000	200,000	0
				特定経費	3,221,353	3,844,179	622,826
				電子計算機借料	279,428	281,375	1,947
				電子ジャーナル経費	600,000	457,356	△142,644
				公租公課，保険料等	1,015,970	1,029,455	13,485
				燃料費	20,937	0	△20,937
				授業料等減免費	0	766,717	766,717
				収入見合経費	1,305,018	1,309,276	4,258
				学長裁量経費	4,734,055	4,906,074	172,019
				学長裁量経費	2,218,670	2,400,670	182,000
				機能強化促進事業 (基幹経費化分)	2,515,385	2,505,404	△9,981
				(機能強化促進分)	843,844	1,031,113	187,269
					1,671,541	1,474,291	△197,250
				基盤配分経費	6,106,700	6,081,846	△24,854
〔病院会計〕	31,925,001	33,368,396	1,443,395	〔病院会計〕	31,925,001	33,368,396	1,443,395
運営費交付金収入	2,475,320	2,428,045	△47,275	人件費	8,761,365	8,729,979	△31,386
附属病院収入	29,219,513	30,700,705	1,481,192	学長裁量経費	524,071	515,686	△8,385
雑収入	230,168	239,646	9,478	機能強化促進事業 (基幹経費化分)	524,071	515,686	△8,385
					524,071	515,686	△8,385
				病院診療経費	21,633,930	23,375,720	1,741,790
				債務償還経費	900,839	643,892	△256,947
				基盤配分経費	104,796	103,119	△1,677
〔外部資金会計〕	23,532,018	25,568,400	2,036,382	〔外部資金会計〕	23,532,018	25,568,400	2,036,382
施設費補助金等収入	1,292,040	2,185,470	893,430	施設整備費	1,292,040	2,185,470	893,430
保育園運営費補助金収入	93,001	95,758	2,757	保育園運営費補助金事業費	93,001	95,758	2,757
授業料等減免費交付金収入	0	300,086	300,086	授業料等減免費交付金事業費	0	300,086	300,086
寄附金収入	2,457,616	2,418,447	△39,169	直接事業費	19,222,247	19,885,157	662,910
受託研究収入	6,325,419	6,725,292	399,873	寄附金事業費	2,417,331	2,374,357	△42,974
共同研究収入	2,044,452	1,810,030	△234,422	受託研究費	5,370,675	5,725,360	354,685
受託事業収入	1,031,522	1,275,756	244,234	共同研究費	1,728,906	1,477,625	△251,281
大学改革補助金等収入	3,381,368	3,620,623	239,255	受託事業費	1,003,412	1,246,011	242,599
文部科学省科学研究費補助金	6,730,200	6,995,323	265,123	大学改革補助金等事業費	3,305,138	3,534,535	229,397
厚生労働省科学研究費補助金	115,911	93,497	△22,414	文部科学省科学研究費補助金	5,233,029	5,398,262	165,233
その他助成金等	60,489	48,118	△12,371	厚生労働省科学研究費補助金	103,517	81,089	△22,428
				その他助成金等	60,239	47,918	△12,321
				間接経費	2,924,730	3,101,929	177,199
				特定経費(電子計算機借料)	800,940	785,160	△15,780
				特定経費 (燃料費)	635,247	580,272	△54,975
				特定経費 (電子ジャーナル経費)	0	142,644	142,644
				部局配分経費	1,488,543	1,593,853	105,310
合 計	100,551,543	103,728,623	3,177,080	合 計	100,551,543	103,728,623	3,177,080

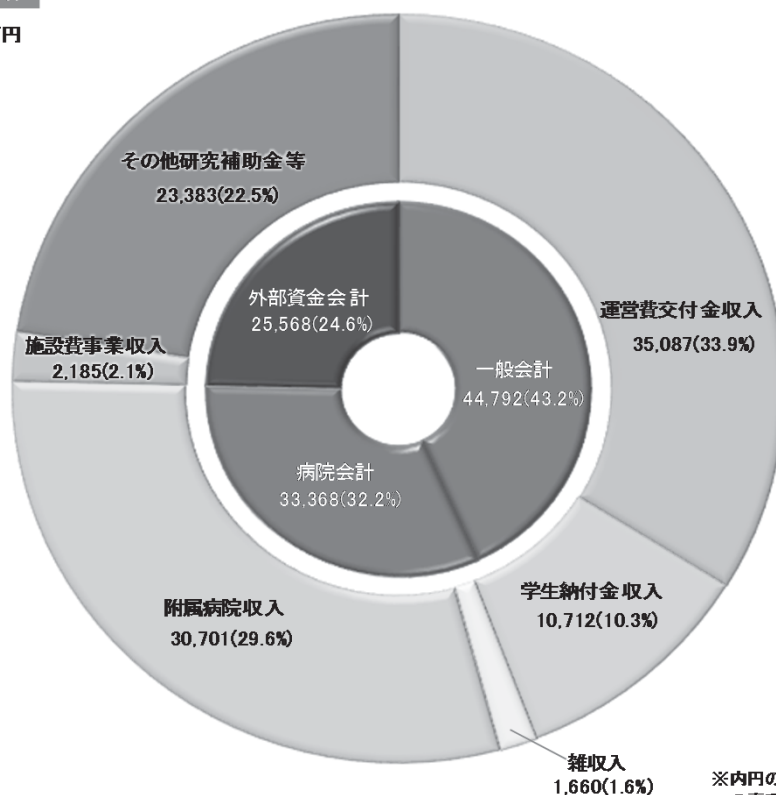
〔その他繰越金等：令和元年度末見込み〕	
目的積立金（平成28～30年度分）	2,344,720千円
寄附金（フロンティア基金）	2,161,822千円
寄附金（フロンティア基金以外）	5,834,854千円
計	10,341,396千円

令和2年度 北海道大学収入・支出予算（グラフ）

収入予算 全体

103,729百万円

（単位：百万円）

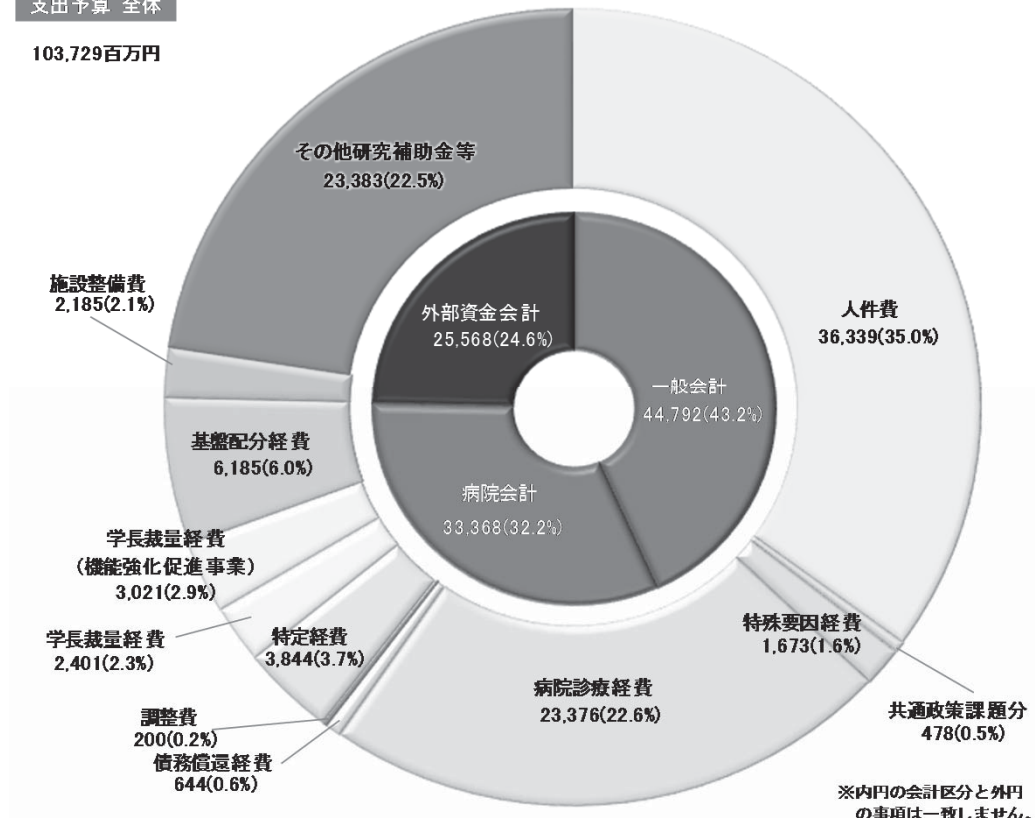


※内円の会計区分と外円の事項は一致しません。

（単位：百万円）

支出予算 全体

103,729百万円



※内円の会計区分と外円の事項は一致しません。

※項目毎に四捨五入を行っているため、合計が一致しない場合があります。

（財務部主計課）

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動をするとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報
基金累計額（3月31日現在）

26,066件 5,073,141,316円

3月のご寄附状況

法人等17社、個人209名の方々から51,565,205円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいているの方々のご芳名、銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

寄附者ご芳名（法人等）

アジア航測株式会社、栄研化学株式会社、株式会社MA Tコンサルティング、株式会社OHEN、国土防災技術株式会社、寺田医院、日本工営株式会社札幌支店、ニューオータニイン札幌、株式会社日立製作所、株式会社不動、北海道大学生生活協同組合、株式会社ムトウ

寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	阿部 孝夫	在田 一則	石井 哲夫	石田 晋	石塚 羊治	市川 暁雄	伊藤 沙和
井上 清嗣	井原 博	入澤 秀次	上田 諭	内村慎・知榮子	縁記 和也	延與三知夫	大沢 正人
大津 有史	大原 正範	奥田 英信	小田原一史	小内 透	小原 嵐	金川 眞行	金澤 勝幸
金子豊三郎	兼平 孝	河本 充司	岸 和弘	岸並 正憲	倉田 博司	栗林 道夫	越田 信
小林 広武	今野 隆彦	斉藤 久	坂本 大介	三升畑元基	志済 聡子	杉江 和男	鈴木 貴之
鈴木 良子	瀬名波栄潤	高木 正和	高橋 誠	高橋 洋介	竹内 政夫	田邊 謹也	長 靖
土家 琢磨	土屋 裕	寺澤 睦	寺本 英司	戸田 純子	豊田 威信	鳥潟 肇	中塚 英俊
中村 史郎	西浦 伸重	西田 実弘	花川 裕規	原 二郎	平田 健司	平野 哲夫	福永 悟郎
藤井 廣厚	藤澤 裕子	船津 保浩	星 隆一	前田 博	牧野 志雄	政氏 伸夫	眞下 昌久
松田 健一	松原 謙一	松本 隆文	右田 拓也	御子神弘久	三角公太郎	皆川 一志	宮入 隆
宮田 信幸	向井 成司	武藤 清秀	村 政幸	村上 幸夫	横井 成尚	横山 考	吉川 友二
吉田 年克	吉田 広志	米子やよい	若林 隆三	和氣 光則	渡部 哲哉		

銘板の掲示（20万円以上のご寄附）

（法人）

国土防災技術株式会社、株式会社不動

（個人）

石田 晋、延與三知夫、平田 健司、平野 哲夫、三角公太郎、御子神弘久

感謝状の贈呈



富井建設株式会社 様（令和2年3月3日）

ご寄附のお申し込み方法

北大フロンティア基金ホームページの「教職員の方によるご寄附について」にアクセスして下さい。

<https://www.hokudai.ac.jp/fund/howto-staff.html>

①給与からの引き落とし

ホームページから「北大フロンティア基金申込書（兼・給与口座からの引落依頼書）」をダウンロードし、ご記入の上、基金事務室に提出してください。

②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお送りします。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、基金事務室にご持参ください。

申込書は、ホームページから「北大フロンティア基金申込書（教職員現金用）」をダウンロードしてご記入いただくか、基金事務室にもご用意していますので、基金事務室にお越しただいてからご記入いただくことも可能です。

④クレジットカード決済・コンビニ決済でのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ

(<https://www.hokudai.ac.jp/cgi-bin/fund/bin/xRegist.cgi>) の寄附申し込みフォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室（事務局・学内電話 2017）
--

（総務企画部広報課）

北海道大学アンバサダー・パートナー活動報告（令和元年度）

「北海道大学アンバサダー・パートナー制度」は、北海道大学創基150年に向けた近未来戦略の中核となる「Hokkaidoユニバーサルキャンパスイニシアチブ（HUCI）」で構想され、「世界各地に本学を強力にサポートしてくださる広報・人的ネットワークを構築すること」を目的として運用開始され、令和2年度で5年目を迎えました。

令和5年度までに330名のアンバサダー・パートナー登録を目指しているところ、現時点で延べ207名に協力いただいています（国別の内訳は右表のとおり）。令和元年度は、世界各国の北海道大学アンバサダー・パートナーに、国際広報の他、サマー・インスティテュートに講師として参加・来学や、当該国の大学と連携した交流イベントを主催、COVID-19パンデミックに際してマスク寄附のための募金活動の発起人を務めるなど、多種多様なご支援とご協力をいただいてきました。

その一方で①委嘱の地域バランス、②同窓会設立支援との連携、③他事業との協働推進による効率化促進、の3つに課題を残しており、これらを解決するためには、教職員の皆様のより一層の協力が重要です。

アンバサダー・パートナーの委嘱手続きは、4半期毎に行っており、直近の委嘱承認は6月初旬を予定しております。特に委嘱者の少ない地域のパートナー候補者の推薦にご協力願います。

（総務企画部広報課）

（2020年4月1日現在）

地域名	国名	アンバサダー	パートナー
アジア	インド	1	0
	インドネシア共和国	2	7
	シンガポール共和国	0	1
	タイ王国	3	8
	台湾	1	1
	大韓民国	3	59
	中華人民共和国	3	12
	日本	1	0
	ネパール連邦民主主義共和国	0	1
	バングラデシュ人民共和国	0	1
	フィリピン共和国	4	4
	ベトナム社会主義共和国	3	3
	マレーシア	2	4
オセアニア	ミャンマー連邦共和国	3	1
	モンゴル国	1	1
	オーストラリア連邦	1	0
ヨーロッパ	イタリア共和国	0	1
	ウズベキスタン共和国	1	2
	英国	1	0
	カザフスタン	1	0
	スイス連邦	2	0
	スウェーデン王国	0	1
	セルビア共和国	0	1
	ドイツ連邦共和国	1	1
	フィンランド	1	3
	ベルギー	0	2
北米	ロシア連邦	1	2
	アメリカ合衆国	2	3
中南米	カナダ	1	2
	コロンビア共和国	1	0
	ブラジル連邦共和国	1	3
中東	メキシコ合衆国	0	2
	パレスチナ	0	1
アフリカ	エチオピア連邦民主共和国	0	1
	ザンビア共和国	1	9
	南アフリカ共和国	0	1
合計（実数）		42	138



サマー・インスティテュートに参加・来学した北海道大学パートナー トルステン・ウォーランド シンガポール国立大学教授（最後列右から4人目）と同ヴラダナ・ヴゴジェヴィチ カロリンスカ研究所准教授（最前列左から2人目）



インドネシア同窓会年次総会・同国の大学との交流イベントを主宰・参加した北海道大学アンバサダー ハニー・ウィジャヤボゴール農業大学教授（中列右から3人目）



北海道大学パートナー李憲龍氏（岡山大学上海事務所職員）の呼びかけにより集められた募金で寄附されたマスク

Academic Fantasia

1月は2名の研究者が高校生に向けた講義を実施

平成24年度から実施している「国民との科学・技術対話」推進に関する研究支援事業、通称「Academic Fantasia（アカデミックファンタジスタ）」では、北海道新聞社の協力のもと、高校生を対象とした講義を行っています。1月は2名の研究者が高校生に講義を実施しました。

（総務企画部広報課）

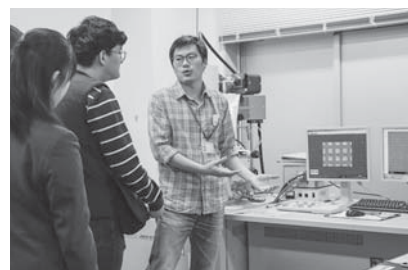
「夢のエネルギー人工光合成の実現に向けて」

- 日 時：令和2年1月22日（水）9:30-11:30
- 会 場：北海道大学 創成科学研究棟
- 参加生徒：札幌日本大学高等学校（1年生5名、2年生5名）
韓国 仁川科学芸術英才高等学校
（1年生10名） 計20名
- 講 師：三澤弘明（電子科学研究所 教授）



参加した高校生と。写真中央が三澤教授。

三澤教授は、10月に実施した北海道札幌北高等学校での出張講義につづき、本学に札幌日本大学高等学校と韓国の仁川科学芸術英才高等学校の生徒を迎え、公開講義を実施しました。人工光合成の開発をテーマにした講義の後、3グループに分かれ、クリーンルームや顕微鏡室の見学、実験室での演示実験などを行いました。



講義後は三澤研のメンバーが高校生を案内。写真は、顕微鏡について説明する石 旭助教。

「がんの個別化治療」

- 日 時：令和2年1月28日（火）16:15-17:55
- 会 場：北海道大学 中央キャンパス総合研究棟3号館、
北海道大学病院 臨床研究開発センター
- 参加生徒：藤女子高等学校（1年生9名）
北海道札幌北高等学校（1年生9名）
- 講 師：秋田弘俊（北海道大学病院長 教授）
畑中佳奈子
（北海道大学病院 臨床研究開発センター 特任講師）



講義をする秋田教授

秋田教授は、がんの原因となる一人ひとり異なった遺伝子の異常を見つけ、最適な治療薬を選ぶ「がんゲノム医療」の研究を進めています。講義では、がんの発生や進展に強く関わる「ドライバー遺伝子」が見つかったことなどを解説しました。講義後、生徒たちは畑中佳奈子特任講師の案内のもと、血液や組織といった研究用検体を保管する生体試料管理室を訪れ、がんの組織標本を手にとったり、次世代シーケンサーを見学しました。



生体試料管理室見学の様子

「オリジナルエコバッグ」を新入生全員に配布

このたび、校友会エilmでは「オリジナルエコバッグ」を作成し、新入生約2,600人全員に配布しました。

作成・配布に至った経緯としては、キャンパス内のプラスチックごみの削減に向けて、北海道大学、北海道大学校友会エilm、北海道大学生協の三者で協議を行い、校友会エilmが毎年入学生に配布しているトートバッグの配布を見直し、プラスチックごみ削減に高い効果が期待できる「北大オリジナルエコバッグ」を作成して配布することになったものです。

作成に当たっては、北大オリジナルグッズのデザインを担当いただいているデザイナーの鎌田順也氏に依頼し、

活用の推進を図るため、常に持ち歩けるよう、小さく折りたためる仕様になっています。

当初、入学式での配布を予定しておりましたが中止となったことを受け、4月14日（火）に郵送にて新入生全員

の手に届けました。

校友会エilmでは、本取り組みにより、キャンパス内のプラスチックごみ削減に貢献していきます。

（総務企画部広報課）



スクールカラーであるグリーンの素材に「エンレイソウ」をあしらったデザイン



発送作業の様子

新渡戸カレッジプログラムの修了について

3月をもって、基礎プログラム大学院教育コース履修生の13名、オナーズプログラム大学院教育コース履修生の22名、及び新渡戸スクール基礎プログラム履修生の5名が、新渡戸カレッジ及び新渡戸スクールの各プログラムを修了しました。

修了証書の授与については、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況に鑑み、修了式を開催中止としたため、新渡戸カレッジ担当にて各修了生にお渡しする方法で行いました。

また、オナーズプログラム修了生にはアソシエイト（大学院）の称号を授

与するとともに、特に優秀と認められた2名に対し、優秀賞を授与しました。

（学務部教育推進課）

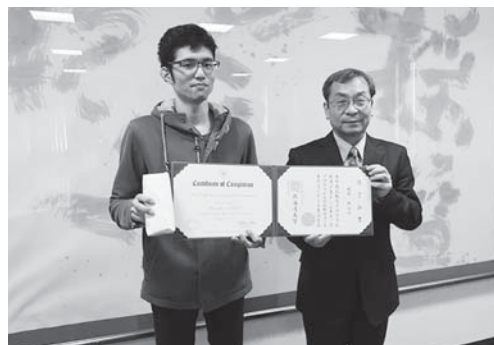
優秀賞受賞者

チュク・イフェアニー・プロミス（水産科学院）
梶井 伸之介（情報科学研究科）

修了証書・優秀賞及び記念品の授与



チュク・イフェアニー・プロミスさん



梶井伸之介さん（左）と山口淳二副校長

大学入試センター試験業務に携わる教職員のための未就学児一時保育を実施

本学は、2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」に選定され、ダイバーシティ研究環境推進のための取組を進めています。

この取組の一環として、人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室（実施当時：女性研究者支援室）では、1月18日（土）及び19日（日）に行われた大学入試センター試験業務において休日出勤を行う教職員を対象に、養育する未就学児の預かり保育を実施いたしました。前年12月に学内周知を行

い、5名の教員（男性3名、女性2名）から申し込みがありました。

両日ともに午前8時から午後7時まで、人材育成本部会議室にて、保育士2名により、2歳から4歳までの計5名の保育が行われました。前年度、日曜日の託児先に困っている教員から相談を受け、保育実施に向けて準備を進めてきたものです。

利用者からは、夫婦で入試業務の担当になっていたのが助かった、遅い時間まで対応していただけて嬉しかった、等の反応がありました。また、

もっと早く知りたかった、英語版で通知があると良かった、等のご意見もいただきましたので、来年度に反映させていきたいと思っています。

次回の入試の際にも引き続き入試保育支援を実施する予定です。部局への通知と、当ダイバーシティ研究環境推進室のWebサイトにて周知予定ですので、ご確認ください。

（人材育成本部）

研究交流発表会「超異分野meetup」を開催

本学は、2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」に選定され、共同実施機関と共に「北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワーク（KNIT）」を形成し取組を進めています。

その取組の一環として、3月3日（火）～4日（水）にかけて、研究交流発表会「超異分野meetup」を学術交流会館で開催しました。異分野の研究者との交流を促進し共同研究を目指すイベントで、参加者はKNITが用意したノボリ型フォーマットに事前に自分の研究紹介をまとめ、接点や関心がありそうな異分野の研究者にアピールしました。当日は、学術交流会館のロビーをカラフルな151種類のノボリが

埋め尽くしました。「ノボリというミニマムなフォーマットが参加の敷居を下げてくれた」という声もあり、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い一部内容を変更して開催しましたが、異分野のパートナー探しに熱心な来場者が集まり、直接の交流や、付箋・動画・メール等でのコミュニケーションが行われました。

がん組織の分布を測定する高感度イメージ装置の開発に関わる博士課程1年の女性は「自分の研究を実際の医療現場にどう落としこんでいくかを試行錯誤している」と話していました。「医療系の研究者とお話したいです」というかたわら、女性研究者としてのキャリアアップは「アカデミックに関心があっても身近なロールモデル

がいないので将来像が描きづらい」という悩みもあるそうです。他の博士課程女性研究者も「どうやってライフイベントと両立していけばいいのか、それを誰に相談したらいいのかもわからない」と打ち明け、こうしたリアルな声からも本事業の重要性を再確認する場面となりました。

2020年度秋頃、同様のイベントを企画する予定です。詳細はKNITのWebサイト（<https://knit.synfoster.hokudai.ac.jp>）もしくは、ダイバーシティ研究環境推進室のWebサイトをご確認ください。

（人材育成本部）



151本のノボリでの発表風景



付箋でのコメントコミュニケーションの様子



発表ノボリを見る参加者

■部局ニュース

法科大学院が教育課程連携協議会を開催

法科大学院では、第1回の教育課程連携協議会を、当初、3月5日（木）に法学研究科において開催する予定でしたが、新型コロナウイルスへの対応等、諸般の事情の下、定足数を満たす委員の出席を得ることができませんでした。しかし、お越しいただいた委員とは、懇談会形式で意見交換を行い、大変有意義な会合となりました。札幌市内では新型コロナウイルスに関する対応等のため、3月末までに再度協議会を開催することは、事実上不可能な状況であったため、緊急的な対応として、協議会を持ち回り形式で開催しました。委員には、配付資料及び3月5

日の意見概要を送付し、3月30日（月）までに、委員全員から意見等がメールで提出されました。

協議会は、佐々木雅寿法科大学院長、城下裕二法科大学院教務委員長、土屋俊介弁護士、齊藤佑揮弁護士、竹信航介弁護士の各委員で構成されています。3月5日は、佐々木法科大学院長、城下法科大学院教務委員長、竹信弁護士が、法曹養成連携協定、既修者教育、未修者教育、修了生支援等について意見交換を行い、その後、土屋弁護士、齊藤弁護士からもメールでご意見等をいただきました。

ご多忙の中、法科大学院の教育等に

関し、有益なご意見等を提供していただいた学外委員各位には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

（法学研究科・法学部）



意見交換の様子

生命科学学院 博士後期課程科目「少人数討論型育成プログラム」 (北大帝人ブレインストーミングワークショップ) を実施

博士後期課程を対象とした生命科学学院選択科目および大学院共通授業科目として、帝人株式会社と連携して「少人数討論型育成プログラム」(北大帝人ブレインストーミングワークショップ)を実施しました。本講義は8月20日(火)から2月18日(火)までの間に全10回のワークショップとして開講され、先端生命科学研究院の石原誠一郎助教が担当しました。今年度は3名の博士後期課程の学生(生命科学学院2名、農学院1名)が受講しました。

本講義は平成19年度に初めて開講され、今年度で13回目を迎えます。産学連携によるワークショップ形式の授業を通じて、少人数でアイデアを創出する方法論を学び、新規技術に関するアイデアを各履修者がまとめ上げ、プレゼンテーションを行うことを目標としました。また帝人株式会社から実際に研究開発に携わっているご担当者の方を本学にお招きし、マーケティングや企業における研究開発について講義いただきました。これらを通して、アイデア創出力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成を目指しました。

全10回の講義のうち計8回の講義で

アイデアの創出とプレゼンテーションのブラッシュアップを行いました。アイデアの創出のためにブレインストーミング法を取り入れました。ブレインストーミング法とは、少人数のメンバーで自由にアイデアを出し合い、お互いの発想の違いを認め連携を行うことでさらに多くのアイデアを生み出そうとする思考法です。初回の講義ではお互いを知るためのアイスブレイキングとして、受講生各々の興味についてブレインストーミング法により共通点を探しました。2回目の講義以降は、各々が考えたアイデアを全受講生によるブレインストーミング法により発展させました。またプレゼンテーションのブラッシュアップも同様にブレインストーミング法により行いました。受講生は回を重ねるごとに活発に議論することができるようになり、プレゼンテーションの完成度を高めることができました。

1月21日(火)には、帝人株式会社マテリアル技術本部から2名のご担当者を本学にお迎えしてワークショップを開催しました。受講生がアイデアについて中間発表を行って内容について議論するとともに、マーケティングに

ついての基礎と企業で研究開発を行う上で鍵となるポイントについて、帝人株式会社における研究開発の実例を挙げて講義いただきました。これにより受講生は企業で行う研究開発の実際について学び、またイメージすることができました。

2月18日(火)に東京の帝人株式会社本社にて本講義の最終報告会を開催しました。受講生は帝人株式会社未来スタジオにて同社の開発した商品について学ぶとともに、各自のアイデアについて最終発表を行い、4名の同社の担当の方からコメント・質問をいただきました。受講生は担当の方々と積極的にコミュニケーションを取り、アイデアについて深く議論することができました。

本講義を進める上でお力添えいただいた帝人株式会社のご担当者様をはじめ、ご協力いただいたすべての方々に感謝します。この経験を活かし、産学含めどの進路に進むとしても大いに活躍されることを祈っています。

(生命科学学院・先端生命科学研究院)



今年度の受講生(東京の帝人株式会社本社にて)



ブレインストーミング法によりカードでまとめられたアイデア



最終報告会の様子

環境健康科学研究教育センターが令和元年度後期「社会と健康」ディプロマ授与を挙行

環境健康科学研究教育センターでは、平成27年3月より「社会と健康」ディプロマプログラムを提供しています。本プログラムは、北海道大学大学院共通授業「社会と健康」から5領域20単位以上（うち、必修科目11単位以上）を体系的に学ぶカリキュラムを編成しています。加えて各学院・研究科が提供する科目、あるいは「社会と健康」として提供されている科目以外の62科目が、これまでにディプロマプログラムへの振替科目として認められています。北海道大学大学院のすべての専攻／学院／研究科に在籍する大学院生に開かれたプログラムで、「社会と健康」領域において、環境要因と健康・予防に関する知識、研究技法を学ぶ意欲がある大学院生に対して、豊かな人間性、高い倫理観及び国際的視野を備え、研究課題に必要なPublic

Healthにかかわる知識を得るために必要な科目選択の指針を与えています。本プログラムの指針に沿って科目選択し、単位が認められた学生に対して、「社会と健康」に関する知識と実践教育を受けたことを証明するディプロマを授与します。

令和元年度後期は1名（保健科学院：山崎尚二郎氏）がプログラムを修了し、3月24日（火）、小笠原克彦環境健康科学研究教育センター長名のディプロマが授与されました。今回は第8回目の授与となり、累計15名の方がプログラムを修了しました。これまでに、医学院、教育学院、保健科学院、文学研究科、農学院、獣医学院、工学院所属の学生が参加しており、研究分野の垣根を越えた文理融合型の人材育成となっています。留学生の参加も増え、今後ますます多様な人材の輩

出が期待されます。

令和2年度からは、「社会と健康」に新たな科目も加わります。前期の「社会と健康」ディプロマプログラムの登録申請は6月末まで受け付けており、審査・承認後9月の授与を予定しています。

（環境健康科学研究教育センター）



修了証書を手にする山崎氏とセンター長

地球環境科学研究院でFD研修会を開催

地球環境科学研究院では、3月5日（木）、令和元年度第2回FD研修会「電子ジャーナルの最新動向について」を、本研究院講義棟において開催しました。本FD研修会は、昨今の電子ジャーナル高騰の状況及び最新動向を認識するとともに、今後の部局における教育研究活動への影響と対策に向けた啓発活動の一環として開催したものです。

当日は、本研究院教授会終了後に、教職員47名の参加のもと、附属図書館の久保田壮活管理課長に講師をお願いし、講演いただきました。

大原 雅研究院長からの冒頭での挨拶の後、講演では、「電子ジャーナルは高騰しているのか?」、「電子ジャーナルの普及とビックディール契約の功罪」、「価格高騰への対応策」、「オープンアクセスとは」、「新たな契約モデル

への移行」及び「最近の国の動向」について、グラフや図表などを利用し、また、審議会等における情報（資料）提供もあり、わかりやすく説明いただきました。

最後に、質疑応答が行われ、多くの教員から質問や意見が出され、大変有意義な研修会となりました。

（地球環境科学研究院）



冒頭の挨拶を行う大原研究院長



講演を行う久保田課長



質疑応答の様子

北方生物圏フィールド科学センターで「公開水産科学実習」を開催



集合写真

北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション・白尻水産実験所、七飯淡水実験所および忍路臨海実験所は、文部科学省教育関係共同利用拠点（「食糧基地、北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点」）に認定されています。その取り組みの一環として、2月25日（火）～28日（金）に、忍路臨海実験所等にて、他大学の学生が参加できる公開水産科学実習「海棲哺乳類実習」を開催し、全国から10名が参加しました。

本実習では、御蔵島観光協会・小木万布氏や京都大学大学院生による個体識別調査についての講義や、人間活動と海棲哺乳類の共存に関するディベートを行い、個体識別や鳴音記録とその解析方法を学ぶとともに、海棲哺乳類に関する知識や理解を深めました。また、おたる水族館にて、アザラシを対象とした調査・研究を実際に行い、事前調査、研究計画、データ収集、データ解析、発表までの一連の流れを体験

し、研究の進め方や物事を相手に伝える方法を学習しました。

実習後のアンケートでは、「自分の知識不足を痛感したが、他大生・他学部の方との交流を通じて勉強への意欲が強くなった」「海棲哺乳類についての知識はもちろんのこと、研究手法・解析方法、さらに全ての物事に共通する考え方が学べ、充実した4日間だった」「方法を考えること、最適なデータをとるなど考えることも多く、難しかったが、今後、自分で研究をするときにも応用ができると思った」「海棲

哺乳類独自の大変さや苦勞がわかり、良かった」など、好意的な意見が多く寄せられました。

なお、本教育拠点は、今年度以降も5年間の再認定となっており、実習も継続して実施する予定です。興味がある方は、当事業のホームページをご覧ください。

◆<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/index.html>

（北方生物圏フィールド科学センター）



小木氏によるミナミバンドウイルカの個体識別に関する講義



夕食の様子



ディベートの様子



おたる水族館でのアザラシの行動観察記録



グループ発表の様子

■お知らせ

令和2年度人間ドック・特定健康診査の実施について

文部科学省共済組合北海道大学支部では、文部科学省共済組合本部の指導の下、保健事業の一環として健康管理の推進を目的に人間ドック・特定健康診査を次のとおり実施しております（任意継続組合員を含む）。

なお、受付等については専門業者へ外部委託となり、組合員が直接文部科学省共済組合ホームページから申込みしていただくこととなります。

1. 申込期間

令和2年4月1日（水）～令和3年1月10日（日）まで

2. 受診期限

令和3年1月31日（日）まで

3. 対 象 者

①人間ドック

令和2年4月1日現在満35歳以上となる組合員及びその被扶養配偶者、任意継続組合員本人及びその被扶養配偶者

②特定健診

令和3年3月31日までに40歳以上となる組合員の被扶養者、任意継続組合員本人及びその被扶養者

③生活習慣病予防健診

令和3年3月31日までに40歳以上となる組合員の被扶養者、任意継続組合員本人及びその被扶養者

※人間ドック、特定健診、生活習慣病予防健診は、受診期限内にいずれか1回受診できます。

※特定健診、生活習慣病予防健診は、組合員は受診できません。

（任意継続組合員は除く。）

※申込日及び受診日の両時点において、組合員資格または被扶養者資格があることをご確認ください。

4. 補 助 額

①人間ドック

共済組合が指定する健診機関での受診に限り、

組合員（任意継続を含む） 30,000円（上限・税込）

被扶養配偶者（任意継続を含む） 25,000円（上限・税込）

※補助額を超えた料金は、自己負担となります。

※オプション検査料は、ドック本体料金と合わせ、補助額を超過した分は自己負担になります。

※受診料の自己負担額は、当日医療機関で支払います。

②特定健診

共済組合が指定する健診機関での受診に限り、

全額補助（自己負担なし）

③生活習慣病予防健診

共済組合が指定する健診機関での受診に限り、

全額補助（自己負担なし）

※オプション検査料は、全額自己負担となります。

※受診料の自己負担額は、当日医療機関で支払います。

5. 申込方法、健診機関

申込方法、健診機関につきましては、文部科学省共済組合ホームページでご確認願います。

なお、ホームページを閲覧できない方は、FAX、郵送での申込となりますので所属部局等の担当者へお尋ねください。

文部科学省共済組合ホームページアドレス
<http://www.monkakyosai.or.jp/>

お問い合わせ先

(株) ベネフィットワン・ヘルスケア健診予約受付センター

TEL 0800-8888-009 (フリーコール)

03-6870-2796 (有料)

受付時間：平日10～21時、土日祝10～18時

6. その他

平成20年度から健康保険組合に「特定健康診査」が義務づけられたことに伴い、今回実施する健康診断結果のうち、法定健診項目及び特定健診項目に関する診断内容及び問診結果等の個人情報については保有・利用させていただきます（目的外利用はいたしません）。

(文部科学省共済組合北海道大学支部)

博士学位記授与

3月25日（水）に本学大学院研究科等の所定の課程を修了した課程博士は313人、及び本学に学位論文を提出してその審査、試験等に合格した論文博士は13人でした。なお、被授与者の氏名と論文題目等は次のとおりです。

(学務部学務企画課)

課程博士

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（文学）	たか はし ゆう こ 高 橋 優 子	ヨシヤの改革：「エサルハドン王位継承誓約文書」と「申命記」 主査：教授 佐々木 啓
	はら けん いち 原 健 一	ベルクソン『物質と記憶』の純粹知覚説における問題解決型の思考実験とその構成の方法としての仮象論によるメタ理論の構築 主査：教授 田口 茂
	ウグル アルトゥン Ugur ALTIN	参謀本部の情報活動と日本外交——バルカン戦争を中心に 主査：准教授 川口 暁弘
	いな よし ま こ 稲 吉 真 子	「も」の文法的特性と語用的機能に関する研究 主査：教授 加藤 重広
	すず き いっ せい 鈴 木 一 生	The Eternal Pursuit of Arbitrary God: Melville's Method of Provoking Immortality (終わりになき恣意的な神の追跡：メルヴィルによる永遠性の呼び起こし) 主査：教授 竹内 康浩
	た うみ しゅう ほ 田 海 秀 穂	横井小楠の經世思想研究 主査：教授 弐 和順
	たか お ゆう た 高 尾 祐 太	中世の知と文芸 主査：教授 金沢 英之
	リ 李 ガ シュン 李 雅 旬	川端康成文学における絵画 主査：教授 中村 三春
	アルフィアン ヘルミ ALFIAN HELMI	The Political Ecology of Salt: Dynamics of Agrarian Change in Rural Kupang, Indonesia (塩のポリティカルエコロジー：インドネシア・クパン農村部における土地利用・保有の変化の動態) 主査：准教授 笹岡 正俊
	い とう もと ひろ 伊 藤 資 浩	Visual Search and Concealment Strategies in the Spatiotemporal and the Temporal Domains across Social Contexts (時空間・時間次元における社会的文脈に基づく視覚探索及び隠蔽方略) 主査：准教授 河原 純一郎
	く どう はるか 工 藤 遥	地域子育て支援の施策と課題－子育ての私事化／社会化をめぐる－ 主査：教授 櫻井 義秀
	コ せい ひ 胡 政 飛	バイリンガルの言語使用におけるメカニズムの解明－意味処理に関する検討－ 主査：准教授 小川 健二
	モハモッド Mohd. アシク シャハリアル Ashik Shahrier	Effects of Prenatal and Postnatal Ethanol Exposure on the Development of Ultrasonic Communication and Sociality in Rats (出生前及び出生後のエタノール曝露がラットの超音波コミュニケーションと社会性の発達に及ぼす影響) 主査：教授 和田 博美
博士（法学）	オウ ぎん ガ 王 銀 河	共犯からの離脱の判断基準について－規範的因果性遮断説の立場から－ 主査：教授 城下 裕二
	コウ セン ティン 高 泉 鼎	規範的正犯概念と間接正犯に関する日台比較法的考察 主査：教授 小名木 明宏

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（歯学）	い わ 岩 た 田 か い 航	The factors influencing the recovery of oral function and oral health related quality of life in patients with removable partial dentures. (部分床義歯装着による機能回復ならびに口腔関連QOL向上に影響を与える因子について) 主査：教授 横山 敦郎
	さい 齋 とう 藤 たい 大 し 嗣	Minimum measurement time of masseteric electromyogram required for assessment of awake bruxism during the daytime (咬筋筋電図を用いた日中覚醒時ブラキシズム評価に必要な最小測定時間に関する検討) 主査：教授 山口 泰彦
	さ く 佐 久 間 と し 俊 み つ 光	睡眠研究室内の睡眠ポリグラフ環境下と自宅無拘束環境下でのブラキシズム発現数の比較 主査：教授 山口 泰彦
	た け 竹 ふ ち 潤 る い 皇	液状飼料飼育によるラット口蓋腺発育への影響 主査：教授 八若 保孝
	た ま き 王 木 ひろ 宏 のり 典	Chemical modification to suppress metal ions elution of dental orthodontic stainless steel wire surface (矯正歯科用ステンレススチールワイヤーへのイオン溶出抑制を目的とした表面化学修飾) 主査：教授 佐藤 嘉晃
	は せ 長 谷 部 よ し 佳 こ 子	経管栄養時の血糖調節に関する基礎的研究－味覚, 嗅覚, 視覚が血糖動態に与える影響－ 主査：教授 船橋 誠
	ほ り 堀 きよ 聖 たか 尚	連結したインプラント 周囲におけるストレスシールドイング 主査：教授 横山 敦郎
	ま え 前 だ 田 由 佳 利	Characterization of minocycline-carbon nanohorn conjugates and their antibacterial activity (ミノサイクリン-カーボンナノホーンの複合体の製作ならびにその静菌効果について) 主査：教授 横山 敦郎
	む ら 村 し ま 島 な お 直 み ち 道	Mechanical effect of an implant under denture base in implant-supported distal free-end removable partial dentures (インプラントに支持を求めた遊離端部分床義歯におけるインプラントの力学的効果) 主査：教授 横山 敦郎
	い わ 岩 し ま 島 ゆ う 佑 き 希	統合失調症患者の口腔乾燥に対する唾液腺・口腔粘膜マッサージの有用性に関する研究 主査：教授 山崎 裕
	お お 大 と し 歳 ゆ う 祐 き 生	高周波電流刺激を行う時期が骨形成に与える影響 主査：教授 菅谷 勉
	お お 大 に し 西 か 香 お り 織	エダラボンは破骨細胞の分化誘導を抑制する 主査：教授 飯村 忠浩
	お か も と 岡 本 い ち 一 え 絵	Synthesis and antibacterial photodynamic assessments of lysozyme-Au nanoclusters/rose bengal conjugate (リゾチーム金ナノクラスター/ローズベンガル複合体の合成と光線力学的評価) 主査：教授 菅谷 勉
	お 尾 ざ き 崎 き み 公 や 哉	義歯へのカンジダ付着に関するリスク因子の検討 主査：教授 山崎 裕
	か ね も と 金 本 佑 生 実	Assessment of bone forming ability of apatite-coated collagen scaffold prepared by a precursor-assisted biomimetic process (前駆体を利用した生体模倣プロセスにより作製されたアパタイト被覆コラーゲンスキャフォールドの骨形成能の評価) 主査：教授 菅谷 勉
	く ま 熊 が い 谷 ひろ 広 み ち 道	高周波電流によるファイル未接触根管の焼灼 主査：教授 菅谷 勉
	ピ ン ビ ニ ー PIMPINEE イ ア ム サ ア ー ド EAMSA-ARD	The multiple evaluations of the influence of light conditions to “Touch and cure” “resin cements - in terms of bond strength test, in situ microhardness test and Raman spectroscopy” (“Touch and cure” システム型レジンセメントに対する光照射条件の影響についての多面的検討－接着試験, in situ マイクロ硬さ試験およびラマン分光法による重合測定を用いて) 主査：教授 佐野 英彦

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（歯学）	へこ ぎき せい じ 長 崎 誠 治	スダチチンは破骨細胞の分化誘導を抑制する 主査：教授 飯村 忠浩
	まえ 前 たか ひと 壮 功 仁	Immunolocalization of enzymes/membrane transporters related to bone mineralization in parathyroid hormone (PTH)-administered mice (副甲状腺ホルモン投与マウスにおける骨基質石灰化関連酵素群・膜輸送体の免疫局在) 主査：教授 網塚 憲生
	まき とき た 玲 果	Effects of changes in sensory receptor sensitivity around the anterior teeth on motor learning (前歯部における感覚受容器感度の変化が運動学習に及ぼす影響) 主査：教授 菅谷 勉
	まき の あき と 槇 野 彰 人	Enhanced Bone Anabolic Window with Increased Bone Formation by Abaloparatide Showed Greater Gains in Trabecular and Cortical Bone in Mice: A Comparison with Teriparatide (アバロパラチドは骨形成促進作用により骨アナボリックウインドウを拡大させ、マウスの海綿骨及び皮質骨を増加させる－テリパラチドとの比較－) 主査：教授 網塚 憲生
	や ち だ あ み 谷 内 田 愛 巳	次亜塩素酸ナトリウムによる象牙質表面の長時間処理が4-META/MMA-TBBレジンの接着に及ぼす影響 主査：教授 菅谷 勉
	よし なが かず ひこ 吉 永 一 彦	Development of new diacrylate monomers as substitutes for Bis-GMA and UDMA (Bis-GMA及びUDMA代替新規ジアクリレートモノマーの開発) 主査：教授 吉田 靖弘
	いづみ やま だい すけ 泉 山 大 介	BRONJ様マウスに対するヒト脱落乳歯歯髄幹細胞の無血清培養上清を用いた治療効果の検討 主査：教授 飯村 忠浩
	か とう じゅん や 加 藤 純 也	A Three-Center Study of Dental Arch Relationship Outcomes Following Two-Stage Palatoplasty for Japanese Patients with Complete Unilateral Cleft Lip and Palate (異なる2段階口蓋形成手術法を行う3施設間の歯槽弓関係・咬合関係の成績比較) 主査：教授 鄭 漢忠
	か とう やす し 加 藤 泰 史	mRNAの安定化機構を応用した新しい腫瘍溶解アデノウイルスの開発と解析 主査：教授 樋田 京子
	しの はら さ き 篠 原 早 紀	エナメル上皮腫のbuddingにおける侵襲性増殖メカニズムの解析 主査：教授 樋田 京子
	たか くら あや 高 倉 綾	Pharmacological actions of distinct administration frequencies and doses of Teriparatide on bone metabolism and microstructure (テリパラチドの異なる投与頻度・投与量が骨代謝および骨微細構造に与える薬理作用) 主査：教授 飯村 忠浩
	た なか とも や 田 中 智 哉	Pharmacological study of teriparatide on ovariectomy-induced hyperalgesia in rats (卵巣摘除ラットモデルを用いた骨粗鬆性痛覚過敏に対するテリパラチドの薬理作用の解明) 主査：教授 飯村 忠浩
	チヨウ 趙 シン 申	Histological alteration of bone specific-blood vessels in murine long bones with intermittent PTH administration (PTH間歇投与によるマウス長管骨における骨特異的血管の組織学的変化) 主査：教授 網塚 憲生
	はま や え り 浜 谷 絵 里	Osteoadherin serves roles in the regulation of apoptosis and growth in MC3T3-E1 osteoblast cells (オステオアデヘリンはMC3T3-E1骨芽細胞においてアポトーシスと細胞増殖を制御する) 主査：教授 田村 正人
	や はた だい こ 八 幡 大 悟	薬剤関連顎骨壊死の発症における骨吸収抑制薬の休薬効果についてマウスを用いた検討 主査：教授 飯村 忠浩
	よう だ み の る 養 田 稔	破骨細胞の分化とRNA結合タンパクHuRとの関連 主査：教授 樋田 京子

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（歯学）	わか な けい 若 菜 慶一郎	歯科麻酔科外来手術室での治療前不安に対する音楽介入の効果－自律神経活動の面からの検討：単盲検群間比較試験－ 主査：教授 藤澤 俊明
	き むら かつ や 木 村 克 也	Reassessment of the phylogenetic position of the spiny-scale pricklyfish <i>Hispidoberyx ambagiosus</i> (Beryciformes: Hispidoberycidae) (キンメダイ目魚類 <i>Hispidoberyx ambagiosus</i> の系統的位置の再検証) 主査：教授 和田 哲
博士（水産科学）	えん どう みつる 遠 藤 充	魚類における異種由来細胞質が胚発生および配偶子形成に与える影響に関する研究 主査：教授 水田 浩之
	くろ た まさ みち 黒 田 真 道	異なる起源のゲノムを持つドジョウの配偶子形成過程における特殊な染色体挙動に関する研究 主査：教授 水田 浩之
	チン リ ヘイ 陳 莉 萍	Study on n-3 polyunsaturated fatty acid-binding phosphatidylglycerol: enzymatic synthesis and biofunctional evaluation (n-3系高度不飽和脂肪酸結合ホスファチジルグリセロールの酵素的合成と生体機能評価に関する研究) 主査：教授 細川 雅史
	やま ぎき しょう へい 山 崎 耀 平	Community structure, function, and dynamics of sea cucumber gut microbiome (ナマコ消化管マイクロバイオームの群集構造、機能およびダイナミクス) 主査：教授 尾島 孝男
	チャンド モハン CHAND, Mohan バハドゥール Bahadur	Development of glacial lakes in the Everest and Kangchenjunga regions, Nepal Himalaya (ネパール・ヒマラヤ、エベレストおよびカンチェンジュンガ地域における氷河湖の発達) 主査：教授 渡邊 悌二
博士（環境科学）	ス ブ ラ タ バニク Subrata Banik	Ajwain and its phenolic compound, carvacrol improve cadmium-induced apoptosis in PC12 cells (Ajwainとそのフェノール化合物であるカルバクロールは、PC12細胞におけるカドミウム誘導アポトーシスを改善する) 主査：准教授 蔵崎 正明
	おお はら なお ゆき 大 原 尚 之	自然写真および自然番組を通じた自然の理解－自然写真家や自然番組制作者の意図－ (Understanding nature through photography and television programs: The will of nature photographers and producers) 主査：教授 山中 康裕
	こ とう しゅう じ 後 藤 周 史	Mechanism of recalcitrant dissolved organic matter production revealed by model marine bacterial strains (モデル海洋細菌単離株による難分解性溶存有機物の生成機構の解明) 主査：准教授 山下 洋平
	すず き けん た 鈴 木 健 太	Radiocarbon dating of sediments using ramped pyrolysis and its application to the event stratigraphy in the Arctic Ocean (昇温熱分解 ¹⁴ C法による堆積物年代推定と北極海イベント層の層位学的研究) 主査：教授 山本 正伸
	あつ み けい すけ 渥 美 圭 佑	Roles of male mate choice and its heterogeneity in reproductive isolation among mutually ornamented fishes (オスによる配偶者選択と個体差が繁殖隔離に及ぼす影響：雌雄共通装飾をもつウグイでの検証) 主査：准教授 小泉 逸郎
	す 須 どう けん じ 須 藤 健 二	Evaluation and prediction of marine biodiversity changes using species distribution models (種分布推定モデルを用いた海洋生物多様性の変化に関する評価と予測) 主査：教授 仲岡 雅裕
	かぎ や しんのすけ 鍵 谷 進乃介	Ecological consequences of genetic variation in a foundation species on above- and below-ground communities in the field (地上部－地下部群集への生態系基盤種の遺伝的変異の影響に関する生態学的研究) 主査：准教授 内海 俊介

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（環境科学）	キム ウォン テ 金 源 兌	Precise control of the environment around active sites toward efficient cooperative catalysis (効率的に協奏触媒作用を引き出すための活性サイト周辺環境の精密制御) 主査：教授 神谷 裕一
	ギミリ スーシャント Ghimire Sushant	Microspectroscopic investigations and correlations of photoluminescence in microcrystals, nanocrystals and assemblies of lead halide perovskites (ハロゲン化鉛ペロブスカイトのマイクロ結晶，ナノ結晶および集合体の発光挙動に関する顕微分光学的相関研究) 主査：教授 Biju Vasudevan Pillai
	サシクマール デビカ Sasikumar Devika	Spectroscopic investigations of photothermal and photochemical activities of electron donor-acceptor molecular dyads (電子ドナー・アクセプター連結分子による光熱変換および光化学反応についての分光学的研究) 主査：教授 Biju Vasudevan Pillai
博士（理学）	うえ だ ゆう き 植 田 優 基	Studies on freely infinitely divisible distributions (自由無限分解可能分布に関する研究) 主査：准教授 長谷部 高広
	こ もり だい き 小 森 大 地	The symbol theory of pseudodifferential operators via the Čech-Dolbeault cohomology (Čech-Dolbeaultコホモロジーを用いた無限階擬微分作用素の表象理論) 主査：教授 本多 尚文
	チャン ニャット タン TRAN NHAT TAN	G-TUTTE POLYNOMIALS VIA COMBINATORICS, TOPOLOGY AND MATROID THEORY (G-TUTTE多項式の組み合わせ論的，位相的，マトロイド理論的研究) 主査：教授 吉永 正彦
	ふく だ いっ き 福 田 一 貴	Large Time Behavior of Solutions to the Viscous Conservation Law with Dispersion (分散効果を伴う粘性保存則方程式の解の長時間挙動) 主査：教授 久保 英夫
	いし い ゆう と 石 井 裕 人	Study on frustrated magnetism realized on breathing kagome lattice antiferromagnet (ブリージングカゴメ格子反強磁性体で実現するフラストレート磁性の研究) 主査：准教授 吉田 紘行
	エゼキエル サン ボ Ezekiel Sambo ジョシュア Joshua	Charge Redistribution Near the Surfaces of Superconductors (超伝導体における表面電荷) 主査：准教授 北 孝文
	おお ぬま あき ひろ 大 沼 晃 浩	Microscopic study of the charge fluctuation in α -(BEDT-TTF) ₂ MHg(XCN) ₄ probed by ¹³ C-NMR (¹³ C-NMR法による α -(BEDT-TTF) ₂ MHg(XCN) ₄ の電荷揺らぎの微視的な研究) 主査：教授 河本 充司
	こう の わたる 河 野 航	Variational Theories with Many-Body Correlations for Dilute Bose-Einstein Condensates (多体相関を含む希薄ボーズ・アインシュタイン凝縮に対する変分理論) 主査：准教授 北 孝文
	ディクソン ザカリヤ DICKSON ZAKARIA キンドル KINDOLE	Terahertz Cyclotron Resonance in III-V Quantum Hall Systems (テラヘルツサイクロトロン共鳴によるIII-V族半導体量子ホール系に関する研究) 主査：客員教授 今中 康貴
	い しき しょう へい 一 色 翔 平	The effect of radiation pressure from massive stars and black holes in the dusty interstellar medium (ダスト存在下での大質量星やブラックホールからの輻射圧の影響) 主査：准教授 徂徠 和夫
	さ ざ き ただし 佐々木 伸	Analytical Study on Cosmological Perturbations with Exact Solutions (厳密解に基づく宇宙揺らぎの解析的研究) 主査：教授 鈴木 久男

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（理学）	バンドホルノッパラト Bandholnopparat キッタナパト Kittanapat	Studies on Lightning IC/CG Ratio and Effects of Lightning and Rainfall Currents on Global Electric Circuit (雷放電のIC/CG比及びグローバルサーキットへの雷・降雨電流の影響に関する研究) 主査：教授 高橋 幸弘
	かつ やま ゆう た 勝 山 祐 太	Estimation of Global Warming Response of Snowpack and Development of Analysis Technique for Precipitation Particle Observation (積雪の温暖化応答の推定と降水粒子観測のための解析手法開発) 主査：教授 稲津 将
	たか さき りゅう じ 高 崎 竜 司	HERBIVOROUS ADAPTATIONS OF DINOSAURIA : HADROSAURID FORAGING STRATEGY AND ARCHOSAUR GASTROLITHS (恐竜類における植物食性適応：ハドロサウルス科の採餌適応および主竜類の胃石) 主査：教授 小林 快次
	た なか とも のり 田 中 公 教	Evolution in the Mesozoic Diving Birds (中生代における潜水鳥類の進化) 主査：教授 小林 快次
	なり た しょう へい 成 田 翔 平	水蒸気噴火前後に発生する火山性地盤変動の多様性 (Variety of pre- and post-eruptive deformation associated with phreatic eruptions) 主査：特任教授 村上 亮
	マイヘムティジヤング 麦合穆提江・ ダウティ 达吾提	Morphological and molecular phylogenetic study of tidal pool dinoflagellates (タイドプール性渦鞭毛藻類の形態学および分子系統学的研究) 主査：教授 堀口 健雄
	よし だ じゅん き 吉 田 純 輝	FUNCTIONAL MORPHOLOGY AND EVOLUTION OF HYOLARYNGEAL APPARATUS IN ARCHOSAURIA (主竜類の舌喉頭器における機能形態と進化) 主査：教授 小林 快次
博士（農学）	あな ぶき とも あき 穴 吹 友 亮	低分子生理活性化合物の新規な標的タンパク質同定法の開発 主査：准教授 福士 幸治
	う 鳥	Typhoon disturbance effect on forest dynamics and carbon balance at a cool-temperate forest in northern Japan simulated by SEIB-DGVM (SEIB-DGVMを用いた北日本の冷温帯林における森林動態と炭素収支に対する台風攪乱の影響の解明) 主査：准教授 加藤 知道
	こ じま ひろし 小 嶋 宏	北海道家庭学校の足跡と新農村建設 主査：特任教授 坂下 明彦
	ム ハ マ ド Muhammad アキドシブリ Akhid Syib'li	Mitochondrial Visualization in Rice Blast Fungus and its Application to 3D Observation, Quantification, and Distribution Analysis (イネいもち病菌のミトコンドリアの可視化とその3次元観察、定量及び分配解析への応用) 主査：教授 曾根 輝雄
	トル オン チ Truong Thi カ トゥオン Cat Tuong	Estimation of natural forest biomass using remote sensing data in Thua Thien Hue Province, Vietnam (リモートセンシングデータを用いたベトナム、トゥアティエンフエ省における天然林バイオマスの推定) 主査：准教授 谷 宏
	はま もと とおる 濱 本 亨	Effect of organic amendment on soil carbon dynamics in agricultural ecosystems (農地土壌生態系における有機物投入が土壌炭素動態に及ぼす影響) 主査：准教授 内田 義崇
	やま もと けん じ 山 本 謙 治	倫理的消費の拡大と専門流通事業体の変容－日本型キャンベイナー創出の可能性－ 主査：特任教授 坂下 明彦
	あき ざわ ひろ き 秋 沢 宏 紀	ウシ胚盤胞期胚の新規培養系を用いた着床前胚細胞分化機構の解明 主査：准教授 川原 学

博士の専攻 分野の名称	博士の学位を授与された者			博 士 論 文 名
	氏 名			
博士（農学）	おお 大	さわ 澤	ひさし 央	ジャガイモ塊茎腐敗の発生生態解明と新規防除法の検討 主査：教授 近藤 則夫
	ハンギル キム Hangil Kim			Study of small RNA-mediated control of gene expression and viruses in plants: Roll of a viral suppressor of RNA silencing in viral survival （Small RNAによって調節される植物体内の遺伝子発現と植物ウイルスに関する研究：ウイルス生存のために機能するRNAサイレンシングサプレッサーの役割） 主査：教授 増田 税
	こおり 郡	なな 七	み 海	ウシ胚盤胞期胚から単離した内部細胞塊の栄養外胚葉再生誘導系を用いた細胞分化モデルの証明 主査：准教授 川原 学
	こん 昆	の 野	だい 大	丸大豆しょうゆ醸造副産物“しょうゆ油”の乳牛用飼料としての評価 主査：教授 小林 泰男
	さい 齋	とう 藤	のぞみ 希	Genetic studies on resistance to <i>Rice tungro bacilliform virus</i> and evolution of its related endogenous viruses in the genus <i>Oryza</i> （イネのツングロ病ウイルスRTBV抵抗性およびオリザ属におけるその内在性ウイルスの進化に関わる遺伝学的研究） 主査：教授 貴島 祐治
	スン 孫	フエイ 菲		Molecular Genetic Study on a Late-Flowering Habit from a Thai Soybean Cultivar in Photoperiod-insensitive Genetic Background （非感光性遺伝背景に導入されたタイダイズ品種の晩期開花性に関する分子遺伝学的研究） 主査：特任教授 阿部 純
	バク 朴	チヨ 哲	ル 肝	Molecular Genetic Study on Tocopherol Synthesis in Soybean Seeds （ダイズ種子におけるトコフェロール生合成に関する分子遺伝学的研究） 主査：特任教授 阿部 純
	リ 李	ケン 建	エイ 燁	The complex roles of autophagy and lysosome-cathepsin on the oocyte maturation and preimplantation embryo development in cattle （ウシ卵子成熟および初期胚発生に及ぼすオートファジーおよびリソソームカテプシンの複合的影響） 主査：教授 高橋 昌志
	トゥ 涂	ザイ 志	ハオ 豪	Analysis of the changes in microbiota associated with indigo reduction in natural indigo fermentation （藍染め発酵液のインジゴ還元に関連する微生物叢の変遷の解析） 主査：客員教授 湯本 勳
	なか 中	の 野	てつ 哲	アジュバント効果を発揮する「ポリイノシン酸-ポリシチジル酸」の二重鎖構造に関する研究 主査：教授 曾根 輝雄
	きく 菊	ち 地	なみ 波	A systematic study of the tribe Platylabini (Hymenoptera: Ichneumonidae: Ichneumoninae) from Japan （日本産Platylabini族（膜翅目ヒメバチ科ヒメバチ亜科）の体系学的研究） 主査：教授 大原 昌宏
	キム 金	ヘ 慧	リン 隣	Understanding Demands for Ecosystem Services and Facilities in Urban Green Spaces （都市緑地における生態系サービスおよび施設に対する需要の把握） 主査：准教授 庄子 康
	キム ヨンレ KIM Yongrae			Study on physical measures against subsequent sediment flow following debris flow deposition in high population density area （人口密集地域における土石流後続流の対策工法についての研究） 主査：教授 山田 孝
	こ 小	すぎ 杉	しげ 重	表面錯体モデルを用いた土壤粘土鉱物のリン酸吸着動態および分散凝集性のモデリング 主査：教授 石黒 宗秀
	はせがわ 長谷川			気相アセチル化による木材の高耐久化に関する研究 主査：教授 浦木 康光

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（農学）	みつ井 三ツ井 聡 美	国立公園の管理計画に資する利害関係者の認識把握に関する研究 主査：准教授 庄子 康
	ユウ 游 ショウ 瀟	環境教育を担う人材育成に関する研究－中日の自然体験学習を事例として－ 主査：教授 柿澤 宏昭
博士（生命科学）	アイミ スハイリ Aimi Suhaily ビンティ サイッディン Binti Saaidin	Design and Synthesis of a Multi-tag Exchangeable Nosyl-type Diazirine in Photoaffinity Labeling (マルチタグ交換可能な新規ジアジリン光アフィニティープロブの創製) 主査：教授 門出 健次
	オウ 王 コウ 航	Redesigning the enzymatic synthetic pathway of adrenaline to produce non-natural compound, Phenylephrine (非天然型アドレナリン作動薬フェニレフリンの酵素による合成経路の構築) 主査：教授 姚 閔
	サ ジール SAJEER ク ー ラス KOOLATH	Synthesis of Chiral Sphingolipids and their Stereochemical Effects on Induction of Neurite Outgrowth and Sphingomyelin Synthase Activity (キラルスフィンゴ脂質の合成とその立体化学による神経突起伸長及びスフィンゴミエリン合成酵素活性への影響について) 主査：教授 門出 健次
	ソン 孫 シャオ 曉 メイ 梅	Characterization and ligand-binding manner of EHEP and BGL for producing biofuel from brown algae (褐藻からバイオ燃料を生産するタンパク質EHEPとBGLの特性およびリガンド結合様式の研究) 主査：教授 姚 閔
	タオ 陶 デュン 真	Fabrication of Tough Hydrogels Composites from Photo-Responsive Polymers to Show Double Network Effect (光応答性ポリマーを用いた新規高靱性ハイドロゲル複合材料の合成とそのダブルネットワーク効果に関する研究) 主査：教授 龔 劍萍
	ハムク LKHAMKHUU エンヘスヘ ENKHSUKH	Effect of Circularly Polarized Light on Germination, Hypocotyl Elongation and Biomass Production of Arabidopsis and Lettuce; Involvement of Phytochrome B (植物における左右円偏光の発芽・胚軸伸長・成長に与える影響に関する研究) 主査：教授 門出 健次
	ふか 深 お 尾 かず 城	Study on Internal Fracture and Anisotropic Inorganic Crystallization in Highly Stretched Double Network Hydrogels (高延伸下ダブルネットワークゲルの内部破壊機構及び異方的無機結晶の複合化に関する研究) 主査：教授 龔 劍萍
	よこ 横 い 井 樹 友 樹	Dynamics and mechanisms of Paneth cell granule secretory responses in intestinal mucosal immunity (腸管粘膜免疫におけるPaneth細胞顆粒分泌応答の動態とメカニズム) 主査：教授 綾部 時芳
	ヒョンソク イム HYUNSEOK LIM	The presence of the chlorophyll cycle in chlorophyll b-containing cyanobacteria implicated by the in vitro activity assay (In vitroにおける活性測定によって示された、クロロフィルbを合成するシアノバクテリアにおけるクロロフィルサイクルの存在) 主査：准教授 田中 亮一
	オウ 王 コウ 洪 テキ 迪	Transcriptional regulatory divergence underpinning species-specific learned vocalization in songbirds (鳴禽類（ソングバード）の種特異的な歌行動に関わる遺伝子発現制御の研究) 主査：准教授 和多 和宏

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（生命科学）	さ とう りゅう いち 佐 藤 竜 一	Analysis of molecular and cellular mechanisms regulating medaka (<i>Oryzias latipes</i>) spermatogenesis, using a newly established cell culture system (新規に開発した細胞培養系を用いたメダカ (<i>Oryzias latipes</i>) 精子形成を制御する分子細胞機構の解析) 主査：教授 山下 正兼
	サン チ ェ ス SANCHEZ バル ブ エ ス タ VALPUESTA, ミ ゲ ル MIGUEL	Study of the function of pallial to basal ganglia projecting neurons in vocal learning and maintenance in songbirds (鳴禽類の外套-基底核投射ニューロンの発声学習, 及び維持における神経機能の研究) 主査：准教授 和多 和宏
	たか まつ せい だい 高 松 世 大	Studies on the Eukaryotic Ribosomal Exit Tunnel Function in Nascent Peptide-Mediated Ribosome Stalling (新生ペプチド鎖が司るリボソーム停滞における真核生物リボソーム出口トンネル機能の研究) 主査：教授 内藤 哲
	とも い たく み 友 井 拓 実	Quantitative imaging dissects contributions of SnRK2 and ABI3 on plasmodesmatal permeability in <i>Physcomitrella patens</i> (原形質連絡を介した高分子の細胞間拡散を抑制するSnRK2とABI3の役割の定量イメージング解析) 主査：教授 藤田 知道
	ふる かわ りょう 古 川 亮	ヒメツリガネゴケの光化学系 I-II 超複合体の解析 主査：准教授 田中 亮一
	プ ラ バ ポ ー ン PRAPAPORN ポ ン タ イ PONGTHAI	A novel abscisic acid-dependent chloroplast division pathway is present in the moss, <i>Physcomitrella patens</i> (ヒメツリガネゴケに見出したアブシジン酸経路依存的な葉緑体分裂制御に関する研究) 主査：教授 藤田 知道
	わき た だい き 脇 田 大 輝	Behavioral modeling of coordinated movements in brittle stars with a variable number of arms (腕数に個体差があるクモヒトデの協調運動の行動モデリング) 主査：准教授 青沼 仁志
博士（薬科学）	かわ はら だい き 河 原 大 貴	FUS R495X 変異によるALS発症機構の解明 主査：特任教授 鈴木 利治
	きた はた しゅん 北 畑 舜	新規プロテアソーム阻害剤の論理的設計と新規マクロライド系抗生物質の合成研究 主査：教授 市川 聡
	くさ か ひろ き 日 下 裕 規	脂質抗原提示分子CD1dの構造機能解析 主査：教授 前仲 勝実
	くし びき ゆう と 櫛 引 勇 人	電位依存性Ca ²⁺ チャネルのプレシナプスへの集積は足場タンパク質RIMB-1/RIM-binding proteinとUNC-10/RIMにより冗長的に制御される 主査：准教授 多留 偉功
	さ たけ しゅん 佐 竹 瞬	Cp [*] Rh(III)-キラルジスルホナートハイブリッド触媒の創製 主査：教授 松永 茂樹
	サトリアルディ Satrialdi	Photodynamic Therapy for Cancer using Mitochondrial Drug Delivery System (ミトコンドリア薬物送達システムを用いた癌光線力学療法の検証) 主査：教授 原島 秀吉
	ばん どう まさ よし 坂 東 正 佳	炭素原子が有機分子内を連続して移動する反応の発見ーメリーゴーランド反応への展開ー 主査：特任教授 高橋 保
	みや ざわ たく 宮 澤 拓	新規外輪型キラル二核ルテニウム(II, III)錯体を用いた不斉C-Hアミノ化反応 主査：教授 松永 茂樹
博士（臨床薬学）	やま もと けい すけ 山 本 圭 介	側鎖による三環性骨格制御を基盤とする新規PPAR γ 作動薬の創製研究 主査：教授 周東 智
	あお やま つよし 青 山 剛	Dasatinibの一時的曝露による持続的細胞増殖抑制効果の検討および胸水発症メカニズムの解明 主査：教授 菅原 満

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（臨床薬学）	近 藤 あ 祐 子 こん どう あ ゆ こ	紅茶抽出物及び含有ポリフェノール成分におけるOATP2B1を介した食物－薬物間相互作用に関する検討 主査：教授 井関 健
	なし 梨 もと しゅん すけ なし もと しゅん すけ	コレステロールトランスポーター NPC1L1を介した脂溶性抗酸化物質の消化管吸収動態の解析 主査：教授 菅原 満
	ふた ぎ む 悠 や ふた ぎ む 悠 や	Human monocarboxylate transporter 1, 4(hMCT1, 4) の基質選択性の違いを決定する分子メカニズムに関する研究 (Molecular determinants of substrate selectivity in human monocarboxylate transporters 1 (hMCT1) and 4 (hMCT4)) 主査：教授 井関 健
	みや もと まさ とし みや もと まさ とし	ω 水酸化脂質による体表面透過性バリア形成機構の解明 主査：教授 木原 章雄
	やま ぎき り か やま ぎき り か	細菌分解抗体を検知する免疫受容体LILRA2の分子認識機構 主査：教授 前仲 勝実
博士（教育学）	い とう けん じ い とう けん じ	ポスト・リベラリズムにおける子どもの権利論－関係の子どもと権利論の再定位－ 主査：教授 横井 敏郎
	うお ずみ とも ひろ うお ずみ とも ひろ	小規模の部活動における活動形成の論理－北海道の高校サッカー部での参与観察をもとに－ 主査：准教授 加藤 弘通
	こ じま ち ひろ こ じま ち ひろ	明治30年代における教育関係者の地域のことばをめぐる議論と「国語」形成－東北地方（主に岩手県）の教育雑誌にもとづいて－ 主査：教授 近藤 健一郎
	し しみず か り し しみず か り	Shinto Shrines in the Japanese Sphere: Centre, Periphery, and Beyond, 1868-1945 (帝国日本における神社－領域の中心・周縁・境界を超えて 1868-1945年) 主査：教授 ゲーマン・ジェフリー・ジョセフ
	たか はし ひで ゆき たか はし ひで ゆき	実践的・体験的学習から展開するキャリア教育を融合したこれからの高等学校商業教育に関する研究 主査：准教授 亀野 淳
博士（学術）	いま いずみ ぎと こ いま いずみ ぎと こ	可能表現の対照研究－日本語と英語を中心に－ 主査：准教授 平田 未季
	さい とう たく や さい とう たく や	1990年代以降の日本におけるゲイ男性のアイデンティティ形成－自己変革／社会変革活動における表象の戦略的利用－ 主査：准教授 原田 真見
	むら やま り と むら やま り と	第二言語習得における日本語と韓国語の目的語を標示する格の学習困難度の研究－有標性と他動性によるアプローチ－ 主査：教授 河合 靖
博士（観光学）	いし かわ み すみ いし かわ み すみ	拠点的な場所と〈あるじ〉の役割に関する研究－国内のゲストハウスを事例として－ 主査：教授 西山 徳明
	さわ だ たか し さわ だ たか し	「クラフト創造都市」金沢に関する研究――「工芸」の多義性を基軸として 主査：教授 清水 賢一郎
	たいら ゆう こ たいら ゆう こ	日本の動物園来園者の動物観に関する研究－来園者の娯楽の種類と変容に着目して－ 主査：教授 山村 高淑
博士（保健科学）	おおすか 大須賀 さとし おおすか 大須賀 さとし	慢性非特異的腰痛症例に対する腹部引き込み運動が体幹筋活動に与える影響 主査：准教授 寒川 美奈
	もり い やす ひろ もり い やす ひろ	脳卒中治療の費用対効果とアクセシビリティに関する研究 主査：教授 山内 太郎
博士（看護学）	ポウデル クリティカ POUDEL KRITIKA	Development of Cancer Education Program focusing on Adolescent health in Nepal (ネパールにおけるAdolescent healthに焦点を当てたがん教育プログラムの開発) 主査：教授 結城 美智子
博士（工学）	なか がわ こう いち なか がわ こう いち	強相関有機分子性結晶の超高速偏光分光 主査：教授 戸田 泰則

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（工学）	なかつがわ けい じ 中津川 啓 治	Time Crystals and Space Crystals in terms of Macroscopic Quantum Phenomena (時間的結晶・空間的結晶：巨視的量子現象としての研究) 主査：教授 丹田 聡
	はら ぐち えい すけ 原 口 英 介	光空間通信のための光位相制御による高位相安定コヒーレント光合波システムの研究 主査：准教授 関川 太郎
	ふじ だ けんたろう 藤 田 健太郎	キロヘルツ〜ギガヘルツ固体音響波の共振器による伝播制御 主査：准教授 松田 理
	まつ ぎき りょう すけ 松 崎 亮 典	ナノ構造半導体における電子・核スピン結合系のダイナミクスと核四極子相互作用 主査：教授 足立 智
	つる や とも ひろ 鶴 谷 知 洋	機械学習を用いたプレス加工における加工状態認識とバリ高さ推定に関する研究 主査：教授 佐々木 克彦
	えい じま わたる 永 島 渉	Cuゼオライト系触媒の反応解析とNH ₃ SCR反応モデル構築に関する研究 主査：准教授 柴田 元
	よし だ たい き 芳 田 泰 基	Study on Kinematic Rheometry Utilizing Ultrasonic Velocity Profiling (超音波流速計測を用いた運動学的レオメトリの開発研究) 主査：准教授 田坂 裕司
	かん どう だい ち 貫 洞 大 地	畳み込みニューラルネットワークを応用した三次元屈折率分布計測システムの開発 主査：教授 富岡 智
	てら もと しん や 寺 本 真 也	特殊鋼の機械特性と析出物制御に関する研究 主査：教授 大沼 正人
	よこ かわ こう へい 横 川 航 平	スポットスキニング陽子線治療における新型ミニリッジフィルタで形成した台形ブラッグカーブの重畳による拡大ブラッグピーク（SOBP）作成方法 主査：特任教授 梅垣 菊男
	あ べ こう き 阿 部 幸 樹	東日本大震災を踏まえた津波に対する漁業地域のレジリエンス向上方策に関する実証的研究 主査：教授 高野 伸栄
	サイード メヘル ベイ Saeid Mehrpay モガッダム Moghaddam	Development of Rigid Body Coupled Spring discrete model for simulation of cementitious composites and structural elements (セメント系複合材料および構造要素のシミュレーションのための剛体-バネ連成離散モデルの開発) 主査：准教授 松本 浩嗣
	ファン ジャー ユー 黄 佳 喻	Environment-Behavior Research for Advanced Design in the Open Transformation of Urban Housing Blocks in China (中国における都市住宅ブロックのオープン化に関する環境行動デザイン研究) 主査：教授 森 傑
	たか だ かず のり 高 田 和 規	住宅用樹脂製窓の高断熱化に関する研究 主査：教授 羽山 広文
	マ デ グン 馬 徳 群	CONCRETE FROST RESISTANCE EVALUATION METHOD CONSIDERING MOISTURE INCREASE BY FREEZE AND THAW (凍結融解による水分増加を考慮したコンクリートの耐凍害性評価方法) 主査：教授 千歩 修
	いな の ひろ ゆき 稲 野 浩 行	還元溶融法を用いた廃TVブラウン管ガラスからの鉛除去とプリント基板からの金属回収 主査：教授 廣吉 直樹
博士（理学）	ボーイット ソピア BOEUT Sophea	Variation in Permeability of Rocks due to Transient Disturbances in Axial Stress or Pore Pressure (軸応力や間隙水圧の過渡的な擾乱による岩石の浸透率変化) 主査：教授 藤井 義明
	く どう ふう き 工 藤 風 樹	Study on the Functions of Protein Phosphatase PPM1D in Myeloid Innate Immunity (骨髄系細胞による自然免疫におけるプロテインホスファターゼPPM1Dの機能に関する研究) 主査：教授 村上 洋太

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（理学）	タイ 戴 カ 河 ソウ 双	Synthesis and Conformation of Optically Active Polyurethanes Based on 1, 1'-Bi (2-naphthol) (1, 1'-ビ(2-ナフトール)に基づく光学活性ポリウレタンの合成とコンホメーション) 主査：教授 鈴木 孝紀
	なか がわ なつ み 中 川 夏 美	Posttranslational Modification and Evolution of Tetramerization Domain in Tumor Suppressor Protein p53 (癌抑制タンパク質p53における四量体形成ドメインの翻訳後修飾および進化) 主査：教授 村上 洋太
	な 谷 まさ み 納 谷 昌 実	低分子との水素結合を介した刺激応答性高分子溶液システムの開発 主査：教授 村越 敬
	はし づめ め い 橋 爪 芽 衣	ウイルス感染における新規自然免疫核酸センサーシグナル機構の解明と感染制御への応用 主査：教授 坂口 和靖
	みや ぎき れい 宮 崎 玲	Theoretical Study on Activation Mechanism of Unreactive Bonds by Metal Cluster Catalysts (金属クラスター触媒による不活性結合の活性化機構に関する理論的研究) 主査：教授 武次 徹也
	ム ラ リ ダ ハ ラ ン Muralidharan ム ル ガ ン Murugan	Enhancement Mechanism of Microbial Current Production by Conductive Iron Sulphides Biosynthesized by Sulphate Reducing Bacteria (硫酸還元細菌により生合成された導電性硫化鉄による微生物生成電流増大機構に関する研究) 主査：教授 坂口 和靖
	やま が ひで おみ 山 賀 英 臣	New Cyclization Reactions Utilizing Alkenyl Copper Species and their Applications (アルケニル銅を用いた新規環化反応の開発とその応用) 主査：教授 及川 英秋
	リ 李 ユン シャン 李 云 祥	Structure Engineering of Carbon-based Materials for Efficient Photocatalysis (高効率光触媒の構築に向けた炭素系材料の構造制御に関する研究) 主査：教授 加藤 昌子
博士（工学）	いし い けん とし 石 井 健 斗	Study on Oxygen Separation Membrane based on Mixed Oxide Ionic-Electronic Conductor (酸化物イオン-電子混合伝導性酸化物を用いた酸素分離膜に関する研究) 主査：教授 忠永 清治
	セ シ リ ア マ ル セ ラ Cecilia Marcela カ ル バ オ ル テ イ ス Calpa Ortiz	Liquid-Phase Synthesis of Li ₂ S-P ₂ S ₅ Solid Electrolytes for All-Solid-State Batteries (全固体電池用Li ₂ S-P ₂ S ₅ 系固体電解質の液相合成) 主査：教授 島田 敏宏
	かわ また ゆう き 川 又 勇 来	二相系オルガノソルブ法による木質・草本バイオマスの全量資源化に関する研究 主査：教授 向井 紳
	しし ど りょう すけ 穴 戸 亮 介	Synthesis of Silylborane Compounds and Their Applications (シリルボラン化合物の合成とその応用) 主査：教授 大熊 毅
	ジョン 全 ゼ ワン 全 載 完	Development of Pd Based Alloy Catalysts Highly Selective for deNO _x reactions (deNO _x 反応に高い選択性を示すPd系合金触媒の開発) 主査：教授 長谷川 淳也
	モ ハ メ ド MOHAMMAD ア ニ ス ル ラ マ ン ANISUR RAHMAN ジャミル JAMIL	Sustainable Heterogeneous Catalysis for C-C/C-N Coupling using Methanol and Triglyceride (メタノールとトリグリセリドを用いたC-C/C-N結合生成のためのサステナブルな不均一系触媒作用) 主査：教授 福岡 淳
	はやし しょう へい 林 祥 平	Studies on the Biosynthetic Machinery in Polyunsaturated Fatty-Acid Synthases (多価不飽和脂肪酸合成酵素における生合成機構に関する研究) 主査：教授 松本 謙一郎
	は やま けい いち 羽 山 慶 一	Development of Copper (I)-Catalyzed Dearomative Borylation and Silylation Reactions of N-Heteroaromatic Compounds (銅 (I) 触媒による含窒素複素芳香族化合物の脱芳香族ホウ素化およびケイ素化反応の開発) 主査：教授 大熊 毅

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者		博 士 論 文 名
	氏 名		
博士（工学）	パン 虎 ヤードン		Development of Synthetic Methods for Organoboron Compounds Using Transition-Metal-Catalysis and Mechanochemistry (遷移金属触媒とメカノケミストリーによる有機ホウ素化合物の合成法の開発) 主査：教授 大熊 毅
	ふじ 藤 井 雄 太 ゆうた		Development of Novel Electrode Materials for All-Solid-State Lithium Secondary Batteries using Sulfide Solid Electrolyte (硫化物固体電解質を用いた全固体リチウム二次電池用新規電極材料の開発) 主査：教授 島田 敏宏
	ほそ 細 野 あきら の 新		Study on Microcrystals and Ceramics of Ferroelectric BaTaO ₂ N Oxynitride Perovskite (ペロブスカイト型酸窒化物強誘電体BaTaO ₂ Nの微結晶と焼結体に関する研究) 主査：教授 忠永 清治
	ブライアン ジウォン リー Brian Jiwon Ree		Nanoscale Film Morphologies of Topological Polymers (トポロジカルポリマーが形成するナノスケール薄膜のモルフォロジーに関する研究) 主査：教授 渡慶次 学
	わた 渡 部 航 大 なべ こう だい		Intramolecular Crosslinking as a Robust Methodology to Manipulate Microphase-Separated Structures of Block Copolymers (マイクロ相分離構造の精密制御を実現するためのブロック共重合体の分子内架橋法) 主査：教授 渡慶次 学
博士（経済学）	カシム アハメド QASIM AHMED ワカール WAQAR		Trade Policy, Lobbying and Heterogeneous Firms (貿易政策, ロビー活動および非同質的企業) 主査：教授 今井 晋
	コウ 高 平 へい		Bayesian analysis on spatial econometric models (空間計量経済モデルのベイズ分析) 主査：教授 高木 真吾
	シ 史 磊 らい		Bayesian Analysis on Ordered Probit Models with Individual Heterogeneity (個人の異質性を入れた順序選択モデルのベイズ推定) 主査：教授 高木 真吾
博士（経営学）	トウ 唐 ウ 雨 テイ 婷 う		管理会計における「人的要素」に関する研究 主査：教授 吉見 宏
博士（経済学）	ヘ 海 デ 大 ボム 汎 汎		信用貨幣の生成原理に関する研究 主査：特任教授 佐々木 憲介
博士（経営学）	やなぎ だ とも たか 柳 田 具 孝		創業家支配とガバナンス 主査：教授 高木 真吾
	よし み あ き 吉 見 明 希		コンテンツ産業における管理会計の研究－放送事業の事例を中心に－ 主査：准教授 篠田 朝也
博士（医学）	いま いずみ けん 今 泉 健		直腸癌の術前治療による術後合併症への影響と腫瘍局所の微小環境の変化に関する研究 (Study on postoperative complications and tumor microenvironment related to neoadjuvant therapies for rectal cancer) 主査：教授 小林 弘一
	かしわ き さや か 柏 木 彩 花		蛍光タンパク質を用いたイメージング技術によるシグナル伝達の時空間的制御に関する研究 (Studies on spatiotemporal regulation of signal transduction with the use of fluorescence imaging) 主査：教授 佐邊 壽孝
	コウ 侯 スウ 崇 ケン 显 崇		Studies on molecular mechanisms underlying 5-ALA mediated fluorescence-guided surgery and the prognostic significance of CD44 in grade II/III gliomas (グレードII/III神経膠腫における5-ALAを利用した蛍光誘導手術の分子機構とCD44の予後への重要性に関する研究) 主査：教授 山下 啓子
	なか の いっ ぺい 仲 野 一 平		心不全患者における骨格筋障害の診断法および影響する因子の解明に関する研究 (Studies on skeletal muscle abnormality in patients with heart failure: Elucidation of novel diagnostic methods and influencing factors) 主査：教授 工藤 興亮

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	あさの ひろし 朝 野 拓 史	子宮体癌の個別化治療を目指した臨床病理学的検討 (Clinicopathological study on individualized treatment for endometrial cancer) 主査：教授 篠原 信雄
	あさひ よし 旭 火 華	腫瘍浸潤リンパ球の局在に注目した肝内胆管癌の臨床病理学的検討 (Research on clinicopathological data including CD8+ T cell distribution of intrahepatic cholangiocarcinoma) 主査：准教授 七戸 俊明
	いとう やすひろ 伊 藤 康 裕	脳虚血再灌流障害に対する局所脳冷却灌流療法と人工酸素運搬体HemoAct併用の脳保護効果に関する研究 (Studies on neuroprotective effect of combination therapy of regional cold perfusion and hemoglobin-based oxygen carrier HemoAct for ischemic-reperfusion injury) 主査：教授 工藤 興亮
	いな がき ゆうじ 稲 垣 侑 士	機能的近赤外分光法を用いた筋電図誘発刺激を組み合わせた鏡視覚フィードバックによる血行力学的応答の探索 (Exploring hemodynamic responses for mirror visual feedback with electromyogram-triggered stimulation using functional near-infrared spectroscopy) 主査：教授 岩崎 倫政
	うと に き 宇 土 仁 木	Alzheimer病におけるアパシーとドーパミン神経系の関連 (Relationship between apathy and dopamine nervous system in Alzheimer's disease) 主査：准教授 矢部 一郎
	うわ とこ ひさし 上 床 尚	多系統萎縮症およびパーキンソン病における血漿miRNA発現変化の検討 (Studies on plasma microRNA expression changes in multiple system atrophy and Parkinson's disease) 主査：教授 畠山 鎮次
	えちぜんや 越前谷 すみれ	膠芽腫幹細胞を用いた創薬スクリーニング系の構築と新規抗腫瘍薬の同定に関する研究 (Studies on establishment of drug screening system using a glioblastoma-initiating cells and identification of novel antitumor drug) 主査：教授 田中 伸哉
	おお うち みふか 大 内 みふか	骨盤底筋機能不全を有する患者に対する骨盤底筋トレーニングに関する臨床研究 (Clinical studies on pelvic floor muscle training in patients with pelvic floor dysfunction) 主査：教授 渡利 英道
	おお にし なおき 大 西 直 樹	抗リン脂質抗体症候群の血栓病態解明の研究 (Thrombotic pathology of Antiphospholipid syndrome) 主査：教授 橋野 聡
	おか まつ ひこ 岡 松 彦	メタンフェタミン反復投与による統合失調症病態モデル動物におけるNMDA受容体の構成パターンに着目した病態研究 (A pathological study focusing on the subunit composition of NMDA receptors in animal models of schizophrenia by repeated administration of methamphetamine) 主査：教授 渡邊 雅彦
	おぎ の まりこ 荻 野 真理子	肝外胆管癌におけるtumor budding gradeと臨床病理学的因子・予後・EMT関連タンパク発現に関する検討 (Impact of Tumor Budding Grade in Patients Who Underwent Surgical Resection for Extrahepatic Cholangiocarcinoma) 主査：教授 武富 紹信
	お ぐし ようこ 小 串 陽 子	胎児期における内分泌かく乱化学物質曝露が性分化へ与える影響に関する研究 (Studies on effects of prenatal exposure to endocrine-disrupting chemicals on the sex differentiation) 主査：教授 渡利 英道
	お ばた よし 尾 畑 嘉 一	ナチュラルキラー T細胞活性化によるドキシソルビン心筋障害の予防効果に関する研究 (Studies on preventive effects of natural killer T cell activation against doxorubicin-induced cardiotoxicity) 主査：教授 清野 研一郎

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	かく たい なお や 角 谷 高 哉	心不全患者における嫌気性代謝閾値でのガス交換比の上昇は予後と関連する (Studies on the relationships between increased respiratory exchange ratio at anaerobic threshold and adverse clinical outcomes in patients with heart failure) 主査：教授 今野 哲
	か とう しん 加 藤 新	膵管閉塞を伴わない遠位悪性胆管狭窄に対する金属ステント留置時の膵炎発症予防における内視鏡的乳頭括約筋切開術の効果に関する多施設共同後方視的研究 (Efficacy of endoscopic sphincterotomy in prevention of post-ERCP pancreatitis after transpapillary metallic stent placement in patients without main pancreatic duct obstruction, multicenter retrospective observational study) 主査：准教授 神山 俊哉
	か とう よし や 加 藤 喜 哉	心不全患者における磁気共鳴エラストグラフィー法を用いた肝硬度測定 of 臨床的有用性に関する研究 (Clinical usefulness of liver stiffness measured by magnetic resonance elastography in patients with heart failure) 主査：教授 平野 聡
	かま だ けい すけ 鎌 田 啓 佑	日本で臨床分離された迅速発育抗酸菌株における疫学的特徴、および薬剤感受性に関する研究 (Studies on epidemiological characteristics and drug susceptibility profile of Rapidly Growing Mycobacteria clinically isolated in Japan) 主査：教授 渥美 達也
	がん ちく よし かず 巖 築 慶 一	マウス心移植モデルにおける移植後早期移植片浸潤細胞の免疫学的機能の変化に関する基礎的研究 (The changes of immunological behavior during early phase graft infiltrating lymphocytes depends on the time after cardiac transplantation in mice) 主査：教授 豊嶋 崇徳
	きた むら しん や 北 村 真 也	皮膚有棘細胞癌におけるミトコンドリア分裂関連因子Drp1の機能に関する研究 (Studies on the function of Drp1 in cutaneous squamous cell carcinoma.) 主査：教授 近藤 亨
	きの した りょう 木 下 諒	Towards an assessment framework for herd immunity against vaccine preventable diseases (ワクチン予防可能疾患の集団免疫度に関する評価体系の提案) 主査：教授 高橋 誠
	クオン じ ふん 権 池 勲	金ナノ粒子による放射線量増加の推定と腫瘍微細血管破壊効果の検証 (Evaluation of gold nanoparticle-induced radiation dose enhancement and disruption of tumor microvasculature) 主査：准教授 鬼丸 力也
	くし びき とし ひろ 櫛 引 敏 寛	細胞膜透過性ペプチドを用いC16orf74を標的とした膵癌新規治療法に関する研究 (Study on novel therapeutic method for pancreatic cancer targeting C16orf74 using cell penetrating peptide) 主査：教授 武富 紹信
	くすのき か な こ 楠 加奈子	遺伝子組換えトロンボモジュリンは免疫制御や組織保護を介して血管炎病態を改善する (Recombinant thrombomodulin ameliorates autoimmune vasculitis via immune response regulation and tissue injury protection) 主査：教授 清野 研一郎
	くわ ぼら しょう た 栗 原 尚 太	術前化学放射線療法が膵癌微小環境にもたらす免疫学的効果に関する研究 (Studies on prognostic relevance of tertiary lymphoid organs following neoadjuvant chemoradiotherapy in pancreatic ductal carcinoma) 主査：教授 坂本 直哉
	ゴ ビン シュウ 呉 秉 修	Study of novel adjuvant treatments to improve radiotherapy by targeting radiation-induced invasiveness in cancer cells (放射線照射後に生き残ったがん細胞の浸潤能亢進を抑制するための新規アジュバント療法に関する研究) 主査：教授 佐邊 壽孝

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	こやながわ かず ひろ 小梁川 和 宏	心臓サルコイドーシスにおける心電図同期SPECTで評価した位相解析指標と心筋血流に関する研究 (Studies on phase analysis parameters and myocardial perfusion assessed by electrocardiogram gated SPECT in patients with cardiac sarcoidosis) 主査：教授 渥美 達也
	さか もと ゆずる 坂 本 譲	非アルコール性脂肪性肝疾患における肝マクロファージ炎症および線維化進行バイオマーカーの探索 (Study on biomarker of liver macrophage activation and advanced fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease) 主査：教授 坂本 直哉
	さ とう だい 佐 藤 大	小児骨粗鬆症における抗Siglec-15抗体療法の治療効果および安全性に関する研究 (Studies on the efficacy and safety of anti-Siglec-15 Ab therapy in juvenile osteoporosis) 主査：教授 山本 有平
	さら しな み わ 更 科 美 羽	健常心、拡大心、肥大心における左室内渦のエネルギー効率に対する機能的意義の差異に関する研究 (Differences in Functional Significance of Intra-Left Ventricular Vortex on Energy Efficiency among Normal, Dilated, and Hypertrophied Hearts) 主査：教授 近藤 英司
	しい や はる ひこ 椎 谷 洋 彦	Idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosisの疾患特性が肺移植前後の予後に与える影響 (Studies on the outcome of lung transplantation for idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis) 主査：教授 今野 哲
	しば た ゆう へい 柴 田 悠 平	ハダカデバネズミのマクロファージの同定と細胞株樹立に関する研究 (Detection and establish of cell lines of macrophage in naked mole-rat) 主査：准教授 北村 秀光
	しま むら さ なえ 嶋 村 抄 苗	線維芽細胞様滑膜細胞におけるFarnesyltransferase inhibitorのRasGRP4-Ras蛋白質間相互作用の抑制効果の検討 (Farnesyltransferase inhibitor suppresses the RasGRP4 and Ras interaction of fibroblast-like synoviocytes from patients with rheumatoid arthritis) 主査：教授 村上 正晃
	し みず ゆき え 清 水 幸 衣	脳腫瘍における血流・血管透過性および糖代謝データを用いた低酸素領域の評価と予測 (Evaluation and Prediction of Hypoxia in Brain Tumors Using Data of Blood Flow, Vascular Permeability, and Glycometabolism) 主査：教授 久住 一郎
	ジョ リョウ 徐 亮	骨軟骨欠損に対する高純度アルギン酸ゲルと骨髄穿刺濃縮細胞併用移植の検討 (Therapeutic effect of ultra-purified alginate gel containing bone marrow aspirate concentrate on osteochondral defects in a rabbit model) 主査：教授 近藤 英司
	しょう じ つつ あき 庄 司 哲 明	シスプラチン耐性肺癌の治療標的としての免疫プロテアソーム解析 (Evaluating the immunoproteasome as a potential therapeutic target in cisplatin-resistant small cell and non-small cell lung cancer) 主査：准教授 鬼丸 力也
	すず き かず はる 鈴 木 和 治	慢性B型肝炎患者に対する核酸アナログ治療の腎機能・脂質代謝への影響の検討 (Effect of Nucleos (t) ide analogues for HBV infected patients on renal function and lipid metabolism) 主査：教授 平野 聡
	すず き ゆう き 鈴 木 裕 貴	血液脳脊髄関門の機能保護を介した中枢神経保護薬の開発 (Development of novel neuroprotection drugs for CNS trauma by targeting preservation of blood-brain spinal cord barrier function) 主査：教授 田中 真樹

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	たか だ ゆう すけ 高 田 祐 輔	SYT17（Synaptotagmin17）の腎移植後慢性拒絶反応の新規尿中バイオマーカーとしての研究 （Study on SYT17 〈Synaptotagmin 17〉 as a novel urinary biomarker in chronic rejection after kidney transplantation） 主査：教授 西浦 博
	た ぐち じゅん 田 口 純	プラチナ不耐・抵抗性の再発・転移頭頸部扁平上皮癌におけるS-1/セツキシマブ併用療法の有効性と安全性を検討する多施設前向き臨床研究 （A multicenter prospective clinical study on the safety and efficacy of combination treatment with S-1/cetuximab in patients with platinum-intolerant/refractory recurrent and/or metastatic squamous cell carcinoma of the head and neck） 主査：准教授 志賀 哲
	てら した ゆ か よ 寺 下 友佳代	造血細胞移植後の合併症を予測するバイオマーカーに関する研究 （Study on predictive biomarkers for complications after hematopoietic stem cell transplantation） 主査：教授 橋野 聡
	とうかいりん きくたろう 東海林 菊太郎	もやもや病患者由来iPS細胞の血管平滑筋細胞への分化誘導；機能解析および遺伝子発現解析 （Differentiation of vascular smooth muscle cell from iPS cell of moyamoya disease patients; functional and gene expression analysis） 主査：教授 森本 裕二
	と ざわ ゆう すけ 戸 澤 雄 介	日本人における遺伝性葉酸吸収不全症の研究 （Studies on hereditary folate malabsorption in Japanese patients） 主査：教授 豊嶋 崇徳
	とよ しま ゆうじろう 豊 島 雄二郎	大腸がん肝転移におけるIL-6の作用機序解明に関する研究 （Studies on the effect of IL-6 on liver metastasis of colorectal cancer） 主査：教授 松野 吉宏
	な く ぼ しょう 中久保 祥	補中益気湯は肺炎球菌保菌マウスモデルにおいてマクロファージ活性化とIL-17A産生亢進を介してクリアランスを向上させる （Traditional Japanese Herbal Medicine Hochu-ekki-to Promotes Pneumococcal Colonization Clearance via Macrophage Activation and Interleukin 17A Production in Mice） 主査：教授 安斉 俊久
	なか むら あき ひさ 中 村 晃 久	非アルコール性脂肪性肝疾患から早期非アルコール性脂肪性肝炎を判別する血清sCD14の有用性の検討 （Assessment of the utility of soluble CD14 in discriminating nonalcoholic steatohepatitis in the early stage of fibrosis from nonalcoholic fatty liver disease） 主査：准教授 神山 俊哉
	なが つ あき ひさ 長 津 明 久	術後合併症と手術因子が結腸直腸癌肝転移に対する肝切除術の転帰に与える影響に関する研究 （Studies of impact of postoperative complications and surgical factors on the outcome of liver resection for metastases from colorectal carcinoma.） 主査：准教授 七戸 俊明
	なが ぬま りょう じ 長 沼 亮 滋	パーキンソン病患者における誘発脳磁場の検討 （Magnetoencephalographic assessment of evoked magnetic fields in patients with Parkinson's disease） 主査：教授 岩崎 倫政
	ね ぶか ま お 根 深 真 央	不安、恐怖記憶におけるセロトニン5-HT _{2c} 受容体の役割に関する研究 （Studies on the roles of the serotonin 5-HT _{2c} receptor in anxiety and fear memory） 主査：教授 神谷 温之
	の むら ゆう すけ 野 村 友 祐	散乱カーネル法と深層学習を用いた適応陽子線治療のための新しいCBCT散乱線補正法の開発 （Development of novel CBCT scatter correction methods for adaptive proton therapy using scatter kernel superposition and deep learning） 主査：准教授 志賀 哲

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	は せ けいたろう 長 谷 敬太郎	難治性眼疾患における病態解明と新規治療法の開発 (Elucidation of pathogenesis and development of novel treatments for refractory eye diseases) 主査：教授 西浦 博
	はま ぐち ゆう こ 濱 口 由 子	日本における結核年間感染危険率の統計学的推定 (Statistical estimation of the annual risk of tuberculosis infection in Japan) 主査：教授 荒戸 照世
	はま さき まさ なり 濱 崎 雅 成	変形性関節症の病態解明に向けた軟骨破片に対するマクロファージ炎症反応の解析 (The analysis of macrophage stimulated with cartilage fragments: toward exploring the mechanism of osteoarthritis) 主査：教授 高橋 誠
	はま だ しん すけ 濱 田 晋 輔	北海道におけるプリオン病の臨床的および疫学的研究 (Clinical and epidemiological study of human prion diseases in Hokkaido) 主査：教授 石田 晋
	ひ だか だい すけ 日 高 大 輔	短期間のテロメラーゼ阻害はDNA損傷修復の抑制を介し造血系悪性腫瘍の抗がん剤に対する感受性を増強する (Short-term telomerase inhibition sensitizes hematopoietic malignant cells to a genotoxic agent via suppression of the telomerase-mediated DNA repair process) 主査：教授 真部 淳
	ひら た こう じ 平 田 幸 司	超音波内視鏡下穿刺吸引法による検体を用いた胆道癌ゲノム解析の研究 (A novel approach for the genetic analysis of biliary tract cancer specimens obtained through endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration using targeted amplicon sequencing) 主査：教授 篠原 信雄
	フ ケイ ケツ 付 慶 ケツ 傑	Conditioned medium from human amnion-derived mesenchymal stem cells regulates activation of primary hepatic stellate cells (羊膜間葉系幹細胞由来培養上清の培養肝星細胞に対する活性化制御) 主査：教授 荒戸 照世
	や ぎ ざ わ まさ たか 八木澤 允 貴	HER2低発現大腸がんにおける予後と分子生物学的特徴に関する検討 (Prognostic Value and Molecular Landscape of HER2 Low-expressing Metastatic Colorectal Cancer) 主査：教授 佐藤 典宏
	やま ぐち たけ し 山 口 健 史	新生児マス・スクリーニング陽性の先天性甲状腺機能低下症に対する次世代シーケンサーを用いたターゲットリシーケンス (Targeted next-generation sequencing for congenital hypothyroidism with positive neonatal TSH screening) 主査：准教授 矢部 一郎
	やま ぎき かず よし 山 崎 和 義	ラット脊髄損傷モデルにおける急性期FTY720投与の治療効果および亜急性期BMSC細胞シート硬膜下投与の治療効果の検証 (Verification of therapeutic effects of acute FTY720 administration and subacute BMSC cell sheet subdural administration in rat spinal cord injury model) 主査：教授 神谷 温之
	やま した ゆう 山 下 優	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌肺炎に嫌気的環境が与える病的影響の検討 (Studies on effects of anaerobic environment on Methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> pneumonia) 主査：教授 畠山 鎮次
	やま なし かつ ま 山 梨 克 真	心不全における分岐鎖アミノ酸の役割に関する研究 (Studies on the role of branched-chain amino acid in heart failure) 主査：教授 大場 雄介

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	やま なし か な 山 梨 香 菜	クローン病の腸管活動性病変に対する体外式腹部超音波検査とダブルバルーン内視鏡検査との相関 (Crohn's disease activity evaluation by transabdominal ultrasonography: correlation with double balloon endoscopy) 主査：教授 安斉 俊久
	やま むら りょう だい 山 村 凌 大	ヒトにおける短鎖脂肪酸と肥満との関連およびそれに対する腸内細菌叢、食習慣の影響 (Studies on short-chain fatty acids and obesity in conjunction with the gut microbiota and dietary habits in human) 主査：教授 真部 淳
	よこ やま しんいちろう 横 山 新一郎	小児外科領域におけるシミュレーショントレーニング開発に向けた基盤研究 (Fundamental research for development of simulation-based training in pediatric surgery) 主査：教授 木下 一郎
	リー ウェン シー	The Pathogenesis of Joint Destruction in Patients with Rheumatoid Arthritis and its Potential Therapeutic Agents (関節リウマチにおける関節破壊の病態解明と治療ターゲットに関する研究) 主査：教授 木下 一郎
	わき ぎか かず き 脇 坂 和 貴	Wnt5aの発現と肝細胞癌の生物学的悪性度および切除例における予後の検討 (Studies on Wnt5a expression and biological malignancy of hepatocellular carcinoma) 主査：教授 佐藤 典宏
	わた なべ たか まさ 渡 辺 堯 仁	80歳以上の高齢者脊椎手術における周術期合併症に関する研究 (Study on perioperative complications of spine surgery for the patients aged 80 years or older) 主査：教授 渡邊 雅彦
博士（獣医学）	た むら まさ ひろ 田 村 昌 大	Study on the evaluation of hepatic microvascular perfusion and hepatic fibrosis using ultrasonography in dogs with liver disease (犬の肝疾患における超音波検査を用いた肝微小循環および肝線維化の評価に関する研究) 主査：教授 木村 享史
	い とう ぎとし 伊 藤 聡	Studies on risk assessment of transboundary swine diseases in Japan (日本における越境性豚伝染病のリスク評価に関する研究) 主査：教授 迫田 義博
	ウェッサム モ ハ メ ド Wessam Mohamed アハメド モ ハ メ ド Ahmed MOHAMED	Studies on the spread of H5N1 influenza viruses in Egypt (エジプトにおけるH5N1インフルエンザウイルスの伝播に関する研究) 主査：教授 伊藤 公人
	おお うち ゆう き 大 内 勇 樹	Studies on fluoroquinolone resistance in <i>Mycobacterium tuberculosis</i> utilizing recombinering technology (組換え技術を利用した結核菌のフルオロキノロン耐性に関する研究) 主査：教授 鈴木 定彦
	こ とう しん や 後 藤 伸 也	Studies on the mechanism of the immunosuppression caused by bovine mycoplasmosis and the development of its novel control method (牛マイコプラズマ感染症における免疫抑制機序の解明と新規治療法の開発) 主査：教授 大橋 和彦
	たか だて よし ひろ 高 館 佳 弘	Studies on molecular determinants for susceptibilities of bats to filoviruses (フィロウイルスに対するコウモリの感受性を決定する分子基盤に関する研究) 主査：教授 高田 礼人
	たけ だ かず き 武 田 一 貴	Investigation of mechanisms of rodenticide-resistance using a closed colony of rodenticide-resistant black rats (<i>Rattus rattus</i>) from Tokyo (東京由来殺鼠剤抵抗性クマネズミ (<i>Rattus rattus</i>) クローズドコロニーを用いた殺鼠剤抵抗性獲得機序の解明) 主査：教授 石塚 真由美

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（獣医学）	ダグバジャム Dagvajamts バド ラク BADRAKH	Effect of seminal plasma proteins on the normalization of endometrial epidermal growth factor profile and fertility in repeat breeder dairy cows (精漿タンパク質がリピーターブリーダー牛の子宮内膜における上皮成長因子濃度変化および受胎性の正常化に及ぼす効果) 主査：教授 片桐 成二
	とり 鳥 居 志 保	Investigation of the life cycles of novel viruses in arthropods and molecular analyses of the intracellular proliferation mechanisms of Chikungunya virus (節足動物から検出された新規ウイルスの生活環の解析と蚊媒介性チクングニアウイルスの細胞内増殖の分子生物学的解析) 主査：教授 澤 洋文
	バク 朴 ジョン フン 勲	Inhibitory activities of WQ-3810 and its analogs against DNA gyrase of <i>Mycobacterium leprae</i> (らい菌のDNAジャイレースに対するWQ-3810とその類縁体の阻害活性) 主査：教授 鈴木 定彦
	ぼう 房 とも 知 輝	放射線によるミトコンドリア形態変化と放射線感受性との関連性に関する研究 主査：教授 稲波 修
	みなと 港 えりな 江利奈	Investigation on the susceptibility of transgenic mice and rat neuronal cell line Rn33B that express equine major histocompatibility class 1 to equine herpesvirus-1 (ウマ主要組織適合遺伝子複合体クラス1遺伝子導入マウスおよびラット由来神経細胞株Rn33Bにおけるウマヘルペスウイルス1型感受性の検討) 主査：教授 木村 享史
	やま 山 もと 久美子	がん細胞のミトコンドリア機能を中心としたエネルギー代謝の放射線応答に関する研究 主査：教授 稲波 修
博士（医理工学）	はな 花 だ 萌 美	荷電粒子入射反応における医療用放射性核種 ¹⁶⁹ Ybの生成断面積測定 (Cross section measurements of charged-particle induced reactions to produce medical radionuclide ¹⁶⁹ Yb) 主査：教授 合川 正幸
	ひら 平 やま しゅう すけ 祐 祐	スポットスキニング陽子線治療における線エネルギー付与を考慮した生物線量評価に関する研究 (Studies of biological dose evaluation considering linear energy transfer for spot-scanning proton therapy) 主査：准教授 宮本 直樹
	しば 柴 た 悠 き 貴	Development of a novel cancer therapy with a ferroptosis inducer and radiation, and a prediction method for therapeutic effects targeting ferroptosis (フェロトーシス誘導剤と放射線を併用した新規がん治療法、及びフェロトーシス誘導がん治療効果予測法の開発) 主査：教授 久下 裕司
博士（工学）	まえ 前 だ ひで き 樹	波長多重光トランスポートシステムにおける長距離、高速大容量伝送に関する研究 主査：客員教授 可児 淳一
博士（情報科学）	いち 一 せ 光	A study on detection and blocking of DNS-based botnet communication (DNSボットネット通信の検知及び遮断に関する研究) 主査：准教授 飯田 勝吉
	いな 稲 こし ひろ や 弥	Studies on Geospatial Mobility Analysis of Regions and Trajectories from Location Data (位置データからの領域と軌跡に関わる地理空間移動分析の研究) 主査：教授 有村 博紀
	くり 栗 た かず ひろ 宏	Efficient Enumeration of Substructures in Sparse Graphs (疎なグラフにおける部分構造の効率良い列挙) 主査：教授 有村 博紀
	ソウ 宋 ソウ 爽	Study on Online Travel Review Analysis for Tourism Investigation (旅行・観光調査のためのオンライン旅行レビューの分析に関する研究) 主査：教授 川村 秀憲

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（情報科学）	まき ぐち もと ひろ 巻 口 誉 宗	高臨場映像表示技術の実用化に向けた多層空中像表示と多視点裸眼3D映像表示に関する研究 主査：教授 小野 哲雄
	ま の とおる 間 野 暢	Studies on Construction Methods of Large-Scale Virtual Networks (大規模仮想ネットワーク構築手法に関する研究) 主査：教授 有村 博紀
博士（工学）	いの うえ まさ き 井 上 将 希	Co基ホイスラー合金薄膜を用いた電流面直型巨大磁気抵抗素子におけるスピン依存伝導特性 主査：教授 末岡 和久
	うえ よし こう だい 植 吉 晃 大	Efficiency-Centric Hardware Accelerator for Deep Neural Network Inference (深層ニューラルネットワーク向け高効率HWアクセラレータに関する研究) 主査：教授 浅井 哲也
	お の り と た か き 小野里 尚 記	Development of Electrochromic Transistors using Amorphous Tungsten Oxide Thin Film as the Active Layer (アモルファス酸化タングステン薄膜を活性層として用いたエレクトロクロミックトランジスタの開発) 主査：教授 橋詰 保
	チェン ヤ フォン 陳 亜 鳳	設計可能なナノ加工プロセスを用いて作製した 半導体ナノ構造の光学特性に関する研究 主査：教授 末岡 和久
博士（情報科学）	まへ だ とお ひろ 前 田 智 弘	光波面制御に基づく空間モード変換技術に関する研究 主査：教授 富田 章久
博士（工学）	やま もと か しゅう 山 本 佳 生	Research on Annealing Processors for Large-Scale Combinatorial Optimization Problems (大規模組合せ最適化問題のためのアニーリングプロセッサに関する研究) 主査：教授 浅井 哲也
	よし だ なお き 吉 田 尚 樹	Study on the analytical and experimental method to evaluate Casimir force excluding the effect of roughness and electrostatic force (静電気力と表面粗さの影響を低減したカシミール力の解析及び測定法に関する研究) 主査：教授 富田 章久
博士（情報科学）	パトリツィア Patrycja シフイエチコフスカ エヴァ Swieczkowska EWA	A Study on Advisory Online Comments for a Motivational Dialogue System (動機付け対話システムのためのオンラインコメントにおけるアドバイスに関する研究) 主査：教授 荒木 健治
博士（工学）	やま ぐち か な こ 山 口 歌奈子	Study on Advanced Systems for a Low Power Wide Area Wireless Network of IoT Devices (IoTシステム向け長距離無線通信方式の高度化に関する検討) 主査：教授 大鐘 武雄
博士（情報科学）	わた なべ りょう すけ 渡 邊 良 亮	計算機合成ホログラムの動画の高速生成法に関する研究 主査：教授 坂本 雄児
博士（工学）	いし かわ こう すけ 石 川 光 亮	次世代パワー半導体デバイスを用いた超高速モータ駆動用高周波PWMインバータの開発 主査：教授 小笠原 悟司
	しも たに とし ひと 下 谷 俊 人	熱間薄板圧延向け誘導加熱装置の数値解析および制御モデル構築に関する研究 主査：教授 五十嵐 一
	たか はし しょうたろう 高 橋 翔太郎	高速スイッチング電力変換器が発生する電磁ノイズの抑制手法に関する研究 主査：教授 小笠原 悟司
博士（情報科学）	はし もと こうたろう 橋 本 光太郎	体幹・骨盤回旋補助による歩行支援および走行拡張 主査：准教授 田中 孝之
	ふじ た しょう ござ 藤 田 祥 伍	均質化有限要素法とインピーダンス境界条件を用いた準定常電磁界解析に関する研究 主査：教授 五十嵐 一
	まつ だ あさ ひ 松 田 朝 陽	生物の回転運動解析のための頑健な画像パタン計測法に関する研究 主査：教授 金子 俊一
	みや じま さ おり 宮 島 沙 織	デジタルヒューマンモデルと慣性センサを用いた作業動作・負担計測システムの開発 主査：客員教授 宮田 なつき
博士（工学）	ヤン ヤーピン Yan Yaping	Accumulated and Aggregated Shifting of Intensity for Defect Detection in Uniform Background Regions (一様背景領域における欠陥検出のための凝集累積型明度遷移アルゴリズム) 主査：教授 金子 俊一

論文博士

博士の専攻 分野の名称	博士の学位を授与された者	博 士 論 文 名
	氏 名	
博士（医学）	たなか のぶ ひろ 田 中 暢 洋	特殊な麻酔管理を要する手術の脳内環境についての研究 (Studies on intracerebral environment during surgeries which require special anesthetic management) 主査：教授 今野 哲
博士（獣医学）	さなき たか お 佐名木 孝 央	Studies on the identification of antiviral lipid molecules against dengue virus using lipidomics (リピドミクスを活用した抗デングウイルス活性を有する脂質分子の同定に関する研究) 主査：教授 澤 洋文
	バグワン マヘルジャン Bhagwan Maharjan	Establishment of the diagnostic system of tuberculosis feasible in developing countries (開発途上国で実施可能な結核診断システムの確立) 主査：教授 鈴木 定彦
博士（環境科学）	みうら かず き 三 浦 一 輝	Population status and processes of recruitment failure of endangered freshwater pearl mussels (<i>Margaritifera togakushiensis</i>) in eastern Hokkaido, northern Japan (北海道東部における絶滅危惧淡水二枚貝コガタカワシンジュガイの個体群の現状と再生産の停止機構) 主査：准教授 根岸 淳二郎
	ム ハ マ ド Muhammad ム バ シ ャ Mubashar ア マ ド ド ガ ー Ahmad Dogar	Study of the regional climatic impacts of tropical explosive volcanism in the Middle East and North Africa region (熱帯の爆発的火山活動が中東および北アフリカの地域気候に与える影響に関する研究) 主査：准教授 佐藤 友徳
	たか の しん や 鷹 野 真 也	Study on permafrost and ground surface conditions at the Taiga-Tundra boundary in the Indigirka River lowland, northeastern Siberia (北東シベリアインディギルカ河川低地タイガーツンドラ境界における永久凍土と地表面状態に関する研究) 主査：教授 杉本 敦子
	くば た あき と 久保田 明 人	Implementation of GISH (genomic <i>in situ</i> hybridization) and DNA marker techniques for <i>Festulolium</i> breeding (GISHおよびDNAマーカー技術のフェストロリウム育種への利用) 主査：准教授 星野 洋一郎
	たなべ とも き 田 辺 智 樹	サラブレッド種当歳馬の昼夜放牧飼養管理に関する栄養学的・行動学的研究 (Nutritional and behavioral studies on grazing management for whole-day stocked Thoroughbred foals) 主査：准教授 河合 正人
博士（農学）	おおくば よし あき 大久保 慈 輝	乳・乳製品中の好気性芽胞菌に関する研究 主査：教授 横田 篤
	おの とも あき 小 野 智 昭	集落営農組織の経営構造と法人形態の選択に関する研究 主査：教授 柳村 俊介
	ささき よう 佐々木 洋	異論派兄弟ジョレス&ロイ・メドヴェージェフによるロシア革命史再審と農業展望－農業・農民史研究の視点から－ 主査：特任教授 坂下 明彦
	たけ い りょう 竹 井 亮	加工による食品テクスチャーの改変と物性評価に関する研究 主査：教授 松浦 英幸
博士（教育学）	おか ざち え 岡 幸 江	応答の教育としての阿部やエ伝承論 主査：教授 宮崎 隆志

■ 諸会議の開催状況

教育研究評議会（令和2年3月6日）

議 題・総長選考会議における選考方法等について

役員会（令和2年3月9日）

議 案・職員宿舍料等の改定について

- ・ 本学教員が従事する営利企業への役員兼業の見直しについて
- ・ 就業規則関連規程の一部改正について
- ・ 競争的資金に係る「間接経費」の取扱いについて
- ・ 国立大学法人北海道大学職員給与規程等の一部改正について
- ・ 子の看護休暇の取得要件の追加について
- ・ 就業規則関連規程の一部改正について

協議事項・令和2年度年度計画について

- ・ 全学運用教員の措置について
- ・ 北大発ベンチャーの育成・支援のための取組について
- ・ 令和2年度予算について
- ・ 部局予算の繰越について
- ・ 諸規則の制定及び一部改正について

報告事項・大学院入学定員の充足状況について

- ・ GI-CoRE協力拠点に係る認定について
 - ・ 国立大学法人等施設整備実施事業（令和元年度補正予算）について
-

教育研究評議会（令和2年3月18日）

議 題・総長選考会議における選考方法等について

- ・ 経営協議会の学外委員について
 - ・ 名誉教授の選考について
 - ・ 令和2年度年度計画について
 - ・ 学生の懲戒について
 - ・ 北海道大学共同利用施設等「核磁気共鳴装置研究室」の指定解除について
 - ・ 北大発ベンチャーの育成・支援のための取組について
 - ・ 令和2年度予算について
 - ・ 諸規則の制定及び一部改正について
-

経営協議会（令和2年3月19日（書面審議））

議 題・総長選考会議委員の選出について

- ・ 令和2年度年度計画について
- ・ 令和2年度予算について
- ・ 諸規則の制定について

報告事項・令和元年度運営費交付金の追加配分について

役員会（令和2年3月27日）

議 案・令和2年度年度計画について

- ・ 北大発ベンチャーの育成・支援のための取組について
 - ・ 令和2年度予算について
 - ・ 部局予算の繰越について
 - ・ 諸規則の制定及び一部改正について
 - ・ 令和2年度卓越大学院プログラムの申請について
 - ・ 函館地区キャンパスマスタープランの策定について
 - ・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う職員の自宅待機について
 - ・ 就業規則関連規程の一部改正について
-

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しています。

■学内規程

国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員就業規則及び国立大学法人北海道大学短時間勤務職員就業規則の一部を改正する規則

(令和2年3月10日海大達第14号)

国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程並びに国立大学法人北海道大学船員労働時間、休日及び休暇規程の一部を改正する規程

(令和2年3月10日海大達第18号)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、保育所等を臨時に休業する取扱いがなされたことを踏まえ、子の養育を行う職員の仕事と生活の調和の観点から、当分の間、幼稚園、小学校及び特別支援学校の幼稚部から高等部まで並びに認可保育所、保育所型認定こども園、地方裁量型認定こども園、地域型保育事業所及び認可外保育施設の設置者が臨時に学校等の全部又は一部の休業を行った学校等に就学等している子を養育する職員が、勤務しないことが相当であると認められる場合は、子の看護休暇を取得できることとすること（以下「臨時休業の子の看護休暇の取得」という。）に伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学契約職員就業規則の一部を改正する規則

(令和2年3月10日海大達第15号)

国立大学法人北海道大学特任教員就業規則の一部を改正する規則

(令和2年3月10日海大達第17号)

①臨時休業の子の看護休暇の取得、②国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部改正に伴い、当該規程の適用を受ける職員との均衡等を考慮し、勤勉手当の支給割合の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則

(令和2年3月10日海大達第16号)

①臨時休業の子の看護休暇の取得、②国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員給与規程の一部改正に伴い、当該規程の適用を受ける職員との均衡等を考慮し、基本給月額及び勤勉手当の支給割合の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学役員給与規程の一部を改正する規程

(令和2年3月10日海大達第19号)

国立大学法人法第35条の規定により準用される独立行政法人通則法第50条の2第3項の規定を踏まえ、役員の給与について、国家公務員の給与及び民間企業の役員の報酬等並びに本学の業務の実績その他の事情を考慮し、国民の理解が得られる適正なものとするため、期末手当の支給割合の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程

(令和2年3月10日海大達第20号)

国立大学法人法第35条の規定により準用される独立行政法人通則法第50条の10第3項の規定を踏まえ、職員の給与について、国家公務員の給与等、民間企業の従業員の給与等、本学の業務の実績並びに職員の職務の特性及び雇用形態その他の事情を考慮し、国民の理解が得られる適正なものとするため、基本給月額、勤勉手当の支給割合並びに住居手当の支給要件及び支給額の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員給与規程の一部を改正する規程

(令和2年3月10日海大達第21号)

札幌市から認可保育園に対して交付される補助金における人件費の算定については、国家公務員の給与を参考として算定されていることから、当該補助金の額を考慮しつつ、職員の給与について社会一般の情勢に適合したものとし、かつ、国家公務員の給与等、民間企業の従業員の給与等、本学の業務の実績並びに職員の職務の特性及び雇用形態その他の事情を考慮し、国民の理解が得られる適正な給与水準とするため、基本給月額、勤勉手当の支給割合並びに住居手当の支給要件及び支給額の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学職員兼業規程の一部を改正する規程

(令和2年3月11日海大達第22号)

社会一般の情勢を踏まえ、営利企業の事業への関与制限を見直すこと並びに北大発ベンチャーの支援及び育成体制を強化するため、研究成果活用企業の定義及び研究成果活用兼業の許可基準を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学職員就業規則等の一部を改正する規則

(令和2年3月30日海大達第23号)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、外出制限、建物の使用制限等の措置が講じられることにより、大学の業務の全部又は一部の休止を余儀なくされた場合及び海外オフィスの所在地において治安の状況に照らして職員の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる場合に、職員に自宅待機を命ずることができることに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則

(令和2年4月1日海大達第24号)

令和2年4月1日付けで、人材育成本部の目的を改めること、高等教育推進機構学務委員会を改組すること、工学研究院に置く部門を改組すること並びに医理工学院、国際感染症学院及び国際食資源学院の教育研究の実施に協力する組織を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第25号)

令和2年4月1日付けで、保健科学研究院保健科学部門に置く分野の改組及び寄附分野の新設を行うこと、工学研究院に置く部門及び分野の改組並びに寄附分野の新設を行うこと、医学研究院内科系部門に置く寄附分野の新設を行うこと並びに遺伝子病制御研究所に置く寄附研究部門の廃止を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学総長選考会議規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第26号)

国立大学法人法の一部改正及び意向聴取の方法を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学情報環境推進本部規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第27号)

北海道大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画に基づき、情報セキュリティ及びITに係る司令塔機能を強化するため、本学に最高情報セキュリティ副責任者を、情報環境推進本部に情報化統括副責任者をそれぞれ置くこと及び情報化統括責任者補佐役にもって充てる者を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学アドミッションセンター規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第28号)

北海道大学入学者選抜委員会規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第34号)

大学入学共通テスト実施方針及び平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について(29文科高第355号文部科学省高等教育局長通知)に基づき、入学試験の名称及び内容を改めることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学人材育成本部規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第29号)

人材育成本部女性研究者支援室において、支援対象者を女性研究者から多様な研究人材へと拡充することに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター分析・加工受託規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第30号)

創成研究機構グローバルファシリティセンターにおいて、材料分析又は加工に使用する設備の追加、取消及び変更を行うことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第31号)

令和2年4月1日付けで、高等教育推進機構において専門横断科目及び大学院共通授業科目に係る科目等履修生を受け入れること、高等教育推進機構に置く副機構長の人数を見直すこと並びに高等教育推進機構学務委員会を改組することに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学大学力強化推進本部規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第32号)

令和2年4月1日付けで、大学力強化推進本部に新たな事業部門を置くことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学産学・地域協働推進機構規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第33号)

産学・地域協働推進機構にライセンス等の対価としての株式等の取得の妥当性を審査するため、株式等取得審査委員会を置くことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学教務委員会規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第35号)

令和2年4月1日付けで、教務委員会の構成員の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学情報セキュリティ委員会規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第36号)

北海道大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画に基づき、情報セキュリティ及びITに係る司令塔機能を強化するため、本学に最高情報セキュリティ副責任者及び統括情報セキュリティ責任者を、情報環境推進本部に情報化統括副責任者をそれぞれ置くこと並びに委員の任期を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第37号)

令和2年4月1日付けで、病院事務部総務課を改組すること及び北海道大学における教育研究施設の有効活用に関する指針の一部改正に伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学通則の一部を改正する規則

(令和2年4月1日海大達第38号)

①外国人留学生のための授業科目区分を改めること、②学校教育法施行規則等の一部を改正する省令（令和元年文部科学省令第11号。以下同じ。）の施行に伴い、入学前の既修得単位等の取扱いを改めること、③令和2年4月1日付けで、高等教育推進機構学務委員会を改組すること、④大学入学共通テスト実施方針に基づき、入学試験の名称を改めること、⑤高等教育推進機構において専門横断科目に係る科目等履修生を受け入れること、⑥令和2年度から令和3年度までの2年間、医学部医学科の入学定員を暫定的に増員することに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学大学院通則の一部を改正する規則

(令和2年4月1日海大達第39号)

令和2年4月1日付けで、他の研究科等における授業科目の履修手続きを改めること、高等教育推進機構において大学院共通授業科目に係る科目等履修生を受け入れること及び水産科学院の定員を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学の第1年次の学生に係る履修、修学等に関する規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第40号)

令和2年4月1日付けで、高等教育推進機構学務委員会を改組すること、国際交流科目の履修手続きを改めること及び学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、入学前の既修得単位等の取扱いを改めることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学科目等履修生規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第41号)

令和2年4月1日付けで、高等教育推進機構において専門横断科目及び大学院共通授業科目に係る科目等履修生を受け入れることとするに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学における履修証明プログラムに関する規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第42号)

学校教育法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学現代日本学プログラム課程規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第43号)

現代日本学プログラム課程において、①学部専門科目等の履修の手続きを改めること、②学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、入学前の既修得単位等の取扱いを改めること、③北海道大学全学教育科目規程の一部改正、④より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学新渡戸カレッジ規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第44号)

新渡戸カレッジにおいて、北海道大学現代日本学プログラム課程規程の一部改正及びより適切な教育効果を得るために教育プログラムの整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学全学教育科目規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第45号)

学部の教育課程において、より適切な教育効果を得るために、全学教育科目の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学インテグレイテッドサイエンスプログラム規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第46号)

インテグレイテッドサイエンスプログラムにおいて、学士課程第1年次における所属予定学科以外の学科等の授業科目の履修手続きを改めること及び本プログラムの修了要件を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学大学院共通授業科目規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第47号)

大学院の教育課程において、より適切な教育効果を得るために、大学院共通授業科目の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学病的材料検査に関する規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第48号)

診療報酬の算定方法の一部改正に伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学における北大発ベンチャー称号授与規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第49号)

北大発ベンチャーの支援及び育成体制を強化するため、北大発ベンチャー称号授与の申請資格、審査体制、期間等を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学におけるライセンス等の対価として取得する株式等の取扱いに関する規程**(令和2年4月1日海大達第50号)**

北大発ベンチャーの支援及び育成体制を強化するため、本学が所有する知的財産を活用する場合において、本学が所有する知的財産の譲渡若しくは提供、実施権の設定又は実施権若しくは利用権の許諾の対価として、株式及び新株予約権の取得を可能とすることに伴い、その取扱いについて所要の定めを行ったものです。

国立大学法人北海道大学職員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第51号)**

国立大学法人北海道大学船員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第52号)**

①短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律施行規則の改正に基づき、本学と期間の定めのある労働契約を締結する者に対して文書の交付により明示する労働条件に新たな事項を加えること（以下「有期雇用労働者に対する文書明示事項の追加」という。）、②国立大学法人北海道大学職員兼業規程の一部改正、③成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行を踏まえ、職員の解雇事由を見直すこと（以下「解雇事由の見直し」という。）に伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第53号)**

国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第56号)**

有期雇用労働者に対する文書明示事項の追加及び解雇事由の見直しに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学契約職員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第54号)**

有期雇用労働者に対する文書明示事項の追加、解雇事由の見直し、特殊勤務手当の支給対象者を見直すこと並びに北海道大学病院医療技術部所属の職員のうち、変形労働時間制の適用を受けない職員及び北海道大学病院に勤務する医療職（A）の職員（栄養管理部に勤務する職員を除く。以下同じ。）について、カンファレンスを行う日の休憩時間を確保するため並びに北海道大学病院に勤務する医療職（A）の職員について、北海道大学病院ME機器管理センターが24時間勤務体制を開始するため並びに休憩時間における交代要員の確保及び手術対応を行うため、新たな勤務時間帯の区分を設けることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学短時間勤務職員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第55号)**

短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律施行規則の一部改正及び解雇事由の見直しに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学特任教員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第57号)**

有期雇用労働者に対する文書明示事項の追加、解雇事由の見直し及び特殊勤務手当等の支給対象者を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学嘱託職員就業規則の一部を改正する規則**(令和2年4月1日海大達第58号)**

解雇事由の見直しに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第59号)

令和2年4月1日付けで、創成研究機構に、大学の教員等の任期に関する法律第4条第1項第1号又は第2号に基づき任期を定める機構長付きの准教授及び助教を置くこと、地球環境科学研究院に、同法第4条第1項第1号に基づき任期を定める部局テニュアトラック認定制度を適用する准教授を置くこと並びにアンビシャステニュアトラック制度を適用する医学研究院の准教授が教授に昇任した場合は、任期の定めのない教員とすることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学利益相反マネジメント規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第60号)

国立大学法人北海道大学職員兼業規程の一部改正に伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第61号)

北海道大学病院医療技術部所属の職員のうち、変形労働時間制の適用を受けない職員及び北海道大学病院に勤務する医療職（A）の職員について、カンファレンスを行う日の休憩時間を確保するため並びに北海道大学病院に勤務する医療職（A）の職員について、北海道大学病院ME機器管理センターが24時間勤務体制を開始するため並びに休憩時間における交代要員の確保及び手術対応を行うため、新たな勤務時間帯の区分を設けることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学日時給職員の特別の有給休暇に関する規程を廃止する規程

(令和2年4月1日海大達第62号)

天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律の規定により休日の日数が増加したことに伴い、賃金の減少が生じる職員に付与される特別の有給休暇の有効期間が令和2年3月31日をもって終了することに伴い、所要の定めを行ったものです。

国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第63号)

北海道大学病院ME機器管理センターが24時間勤務体制を開始するため、夜間業務手当の支給対象を改めること並びに大学入学共通テスト実施方針及び平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（29文科高第355号文部科学省高等教育局長通知）に基づき、入学試験の名称を改めることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学職員退職手当規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第64号)

国立大学法人北海道大学職員就業規則及び国立大学法人北海道大学船員就業規則の一部改正に伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学放射線障害予防規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第65号)

放射性同位元素等の規制に関する法律、放射性同位元素等の規制に関する法律施行規則及び放射線障害予防規程に定めるべき事項に関するガイドに基づき、規定を見直すことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学個人情報管理委員会規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第66号)

北海道大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画に基づき、情報セキュリティ及びITに係る司令塔機能を強化するため、本学に最高情報セキュリティ副責任者を置くことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学情報セキュリティ対策規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第67号)

北海道大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画に基づき、情報セキュリティ及びITに係る司令塔機能を強化するため、本学に最高情報セキュリティ副責任者及び統括情報セキュリティ責任者を置くことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学予算決算及び経理規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第68号)

令和2年4月1日付けで、民法の一部を改正する法律（平成29年法律第44号。以下同じ。）が施行されることに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学コーポレートカード利用規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第69号)

国立大学法人北海道大学コーポレートカードの利用明細請求仕訳サービスの終了を踏まえ、新たな契約に基づきカードの切り替えを行うことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学北大フロンティア基金規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第70号)

平成31年4月1日付けで、新渡戸カレッジ及び新渡戸スクールが統合されたことに伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学宿舍貸与規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第71号)

宿舍料収入を宿舍の維持管理経費に見合う水準とするため、有料宿舍の使用料等を国家公務員に準拠した額に改めること、宿舍の有効活用を促進するため、職務の級等に応じて貸与する宿舍の規格を定める貸与基準を廃止すること及び令和2年4月1日付けで、民法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学における共用スペース使用規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第72号)

北海道大学における教育研究施設の有効活用に関する指針の一部改正に伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学病院借上宿舍規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第73号)

借上宿舍に係る本学と賃貸人との間の賃貸借料金に含まれるインターネット使用料金について、令和2年4月1日から消費税込みの金額に変更されることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学保育所ともに規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第74号)

労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、保育所に入所させることができる対象の範囲を拡充すること並びに保育の対象とする児童、例外的な開所、保育の形態並びに保護者から徴収する入所料及び保育料を明記することに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学保育所ともに運営委員会規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第75号)

国立大学法人北海道大学保育所ともに規程及び国立大学法人北海道大学人材育成本部規程の一部改正に伴い、所要の改正を行ったものです。

国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第76号)

オープンファシリティについて、設備の追加、取消及び変更を行うことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学ナノテクノロジープラットフォーム事業による設備利用規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第77号)

ナノテクノロジープラットフォーム事業において、設備の追加を行うことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学文学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第78号)

北海道大学教育学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第79号)

北海道大学法学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第80号)

北海道大学経済学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第81号)

北海道大学理学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第82号)

北海道大学医学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第83号)

北海道大学歯学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第84号)

北海道大学薬学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第85号)

北海道大学工学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第86号)

北海道大学農学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第87号)

北海道大学獣医学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第88号)

北海道大学水産学部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第89号)

本学の学部において、①他学部履修等の手続きを改めること、②学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、入学前の既修得単位等の取扱いを改めること、③北海道大学全学教育科目規程の一部改正、④より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行うとともに、規定の整備を行ったものです。

北海道大学大学院環境科学院規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第90号)

北海道大学大学院保健科学院規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第91号)

北海道大学大学院工学院規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第93号)

北海道大学大学院総合化学院規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第95号)

北海道大学大学院医学院規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第96号)

北海道大学大学院医理工学院規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第98号)

北海道大学大学院国際食資源学院規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第99号)

北海道大学大学院公共政策学教育部規程の一部を改正する規程
(令和2年4月1日海大達第100号)

本学の大学院において、より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行うとともに、規定の整備を行ったものです。

北海道大学大学院保健科学研究院規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第92号)

令和2年4月1日付けで、大学院保健科学研究院の保健科学部門に置く分野の改組を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学大学院工学研究院規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第94号)

令和2年4月1日付けで、大学院工学研究院に置く部門の再編を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第97号)

受診する動物の所有者又は管理者に対するサービスの充実を図るため、他大学及び民間の動物病院の診療料金等を踏まえ、大学院獣医学研究院附属動物病院における診療等の区分、診療料金等の見直しを行うことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学遺伝子病制御研究所規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第101号)

令和2年4月1日付けで、遺伝子病制御研究所病態研究部門に置く分野の新設及び廃止を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学触媒科学研究所運営委員会規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第102号)

運営委員会に置く共同利用・共同研究拠点課題等審査専門委員会の組織を見直すことに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学アイヌ・先住民研究センター規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第103号)

令和2年4月1日付けで、センター長の再任について見直すこと及び副センター長を置くことができるようにすることに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学アイヌ・先住民研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第104号)

令和2年4月1日付けで、アイヌ・先住民研究センターに副センター長を置くことができるようにすることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学人間知・脳・AI研究教育センター規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第105号)

人間知・脳・AI研究教育センターにおいて、新たに教育プログラムを実施することに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学国際連携研究教育局規程の一部を改正する規程

(令和2年4月1日海大達第106号)

令和2年3月31日付けで、国際連携研究教育局に置くグローバルステーションのうち3拠点の設置期間が満了することに伴い、所要の改正を行ったものです。

■ 告示

告 示

北海道大学告示第1号

北海道大学共同利用施設等管理規程（昭和38年海大達第3号）第2条の規定に基づき、共同利用施設等「核磁気共鳴装置研究室」の指定を解除する。

令和2年3月31日

北海道大学総長職務代理 笠 原 正 典

■人事

令和2年3月31日付発令

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
【教授】 （定年）	加 藤 智 章	大学院法学研究科教授
	常 本 照 樹	大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター教授
	足 立 伸 次	大学院水産科学研究院教授
	宮 澤 晴 彦	大学院水産科学研究院教授
	宮 下 和 夫	大学院水産科学研究院教授
	安 井 肇	大学院水産科学研究院教授
	及 川 英 秋	大学院理学研究院教授
	由 利 美智子	大学院理学研究院教授
	井 関 健	大学院薬学研究院教授
	武 田 宏 司	大学院薬学研究院教授
	内 藤 哲	大学院農学研究院教授
	波多野 隆 介	大学院農学研究院教授
	伴 戸 久 徳	大学院農学研究院教授
	柳 村 俊 介	大学院農学研究院教授
	小 内 透	大学院教育学研究院教授
	宇佐見 森 吉	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	竹 中 のぞみ	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	長 野 督	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	齋 藤 健	大学院保健科学研究院教授
	山 本 徹	大学院保健科学研究院教授
	鈴 木 亮 輔	大学院工学研究院教授
	千 歩 修	大学院工学研究院教授
	高 木 睦	大学院工学研究院教授
	西 口 規 彦	大学院工学研究院教授
	羽 山 広 文	大学院工学研究院教授
	増 田 隆 夫	大学院工学研究院教授
	山 下 俊 彦	大学院工学研究院教授
	横 田 弘	大学院工学研究院教授
	板 谷 淳 一	大学院経済学研究院教授
	鄭 漢 忠	大学院歯学研究院教授
	池 田 証 壽	大学院文学研究院教授
	北 村 清 彦	大学院文学研究院教授
	金 子 俊 一	大学院情報科学研究院教授
	ZEUGMANN	大学院情報科学研究院教授
	THOMAS	
	三 澤 弘 明	電子科学研究所附属グリーンナノテクノロジー研究センター教授
	橋 詰 保	量子集積エレクトロニクス研究センター教授
	荒 木 肇	北方生物圏フィールド科学センター教授
	齊 藤 隆	北方生物圏フィールド科学センター教授
	鈴 木 誠	高等教育推進機構教授
	下休場 千 秋	観光学高等研究センター教授
	山 崎 淳一郎	産学・地域協働推進機構教授
	BAUMGARD	国際連携研究教育局教授
	LANCE HALL	
	Brown Lorena	国際連携研究教育局教授
	Elizabeth	
	GORDON STEPHEN	国際連携研究教育局教授
	VINCENT	
	HACKMAN	国際連携研究教育局教授
	ROBERT MARK	
	Hall William	国際連携研究教育局教授
	Walmsley	
（任期満了）		

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
（辞職）	HARTLAND	国際連携研究教育局教授
	ELIZABETH LOUISE	
	Jackson David	国際連携研究教育局教授
	Charles	
	KARPE PHILIPPE	国際連携研究教育局教授
	PAIN ARNAB	国際連携研究教育局教授
	河 合 剛	大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
	蟹 江 章	大学院経済学研究院教授
	谷 口 勇 仁	大学院経済学研究院教授
	宮 永 喜 一	国際連携研究教育局・大学院情報科学研究院教授
	町 野 和 夫	大学院公共政策学連携研究部教授
【准教授】 （定年）	藏 崎 正 明	大学院地球環境科学研究院准教授
	山 崎 健 一	大学院地球環境科学研究院准教授
	谷 宏	大学院農学研究院准教授
	保 延 光 一	大学院教育学研究院准教授
	村 尾 直 人	大学院工学研究院准教授
	飯 塚 正	大学院歯学研究院准教授
	三古谷 忠	北海道大学病院准教授
	瀧 本 将 人	遺伝子病制御研究所准教授
【講師】 （定年）	藤 田 進一郎	大学院工学研究院講師
【助教】 （定年）	李 大 雄	大学院水産科学研究院助教
	志 村 和 紀	大学院工学研究院助教
	熊 谷 治 夫	大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター助教
	石 井 吉 之	低温科学研究所助教
【専門職（学術）】 （定年）	小野寺 晃 一	産学・地域協働推進機構学術主任専門職
【部長】 （定年）	天 野 良	施設部長
	川 上 豊	理学・生命科学事務部長（兼）理学・生命科学事務部事務課長
	寺 澤 睦	医学系事務部長
【事務長・室長】 （定年）	岡 林 精 二	学務部学務企画課長
	六 家 英 紀	研究推進部研究振興企画課長
	飯 島 浩 司	施設部施設整備課長
	小 塩 俊 二	函館キャンパス事務部事務長
	三本木 毅	薬学事務部事務長
	見 永 博 英	農学・食資源学事務部事務長
	松 嶋 敏 幸	医学系事務部保健科学研究院事務課長
	小 川 悟	工学系事務部教務課長
	谷 口 貢	文学事務部事務長
	阿 部 康 成	北海道大学病院総務課長
	吉 田 直 美	北海道大学病院医事課長
	中 谷 慎 志	歯学事務部事務長
【補佐】 （定年）	栗 林 幸 徳	総務企画部人事課付（旭川医科大学から出向復帰）
	小 澤 嘉	施設部施設整備課課長補佐
	渡 邊 玲 子	北海道大学病院医事課課長補佐
【係長】 （定年）	山 本 直 美	学務部学生支援課係長

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
	藤 沢 一 教 三 浦 淳 峯 田 学	医学系事務部会計課係長 北海道大学病院医事課係長 北方生物圏フィールド科学センター係長
【主任】 （定年）	上 平 聖 子 羽 生 俊 明	工学系事務部総務課主任 低温科学研究所主任
【技術職員等】 （定年）	藤 本 文 雄 下河原 みゆき 蓮 池 清 美 三佐川 清 美 高 橋 早 苗 棚 田 郁 子 宮 崎 文 江 太 田 知 子 嶋 原 祐 子 杉 山 弘 武 田 弘 子	水産学部附属練習船おしよろ丸機関長 北海道大学病院看護部看護師長 北海道大学病院看護部看護師長 北海道大学病院看護部看護師長 北海道大学病院看護部副看護師長 北海道大学病院看護部副看護師長 北海道大学病院看護部副看護師長 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部看護師 北方生物圏フィールド科学センター技術専門職員 保健センターカウンセラー

令和2年4月1日付発令

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
【参与】 参与 （期間：令和3年3月31日まで）	多 谷 司	参与
【経営協議会委員】 （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで）	樋 口 達 夫 横 山 清 松 沢 幸 一 長 澤 秀 行 石 山 喬 松 谷 有希雄 五十嵐 智嘉子	大塚ホールディングス株式会社代表取締役社長兼CEO、大塚製薬株式会社代表取締役会長 株式会社アークス代表取締役社長、株式会社ラルズ代表取締役会長 株式会社明治屋代表取締役社長 帯広畜産大学顧問、公益財団法人とかち財団理事長 日本軽金属ホールディングス株式会社顧問 国立保健医療科学院名誉院長、一般財団法人日本公衆衛生協会理事長、国際医療福祉大学大学院教授 一般社団法人北海道総合研究調査会理事長
【部局長・施設長等】 創成研究機構化学反応創成研究拠点長 （期間：令和4年3月31日まで） 大学院水産科学研究院長 大学院水産科学院長 水産学部長 （期間：令和4年3月31日まで） 水産学部附属練習船おしよろ丸船長 （期間：令和4年3月31日まで） 大学院理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター長 （期間：令和4年3月31日まで） 大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長 （期間：令和4年3月31日まで） 薬学部附属薬用植物園長 （期間：令和4年3月31日まで） 大学院教育学研究院長 大学院教育学院長 教育学部長 （期間：令和4年3月31日まで） 大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター長	前 田 理 木 村 暢 夫 高 木 省 吾 木 村 真 明 橋 本 武 志 前 仲 勝 実 宮 崎 隆 志 松 本 伊智朗	創成研究機構化学反応創成研究拠点・大学院理学研究院教授 大学院水産科学研究院教授 水産学部附属練習船おしよろ丸准教授 大学院理学研究院教授 大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター教授 国際連携研究教育局・大学院薬学研究院教授 大学院教育学研究院教授 大学院教育学研究院教授

[illegible]

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
大学院水産科学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	川 合 祐 史	大学院水産科学研究院教授
大学院水産科学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	藤 森 康 澄	大学院水産科学研究院教授
大学院教育学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	横 井 敏 郎	大学院教育学研究院教授
大学院保健科学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	浅 賀 忠 義	大学院保健科学研究院教授
大学院経済学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	安 部 由起子	大学院経済学研究院教授
大学院歯学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	網 塚 憲 生	大学院歯学研究院教授
大学院文学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	川 端 康 弘	大学院文学研究院教授
大学院文学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	藏 田 伸 雄	大学院文学研究院教授
大学院情報科学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	近 野 敦	大学院情報科学研究院教授
大学院情報科学研究院副研究院長 （期間：令和4年3月31日まで）	富 田 章 久	大学院情報科学研究院教授
低温科学研究所副所長 （期間：令和4年3月31日まで）	渡 部 直 樹	低温科学研究所教授
遺伝子病制御研究所副所長 （期間：令和4年3月31日まで）	村 上 正 晃	遺伝子病制御研究所教授
触媒科学研究所副所長 （期間：令和4年3月31日まで）	清 水 研 一	触媒科学研究所教授
【教育研究評議会評議員】 （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで） （期間：令和4年3月31日まで）	藏 田 伸 雄 都 木 靖 彰 横 井 敏 郎 安 部 由起子 網 塚 憲 生	大学院文学研究院教授 大学院水産科学研究院教授 大学院教育学研究院教授 大学院経済学研究院教授 大学院歯学研究院教授
【教授】 大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター教授 大学院法学研究科教授 大学院法学研究科教授 大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター教授 大学院法学研究科教授 大学院法学研究科教授 大学院水産科学研究院教授 大学院地球環境科学研究院教授 大学院理学研究院教授 大学院農学研究院教授 大学院農学研究院教授 大学院農学研究院教授 大学院農学研究院教授 大学院農学研究院教授 大学院農学研究院教授 観光学高等研究センター教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院保健科学研究院教授	齊 藤 正 彰 佐 藤 陽 子 中 川 晶比呂 中 川 寛 子 西 村 裕 一 山木戸 勇一郎 松 石 隆 小野田 晃 木 村 真 明 井 上 京 金 澤 章 曾 根 輝 雄 高 橋 昌 志 FOX BRIAN GRANT JUNG GEUNHWA 木 村 宏 佐々田 博 教 辻 本 篤 中 川 理 鍋 島 孝 子 濱 井 祐三子 石 川 正 純	大学院法学研究科教授 大学院法学研究科准教授 大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター教授 大学院法学研究科教授 大学院法学研究科准教授 大学院法学研究科准教授 国際連携研究教育局・大学院水産科学研究院教授 大阪大学准教授 大学院理学研究院准教授 国際連携研究教育局・大学院農学研究院教授 大学院農学研究院准教授 国際連携研究教育局・大学院農学研究院教授 国際連携研究教育局・大学院農学研究院教授 国際連携研究教育局教授 国際連携研究教育局教授 （採用） 大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授 （採用） 国際連携研究教育局・大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授 国際連携研究教育局・大学院保健科学研究院教授

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
大学院工学研究院教授	林 基 哉	（採用）
大学院経済学研究院教授	久 保 淳 司	大学院経済学研究院准教授
大学院経済学研究院教授	久保田 肇	国際連携研究教育局・大学院経済学研究院教授
大学院経済学研究院教授	鈴 川 晶 夫	大学院公共政策学連携研究部教授
大学院医学研究院教授	工 藤 興 亮	国際連携研究教育局・大学院医学研究院教授
大学院医学研究院教授	清 水 伸 一	国際連携研究教育局・大学院医学研究院教授
大学院医学研究院教授	白 土 博 樹	国際連携研究教育局・大学院医学研究院教授
大学院医学研究院教授	藤 山 文 乃	（採用）
大学院医学研究院教授	若 狭 哲	北海道大学病院講師
大学院獣医学研究院教授	迫 田 義 博	国際連携研究教育局・大学院獣医学研究院教授
大学院獣医学研究院教授	堀 内 基 広	国際連携研究教育局・大学院獣医学研究院教授
大学院文学研究院教授	河 原 純一郎	大学院文学研究院准教授
大学院文学研究院教授	橋 本 雄	大学院文学研究院准教授
大学院文学研究院教授	水 溜 真由美	大学院文学研究院准教授
国際連携研究教育局・大学院情報科学研究院教授	小 野 哲 雄	大学院情報科学研究院教授
大学院公共政策学連携研究部教授	今 井 晋	大学院経済学研究院教授
北海道大学病院教授	伊 藤 陽 一	情報・システム研究機構教授
遺伝子病制御研究所教授	野 間 健 一	（採用）
遺伝子病制御研究所教授	廣 瀬 哲 郎	大阪大学教授(大阪大学を本籍機関としてクロスアポイントメント適用)
人獣共通感染症リサーチセンター教授	伊 藤 公 人	国際連携研究教育局・人獣共通感染症リサーチセンター教授
人獣共通感染症リサーチセンター教授	澤 洋 文	国際連携研究教育局・人獣共通感染症リサーチセンター教授
人獣共通感染症リサーチセンター教授	鈴 木 定 彦	国際連携研究教育局・人獣共通感染症リサーチセンター教授
人獣共通感染症リサーチセンター教授	高 田 礼 人	国際連携研究教育局・人獣共通感染症リサーチセンター教授
人獣共通感染症リサーチセンター教授	東 秀 明	国際連携研究教育局・人獣共通感染症リサーチセンター教授
北方生物圏フィールド科学センター教授	長 里 千香子	北方生物圏フィールド科学センター准教授
北方生物圏フィールド科学センター教授	星 野 洋一郎	北方生物圏フィールド科学センター准教授
北方生物圏フィールド科学センター教授	山 田 敏 彦	国際連携研究教育局・北方生物圏フィールド科学センター教授
高等教育推進機構教授	池 田 文 人	高等教育推進機構准教授
（転出）		
東京大学教授	田 口 正 樹	大学院法学研究科教授
大阪大学教授	廣 瀬 哲 郎	遺伝子病制御研究所教授
東京大学教授	日 浦 勉	北方生物圏フィールド科学センター教授
【理事】		
（転出）		
秋田大学理事	西 田 眞 吾	財務部長
【副学長】		
（転出）		
奈良女子大学副学長・事務局長	河 本 雅 弘	学務部長
【部長】		
財務部長	大 淵 学	高エネルギー加速器研究機構財務部長
学務部長	吉 田 勇 人	九州大学病院事務部長
施設部長	新 保 昌 人	山形大学施設部長
理学・生命科学事務部長（兼）理学・生命科学事務部事務課長	金 川 眞 行	総務企画部情報企画課長
医学系事務部長	佐 藤 浩 司	教育学事務部事務長
（出向）		
旭川工業高等専門学校事務部長	高 野 雅 広	経済学事務部事務長
（転出）		
釧路工業高等専門学校事務部長	富 樫 剛	学務部学生支援課長
【課長・事務長・室長・室長代理】		
政策調整室室長代理	馬 場 勝 浩	財務部調達課課長補佐
総務企画部情報企画課長	根 本 恒 秀	総務企画部情報企画課課長補佐
財務部調達課長	菅 原 育 哉	政策調整室室長代理
学務部学務企画課長	西 田 政 利	学務部教育推進課長
学務部学生支援課長	宮 家 康 浩	北見工業大学学務課長

新 職 名（発令事項）	氏 名	旧 職 名（現職名）
研究推進部研究振興企画課長	中川原 秀 樹	人間文化研究機構企画課長
施設部施設整備課長	津 山 謙 一	室蘭工業大学施設課長
附属図書館利用支援課長	米 谷 昌 代	京都教育大学研究協力・附属学校支援課図書・情報グループリーダー
附属図書館管理課長	佐 藤 初 美	東北大学附属図書館情報管理課長
函館キャンパス事務部事務長	佐 藤 哲 生	財務部主計課課長補佐
薬学事務部事務長	八 卷 雅 彦	医学系事務部会計課長
農学・食資源学事務部事務長	入 澤 秀 次	財務部調達課長
教育学事務部事務長	山 本 透	学務部学務企画課課長補佐
工学系事務部教務課長	土 本 光 一	工学系事務部教務課課長補佐
経済学事務部事務長	對 馬 秀 俊	財務部資産運用管理課課長補佐
北海道大学病院総務課長	井 川 恭 輔	神戸大学医学部総務課長
（出向復帰）		
学務部教育推進課長	的 野 裕 司	室蘭工業大学学務課長
医学系事務部保健科学研究所事務課長	佐 藤 陽 一	小樽商科大学総務課長
医学系事務部会計課長	岩 松 正 一	室蘭工業大学経理課長
歯学事務部事務長	鴨志田 敏 則	北海道教育大学総務部人事課長
文学事務部事務長	池 田 徹	北海道教育大学学務部入試課長
北海道大学病院総務課人事労務管理室長	及 川 晃 男	室蘭工業大学総務広報課長
北海道大学病院医事課長	花 畠 純	旭川医科大学病院事務部経営企画課長
（出向）		
小樽商科大学会計課長	小守林 訓	財務部主計課課長補佐
北海道教育大学総務部人事課長	船 曳 康 徳	学務部学務企画課課長補佐
小樽商科大学学術情報課長	折 田 朋 子	農学・食資源学事務部事務長補佐
室蘭工業大学研究協力課長	蟹 口 宏 幸	北海道大学病院総務課課長補佐
旭川医科大学病院事務部経営企画課長	高 橋 貴代美	北海道大学病院医療支援課課長補佐
（転出）		
上越教育大学学術情報課長	岸 本 一 志	附属図書館利用支援課長
東京大学図書館情報管理課長	久保田 壮 活	附属図書館管理課長
室蘭工業大学学務課長	渡 邊 秀 雄	工学系事務部教務課係長

新任部局長等紹介

令和2年4月1日付

保健科学研究院長・大学院保健科学院長に



伊達 広行 教授

令和2年3月31日限りで齋藤 健保
保健科学研究院長・保健科学院長が任期
満了となり、その後任として伊達広行
教授が発令されました。
任期は、令和4年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和35年 7 月14日
昭和58年 3 月 北海道大学工学部卒業
昭和60年 3 月 北海道大学大学院工学研究科修士課程修了
平成 6 年 6 月 博士（工学）（北海道大学）
昭和62年 7 月 北海道大学医療技術短期大学部助手
平成11年 4 月 北海道大学医療技術短期大学部助教授
平成15年 4 月 北海道大学医療技術短期大学部教授
平成15年10月 北海道大学医学部教授
平成20年 4 月 北海道大学大学院保健科学研究院教授
平成24年 4 月 北海道大学大学院保健科学研究院長・大学院保健科学院長
平成28年 3 月 北海道大学教育研究評議会評議員

総合化学院長に



大 利 徹 教授

令和2年3月31日限りで武次徹也総
合化学院長が任期満了となり、その後
任として大 利 徹教授が発令されまし
た。
任期は、令和4年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和36年 1 月 4 日
昭和58年 3 月 名古屋大学農学部卒業
昭和60年 3 月 名古屋大学大学院農学研究科博士課程（前期）修了
平成 4 年12月 博士（農学）（東京大学）
昭和60年 4 月 民間（協和発酵工業株式会社）
平成 6 年 3 月 富山県立大学工学部助手
平成 6 年 4 月 富山県立大学工学部助教授
平成 7 年10月 富山県立大学工学部准教授
平成19年 4 月 富山県立大学工学部准教授
平成22年 4 月 北海道大学大学院工学研究院教授

文学研究院長・文学院院长・文学部長に



藤田 健 教授

令和2年3月31日限りで山本文彦文
学研究院長・文学院院长・文学部長が任
期満了となり、その後任として藤田
健教授が発令されました。
任期は、令和4年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和43年 1 月 6 日
平成 2 年 3 月 京都大学文学部卒業
平成 7 年 3 月 京都大学大学院文学研究科博士課程単位修得退学
平成10年 3 月 博士（文学）（京都大学）
平成 9 年 4 月 室蘭工業大学工学部講師
平成11年10月 北海道大学文学部助教授
平成12年 4 月 北海道大学大学院文学研究科助教授
平成19年 4 月 北海道大学大学院文学研究科准教授
平成27年 4 月 北海道大学大学院文学研究科教授
平成30年 4 月 北海道大学教育研究評議会評議員
令和 2 年 3 月 北海道大学大学院文学研究科副研究科長
平成31年 3 月 北海道大学大学院文学研究院教授
平成31年 4 月 北海道大学大学院文学研究院副研究科長
令和 2 年 3 月 北海道大学大学院文学研究院副研究科長

情報科学研究院長・情報科学院長に



長谷山 美紀 教授

令和2年3月31日限りで北 裕幸情
報科学研究院長・情報科学院長が任期
満了となり、その後任として長谷山美
紀教授が発令されました。
任期は、令和4年3月31日までです。

略 歴

昭和61年 3 月 北海道大学工学部卒業
昭和63年 3 月 北海道大学大学院工学研究科修士課程修了
平成元年 8 月 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程中退
平成元年 8 月 北海道大学応用電気研究所助手
平成 5 年 9 月 博士（工学）（北海道大学）
平成 6 年 1 月 北海道大学工学部助教授
平成 9 年 4 月 北海道大学大学院工学研究科助教授
平成18年 4 月 北海道大学大学院情報科学研究科教授
平成31年 4 月 北海道大学大学院情報科学研究院教授
平成25年 4 月 北海道大学役員補佐
平成26年 3 月 北海道大学総長補佐
令和 2 年 3 月 北海道大学総合IR室副室長
平成29年 4 月 北海道大学数理・データサイエンス教育研究センター長
平成29年 7 月 北海道大学大学院情報科学研究科副研究科長
平成30年 4 月 北海道大学大学院情報科学研究科副研究科長
平成31年 4 月 北海道大学大学院情報科学研究院副研究科長
令和 2 年 3 月 北海道大学大学院情報科学研究院副研究科長

遺伝子病制御研究所長に

たなか かずま
田中 一馬 教授



令和2年3月31日限りで村上正晃遺伝子病制御研究所長が任期満了となり、その後任として田中一馬教授が発令されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和33年4月21日
昭和56年3月 大阪大学工学部卒業
昭和58年3月 大阪大学大学院工学研究科修士課程修了
昭和58年3月 工学修士（大阪大学）
昭和58年4月 民間（サントリー株式会社研究センター生物医学研究所）
昭和61年5月 民間（サントリー株式会社研究センター生物医学研究所）
昭和61年6月 広島大学工学部助手
平成元年3月 工学博士（広島大学）
平成3年4月 東京大学理学部助手
平成4年8月 神戸大学医学部助手
平成6年2月 大阪大学医学部助手
平成6年11月 大阪大学医学部講師
平成8年12月 大阪大学医学部助教授
平成10年10月 北海道大学医学部附属癌研究施設教授
平成12年4月 北海道大学遺伝子病制御研究所教授
平成18年4月 北海道大学遺伝子病制御研究所副所長
平成22年3月 北海道大学遺伝子病制御研究所副所長
平成22年4月 北海道大学遺伝子病制御研究所長
平成24年3月 北海道大学遺伝子病制御研究所長
平成22年4月 北海道大学教育研究評議会評議員
平成24年3月 北海道大学教育研究評議会評議員

スラブ・ユーラシア研究センター長に

いわした あきひろ
岩下 明裕 教授



令和2年3月31日限りで仙石 学スラブ・ユーラシア研究センター長が辞任したため、その後任として岩下明裕教授が発令されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和37年9月3日
昭和62年3月 九州大学法学部卒業
平成元年3月 北九州大学大学院法学研究科修士課程修了
平成4年3月 九州大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得退学
平成4年4月 九州大学法学部助手
平成6年4月 山口女子大学国際文化学部助教授
平成7年7月 博士（法学）（九州大学）
平成13年10月 北海道大学スラブ研究センター助教授
平成15年10月 北海道大学スラブ研究センター教授
平成20年8月 北海道大学スラブ研究センター長
平成22年7月 北海道大学スラブ研究センター長

量子集積エレクトロニクスセンター長に

もとひさ じゅんいち
本久 順一 教授



令和2年3月31日限りで橋詰 保量子集積エレクトロニクス研究センター長が任期満了となり、その後任として本久順一教授が発令されました。

任期は、令和4年4月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和38年11月14日
昭和61年3月 東京大学工学部卒業
昭和63年3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了
平成3年3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程単位修得退学
平成3年4月 新技術事業団研究員
平成5年3月 新技術事業団研究員
平成5年2月 博士（工学）東京大学
平成5年4月 北海道大学量子界面エレクトロニクス研究センター講師
平成6年4月 北海道大学量子界面エレクトロニクス研究センター助教授
平成13年4月 北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター助教授
平成19年4月 北海道大学大学院情報科学研究科教授
平成31年4月 北海道大学大学院情報科学研究科教授

アイヌ・先住民研究センター長に

かとう ひろふみ
加藤 博文 教授



令和2年3月31日限りで常本照樹アイヌ・先住民研究センター長が任期満了となり、その後任として加藤博文教授が発令されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

略 歴

生 年 月 日 昭和41年7月28日
平成元年3月 札幌大学外国語学部卒業
平成9年3月 筑波大学大学院歴史・人類学研究科博士課程単位修得退学
平成9年4月 筑波大学大学院修士課程地域研究研究科文部技官
平成12年4月 島根県立大学北東アジア地域研究センター研究助手
平成13年4月 北海道大学大学院文学研究科助教授
平成19年4月 北海道大学大学院文学研究科准教授
平成22年10月 北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授
令和元年5月 北海道大学国際連携機構ロシアモスクワオフィス所長
令和4年3月 北海道大学国際連携機構ロシアモスクワオフィス所長

部局長等（再任）紹介

令和2年4月1日付

水産科学研究院長・水産科学院長・水産学部長に

^{きむら のぶお}
木村 暢夫 教授

木村暢夫教授は、平成30年4月1日から水産科学研究院長・水産科学院長・水産学部長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

経済学研究院長・経済学院長・経済学部長に

^{ひらもと けんた}
平本 健太 教授

平本健太教授は、平成30年4月1日から経済学研究院長・経済学院長・経済学部長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

医理工学院長に

^{しらと ひろき}
白土 博樹 教授

白土博樹教授は、平成30年4月1日から医理工学院長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和3年3月31日までです。

触媒科学研究所長に

^{はせ がわ じゅんや}
長谷川 淳也 教授

長谷川淳也教授は、平成30年4月1日から触媒科学研究所長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

北方生物圏フィールド科学センター長に

^{さとう ふゆき}
佐藤 冬樹 教授

佐藤冬樹教授は、平成30年4月1日から北方生物圏フィールド科学センター長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

教育学研究院長・教育学院長・教育学部長に

^{みやざき たかし}
宮崎 隆志 教授

宮崎隆志教授は、平成30年4月1日から教育学院長・教育学研究院長・教育学部長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

歯学研究院長・歯学院長・歯学部長に

^{や わか やすたか}
八若 保孝 教授

八若保孝教授は、平成30年4月1日から歯学研究院長・歯学院長・歯学部長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

低温科学研究所長に

^{ふくい まなぶ}
福井 学 教授

福井 学教授は、平成30年4月1日から低温科学研究所長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

人獣共通感染症リサーチセンター長に

^{すずき やすひこ}
鈴木 定彦 教授

鈴木定彦教授は、平成30年4月1日から人獣共通感染症リサーチセンター長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

環境健康科学研究教育センター長に

^{おがさわら かつひこ}
小笠原 克彦 教授

小笠原克彦教授は、平成30年4月1日から環境健康科学研究教育センター長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

脳科学研究教育センター長に

わたなべ まさひこ
渡辺 雅彦 教授

渡辺雅彦教授は、平成30年4月1日から脳科学研究教育センター長を務め、令和2年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、令和4年3月31日までです。

新任教授紹介

令和2年4月1日付

法学研究科教授に

さとう ようこ
佐藤 陽子 氏

法律実務専攻公法講座

生年月日

昭和54年4月17日

最終学歴

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程終了（平成19年3月）
博士（法学）（北海道大学）

専門分野

刑法

法学研究科教授に

にしむら ゆういち
西村 裕一 氏

法律実務専攻公法講座

生年月日

昭和56年7月12日

最終学歴

東京大学法学部卒業（平成16年3月）

専門分野

憲法学



法学研究科教授に

やまき ど ゆういちろう
山木戸 勇一郎 氏

法律実務専攻民法講座

最終学歴

慶應義塾大学大学院法務研究科（法科大学院）修了（平成20年3月）
法務博士（専門職）（慶應義塾大学）

専門分野

民事訴訟法



地球環境科学研究院教授に

おのだ あきら
小野田 晃 氏

大学院地球環境科学研究院
物質機能科学部門 生体物質科学分野

生年月日

昭和50年1月27日

最終学歴

大阪大学大学院理学研究科博士課程修了（平成14年3月）
博士（理学）（大阪大学）

専門分野

有機化学，タンパク質工学，生体材料化学，錯体化学，
生物無機化学



理学研究院教授に

きむら まさあき
木村 真明 氏

物理学部門非線形物理学分野

生年月日

昭和48年8月22日

最終学歴

京都大学大学院理学研究科博士課程修了（平成14年3月）
博士（理学）（京都大学）

専門分野

原子核物理学



農学研究院教授に

かなざわ あきら
金澤 章 氏

基盤研究部門生物資源科学分野

最終学歴

東京大学大学院農学系研究科博士後期課程修了
博士（農学）（東京大学）

専門分野

植物遺伝資源学，植物分子遺伝学



観光学高等研究センター教授に

きむら ひろし
木村 宏 氏

観光システム研究部

生年月日

昭和36年 9 月15日

最終学歴

日本大学文理学部独文学科卒業（昭和59年 3 月）

専門分野

観光地域マネジメント論、「歩く」観光研究



メディア・コミュニケーション研究院教授に

さ さ だ ひろのり
佐々田 博教 氏

現代日本学部門現代日本学分野

生年月日

昭和49年 5 月27日

最終学歴

ワシントン大学大学院政治学研究科博士課程修了（平成20年12月）

Ph.D（ワシントン大学）

専門分野

日本政治、政治経済



メディア・コミュニケーション研究院教授に

つじもと あつし
辻本 篤 氏

メディア・コミュニケーション部門
国際広報論分野

生年月日

昭和47年 3 月14日

最終学歴

東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻社会情報学専門分野博士課程

単位取得退学（平成18年 9 月）

専門分野

経営学（組織学習論）



メディア・コミュニケーション研究院教授に

なかがわ さとる
中川 理 氏

メディア・コミュニケーション部門
国際広報論分野

最終学歴

マサチューセッツ工科大学 Sloan School of Management修了（平成 9 年 6 月）

M.S.（マサチューセッツ工科大学）

専門分野

マーケティング戦略、事業戦略、経営戦略、グローバル戦略、ガバナンス等



メディア・コミュニケーション研究院教授に

はまい ゆみこ
濱井 祐三子 氏

メディア・コミュニケーション
部門メディア文化論分野

生年月日

昭和45年 2 月11日

最終学歴

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程退学（平成11年 3 月）

専門分野

イギリス現代史・地域研究



工学研究院教授に

はやし もとや
林 基哉 氏

建築都市部門空間デザイン分野

生年月日

昭和35年 1 月20日

最終学歴

北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了（昭和63年 3 月）

工学博士（北海道大学）

専門分野

建築工学



経済学研究院教授に

くぼ じゅん じ 氏

会計情報部門会計情報分野

生年月日

昭和47年11月4日

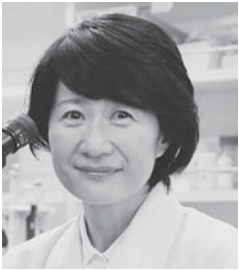
最終学歴

北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程修了（平成12年3月）

博士（経営学）（北海道大学）

専門分野

財務会計論



医学研究院教授に

ふじやま ふみの 氏

解剖学分野 組織細胞学教室

最終学歴

佐賀医科大学大学院医学研究科博士課程単位取得退学（平成4年3月）

博士（医学）（佐賀医科大学）

専門分野

神経解剖学，組織学，神経内科学



医学研究院教授に

わか さ ざとる 氏

外科学分野
循環器・呼吸器外科学教室

生年月日

昭和49年7月24日

最終学歴

北海道大学大学院医学研究科高次診断治療学専攻博士課程修了（平成19年3月）

博士（医学）（北海道大学）

専門分野

循環器外科学



文学研究院教授に

かわはら じゅんいちろう 氏

人間科学部門心理学分野

最終学歴

広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了（平成9年3月）

博士（心理学）（広島大学）

専門分野

認知行動科学（注意，記憶，魅力，ストレス，広告，産業応用）



文学研究院教授に

はしもと ゆう 氏

人文学部門歴史学分野

生年月日

昭和47年1月

最終学歴

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位修得退学（平成12年3月）

博士（文学）（東京大学）

専門分野

日本中世史，東アジア海域史

文学研究院教授に

みずたまり まゆみ 氏

人文学部門表現文化論分野

最終学歴

東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位修得退学（平成14年3月）

博士（学術）（東京大学）

専門分野

日本近現代思想史，ジェンダー研究



北海道大学病院教授に

いとう よういち
伊藤 陽一 氏

臨床研究開発センター

生年月日

昭和50年10月29日

最終学歴

東京大学大学院医学系研究科修士課程修了（平成12年 3月）

博士（保健学）（東京大学）

専門分野

医学統計学



遺伝子病制御研究所教授に

の ま けんいち
野間 健一 氏

病態研究部門

ゲノム医生物学分野

生年月日

昭和47年12月22日

最終学歴

東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了（平成12年 3月）

博士（農学）（東京大学）

専門分野

ゲノム科学，細胞老化，染色体動態，転写制御，クロマチン，エピジェネティクス



北方生物圏フィールド科学センター教授に

ながさと ち か こ
長里 千香子 氏

生物多様性領域海産藻類適応
機能分野

最終学歴

北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了（平成13年 3月）

博士（理学）（北海道大学）

専門分野

藻類学，細胞生物学



北方生物圏フィールド科学センター教授に

ほしの よういちろう
星野 洋一郎 氏

生物資源創成領域生物資源応
用分野

最終学歴

千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了（平成10年 3月）

博士（学術）（千葉大学）

専門分野

園芸学



高等教育推進機構教授に

いけだ ふみひと
池田 文人 氏

高等教育研究部

生年月日

昭和46年 1月19日

最終学歴

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程終了（平成12年 9月）

博士（工学）（奈良先端科学技術大学院大学）

専門分野

知識科学・機械学習（質問の評価アルゴリズム）

新任部課長等紹介

令和2年4月1日付



財務部長に

おお ぶち まなぶ
大淵 学 氏

昭和41年12月生
昭和60年4月 東京工業大学
平成3年4月 国立教育会館
平成5年4月 文部省大臣官房会計課経理班
平成6年7月 文部省大臣官房会計課予算班
平成13年1月 文部省大臣官房会計課第二予算班第二係長
平成15年4月 文部科学省大臣官房会計課国立学校特別会計第二予算班病院第一係長
平成16年4月 文部科学省大臣官房会計課第一予算班第一係長
平成17年4月 新潟大学財務部財務企画課長
平成18年10月 京都大学財務部財務企画課長
平成21年4月 文部科学省大臣官房会計課専門官
平成24年4月 文部科学省大臣官房会計課第三予算班主査
平成25年4月 文部科学省大臣官房会計課第一予算班主査
平成27年4月 広島大学副理事（財務・総務企画担当）
平成29年4月 高エネルギー加速器研究機構財務部長
令和2年4月 北海道大学財務部長



学務部長に

よし た はやと
吉田 勇人 氏

昭和41年12月9日生
平成元年3月 北海学園大学法学部卒業
平成元年4月 北海道大学人事課
平成3年10月 文部省高等教育局企画課
平成7年7月 “ 大学課
平成10年10月 “ 企画課研修交流係長
平成12年4月 文部科学省高等教育局高等教育企画課企画係長（兼）放送大学係長
平成13年4月 “ 専門教育課教育大学室教員養成係長（兼）調査係長
平成15年4月 放送大学学園総務部総務課課長補佐
平成18年4月 大学評価・学位授与機構評価事業部企画調整課長
平成19年4月 “ 法科大学院評価課長
平成20年4月 東京国立博物館総務課長
平成22年4月 北海道大学総務企画部総務課長
平成24年4月 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室室長補佐
平成26年4月 “ 国立大学法人支援課課長補佐
平成27年4月 名古屋大学医学部・医学系研究科事務部長
平成29年4月 大学改革支援・学位授与機構調査役
平成30年4月 九州大学病院事務部長
令和2年4月 北海道大学学務部長



施設部長に

しん ぼ まさと
新保 昌人 氏

昭和58年4月 信州大学
平成元年4月 文部省大臣官房文教施設部
平成11年4月 放送大学学園総務部会計課
平成14年4月 文部科学省大臣官房文教施設部
平成19年1月 国立天文台事務部施設課長
平成20年10月 横浜国立大学施設部施設企画課長
平成23年4月 国立教育政策研究所文教施設研究センター統括研究員
平成25年8月 文部科学省文教施設企画部参事官付参事官補佐
平成27年11月 日本スポーツ振興センター新国立競技場設置本部施設部設備課長
平成30年4月 山形大学施設部長
令和2年4月 北海道大学施設部長



理学・生命科学事務部長に

かながわ まさゆき
金川 眞行 氏

昭和38年1月9日生
昭和61年3月 北海学園大学法学部卒業
昭和56年4月 北海道大学
平成11年4月 北海道大学経済学部庶務掛主任
平成13年4月 国立大雪青年の家庶務課庶務係長
平成16年4月 北海道大学薬学研究科・薬学部庶務掛長
平成19年4月 北海道大学北キャンパス合同事務部係長
平成22年4月 北海道大学北キャンパス合同事務部事務長補佐
平成24年4月 北海道大学総務企画部広報課課長補佐
平成26年4月 北海道大学総務企画部総務課課長補佐
平成29年4月 北海道大学総務企画部広報課長
平成30年4月 北海道大学総務企画部情報企画課長
令和2年4月 北海道大学理学・生命科学事務部長



医学系事務部長に

さとう こうじ
佐藤 浩司 氏

昭和36年 6 月生

昭和55年 4 月 北海道大学
平成12年 4 月 室蘭工業大学総務課人事係長
平成15年 4 月 北海道大学理学研究科・理学部専門職員
平成18年 4 月 北海道大学総務部人事課給与第一係長
平成19年 4 月 北海道大学総務部人事課係長
平成21年 4 月 北海道大学工学系事務部総務課課長補佐
平成23年 4 月 北海道大学国際本部国際連携課課長補佐
平成26年 4 月 北海道大学総務企画部総務課課長補佐
平成27年 4 月 北海道大学医学系事務部総務課長
平成30年 4 月 北海道大学教育学事務部事務長
令和 2 年 4 月 北海道大学医学系事務長



政策調整室室長代理に

うへまつ まきひろ
馬場 勝浩 氏

昭和43年11月27日生

昭和62年 4 月 北海道大学
平成17年 4 月 旭川工業高等専門学校会計課出納係長
平成19年 4 月 旭川工業高等専門学校総務課財務係長
平成20年 4 月 北海道大学財務部主計課係長
平成23年 7 月 北海道大学理学・生命科学事務部事務課係長
平成25年 7 月 北海道大学財務部主計課専門員
平成26年 7 月 北海道大学財務部資産運用管理課課長補佐
平成29年 7 月 北海道大学財務部調達課課長補佐
令和 2 年 4 月 北海道大学政策調整室室長代理



総務企画部情報企画課長に

ねもと つねひで
根本 恒秀 氏

昭和36年 4 月生

昭和59年 4 月 北海道大学
平成13年 4 月 苫小牧工業高等専門学校庶務課専門職員
平成16年 4 月 小樽商科大学総務課人事係長
平成18年 4 月 北海道大学企画部情報システム課情報管理係長
平成19年 4 月 北海道大学企画部情報企画課係長（情報企画担当）
平成22年 4 月 北海道大学企画部情報企画課課長補佐
平成23年 4 月 北海道大学情報環境推進本部情報推進課課長補佐
平成28年 4 月 北海道大学総務企画部情報企画課課長補佐
令和 2 年 4 月 北海道大学総務企画部情報企画課長



財務部調達課長に

すがわら いくや
菅原 育哉 氏

昭和41年 7 月19日生

平成 9 年 4 月 北海道大学
平成15年 4 月 大学評価・学位授与機構評価事業部評価第 3 課研究評価第 2 係長
平成16年 4 月 大学評価・学位授与機構評価事業部評価第 3 課法人評価第 2 係長
平成17年 4 月 北海道大学財務部主計課第二予算係長
平成18年 4 月 北海道大学財務部主計課予算第三係長
平成18年 9 月 北海道大学総務部総務課秘書室係長
平成19年 4 月 北海道大学総務企画部秘書室係長（秘書担当）
平成21年 4 月 北海道大学企画部企画調整課係長（組織整備担当）
平成23年 4 月 北海道大学総務企画部企画課係長（組織整備担当）
平成24年 4 月 北海道大学研究推進部産学連携課課長補佐
平成28年 4 月 北海道大学財務部経理課課長補佐（資産活用・増収検討PT）
平成29年 4 月 北海道大学総務企画部総務課課長補佐
平成30年 4 月 北海道大学政策調整室室長代理
令和 2 年 4 月 北海道大学財務部調達課長



学務部学生支援課長に

みやけ やすひろ
宮家 康浩 氏

昭和37年 8月 7日生

昭和56年 3月 北海道北広島高等学校卒業
昭和56年 4月 北海道教育大学
平成14年 4月 北海道教育大学教育学部函館校教務係長
平成16年 4月 北海道教育大学教育学部函館校専門職
平成17年 4月 北海道教育大学教育学部旭川校専門職
平成19年 4月 北海道教育大学学務部キャリアセンター室専門職
平成21年 4月 北海道教育大学学務部教務課主査
平成23年 4月 北海道教育大学学務部教務課総括主査
平成24年 4月 北海道教育大学学務部教務課副課長
平成25年 4月 苫小牧工業高等専門学校学生課長
平成27年 4月 室蘭工業大学入試グループマネージャー
平成28年 7月 室蘭工業大学入試戦略課長
平成30年 4月 北見工業大学学務課長
令和 2年 4月 北海道大学学務部学生支援課長



研究推進部研究振興企画課長に

なかがわら ひでき
中川原 秀樹 氏

昭和47年 3月 5日生

平成 8年 3月 明治大学政治経済学部卒業
平成 8年 4月 民間
平成13年 1月 山梨大学会計課
平成14年 4月 文部科学省高等教育局学生課併任
平成15年 4月 日本学術振興会
平成17年10月 日本学士院
平成21年 4月 文部科学省研究振興局学術研究助成課併任
平成22年10月 文部科学省研究振興局学術研究助成課主任
平成23年 2月 文部科学省研究振興局振興企画課主任
平成23年10月 文部科学省研究振興局振興企画課専門職
平成25年 4月 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課係長
平成27年 4月 独立行政法人日本学術振興会研究事業部研究助成第一課課長代理
平成28年 4月 独立行政法人日本学術振興会研究事業部研究助成企画課課長代理
平成29年 4月 人間文化研究機構本部事務局企画課長
令和 2年 4月 北海道大学研究推進部研究振興企画課長



施設部施設整備課長に

つやま けんいち
津山 謙一 氏

昭和38年 4月27日生

平成 3年 4月 横浜国立大学
平成11年 1月 横浜国立大学施設部施設課管理係長
平成13年 4月 横浜国立大学施設部施設課建築第二係長
平成16年 4月 横浜国立大学施設部施設企画課施設保全係長
平成17年 4月 横浜国立大学施設部施設整備課施設設計画係長
平成18年 4月 横浜国立大学施設部施設整備課建築整備係長
平成19年 4月 苫小牧工業高等専門学校総務課契約・施設係長
平成21年 4月 苫小牧工業高等専門学校総務課施設管理係長
平成22年 4月 室蘭工業大学施設課課長補佐
平成24年 4月 北海道大学施設部施設企画課課長補佐
平成26年 4月 筑波大学施設部施設整備課長
平成28年 4月 室蘭工業大学施設グループマネージャー（課長）
平成28年 7月 室蘭工業大学施設課長
令和 2年 4月 北海道大学施設部施設整備課長



附属図書館利用支援課長に

こめたに まさよ
米谷 昌代 氏

昭和63年 3月 図書館情報大学卒業
平成 4年 4月 京都工芸繊維大学
平成15年 4月 京都教育大学
平成17年 4月 京都教育大学附属図書館情報サービス係長
平成18年 8月 京都教育大学附属図書館図書館グループ主査
平成24年 4月 京都教育大学附属図書館図書館グループリーダー
平成25年 8月 京都教育大学研究協力・附属学校支援課図書・情報グループリーダー
令和 2年 4月 北海道大学附属図書館利用支援課長



附属図書館管理課長に

さとう はつみ
佐藤 初美 氏

昭和41年 5月30日生

図書館情報大学卒業

平成3年 4月 学術情報センター
平成11年 4月 東北大学
平成16年 4月 東北大学附属図書館情報サービス課閲覧第二係長
平成17年 4月 東北大学附属図書館総務課情報企画係長
平成20年 4月 東北大学附属図書館情報サービス課閲覧第一係長
平成22年 4月 東北大学附属図書館情報管理課専門員
平成24年 4月 東北大学附属図書館情報サービス課専門員
平成24年10月 宮城教育大学学術情報課長
平成27年 4月 筑波大学附属図書館情報サービス課長
平成28年 4月 筑波大学学術情報部アカデミックサポート課長
平成29年 4月 東北大学附属図書館情報管理課長
令和2年 4月 北海道大学附属図書館管理課長



函館キャンパス事務部事務長に

さとう てつお
佐藤 哲生 氏

昭和43年 6月22日生

昭和62年 3月 北海道函館北高等学校卒業

昭和62年 4月 北海道大学工学部経理課
平成元年 5月 北海道大学獣医学部
平成3年 7月 北海道大学水産学部
平成6年 4月 北海道大学経理部経理課
平成10年 4月 北海道大学経理部主計課
平成12年 4月 北海道大学施設部企画課
平成14年 4月 北海道大学施設部企画課工事司計掛主任
平成15年 4月 北海道大学経理部経理課管理掛主任
平成16年 4月 北海道大学財務部経理課経理掛主任
平成16年 7月 帯広畜産大学企画総務部財務課財務企画係長
平成17年 4月 帯広畜産大学企画総務部財務課予算担当専門職員（財政グループ担当）
平成19年 4月 北海道大学財務部主計課係長
平成23年 4月 北海道大学財務部資産運用管理課係長
平成25年 7月 北海道大学財務部主計課係長
平成26年 7月 北海道大学施設部施設企画課課長補佐
平成28年10月 北海道大学ダイバーシティ推進室室員
平成29年 4月 北海道大学財務部主計課課長補佐
令和2年 4月 北海道大学函館キャンパス事務部事務長



教育学事務部事務長に

やまもと とおる
山本 透 氏

宇都宮大学工学部卒業
平成5年10月 北海道大学医学部附属病院
平成9年 4月 北海道大学法学部
平成12年 4月 北海道大学法学研究科・法学部
平成13年 4月 北海道大学医療技術短期大学部
平成14年 4月 北海道大学医療技術短期大学部学務掛主任
平成15年10月 北海道大学医学研究科・医学部教務掛主任
平成18年 4月 北海道大学医学事務部事務課教務第一係主任
平成19年 4月 北海道大学医学系事務部総務課主任
平成20年 4月 北海道大学医学系事務部総務課係長
平成22年 4月 北海道大学学務部教務課係長
平成24年 4月 北海道大学学務部教務課全学教育・総合教育推進室係長
平成25年 4月 北海道大学学務部教務課専門員
平成26年 4月 北海道大学医学系事務部総務課課長補佐
平成29年 4月 北海道大学学務部学務企画課課長補佐
令和2年 4月 北海道大学教育学事務部事務長



工学系事務部教務課長に

つちもと こういち
土本 光一 氏

昭和44年 5月26日生

平成5年 3月 北海道大学文学部行動科学科卒業

平成7年 3月 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了
平成8年 4月 北海道大学
平成11年 4月 文部省初等中等教育局
平成12年 4月 北海道大学
平成18年 4月 北海道大学函館キャンパス事務部教務係長
平成19年 4月 北海道大学函館キャンパス事務部係長
平成22年 4月 北海道大学獣医学研究科・獣医学部係長
平成25年 4月 北海道大学学務部教務課全学教育・総合教育推進室係長
平成26年 4月 北海道大学学務部教育推進課係長
平成28年 4月 北海道大学理学・生命科学事務部事務課課長補佐
平成31年 4月 北海道大学工学系事務部教務課課長補佐
令和2年 4月 北海道大学工学系事務部教務課長



経済学事務部事務長に

つしま ひでとし
對馬 秀俊 氏

昭和43年 5月生
昭和62年 4月 北海道大学医学部附属病院
平成10年10月 北海道大学理学部附属海藻研究施設
平成13年 4月 室蘭工業大学会計課
平成16年 7月 北海道大学財務部調達課政府調達係主任
平成17年 4月 小樽商科大学財務課管理係長
平成19年 4月 北海道大学財務部調達課役務契約担当係長
平成22年 4月 北海道大学病院経営企画課係長
平成24年 7月 北海道大学財務部経理課経理担当係長
平成25年 7月 北海道大学財務部調達課管理担当係長
平成27年 7月 北海道教育大学事務局財務部財務課副課長
平成29年 7月 北海道大学財務部資産運用管理課課長補佐
令和 2年 4月 北海道大学経済学事務部事務長



北海道大学病院総務課長に

いがわ きょうすけ
井川 恭輔 氏

昭和55年 3月生
平成14年 3月 早稲田大学社会科学部卒業
平成15年10月 文化庁文化財部伝統文化課
平成17年 4月 文化庁長官官房政策課
平成19年10月 初中局教科書課
平成21年 4月 官房総務課総務班
平成23年 4月 官房総務課専門職
平成23年 7月 文化庁文化財部伝統文化課専門職
平成24年 4月 文化庁文化財部伝統文化課事業支援係長
平成25年 1月 高等局医学教育課専門職
平成26年 4月 高等局医学教育課大学病院支援室病院第一係長
平成27年 4月 高等局医学教育課専門職
平成27年10月 官房総務課国会連絡調整室調査第一係長
平成29年 4月 初中局児童生徒課指導調査係長
平成30年 4月 神戸大学医学部総務課長
令和 2年 4月 北海道大学病院総務課長



学務部教育推進課長に

まとの ゆうじ
的野 裕司 氏

昭和39年11月23日生
昭和58年 4月 北海道釧路湖陵高等学校卒業
昭和58年 6月 帯広畜産大学会計課
昭和61年 4月 “ 厚生課
昭和63年 4月 東京大学庶務部人事課
昭和63年10月 文部省大臣官房総務課文書管理班
平成元年 8月 “ 審議班
平成 3年 4月 “ 法令審議室
平成 4年 4月 “ 初等中等教育局高等学校課
平成 5年 4月 “ 職業教育課
平成 8年11月 放送大学学園教務部修学指導課学習指導係長
平成10年 4月 文部省初等中等教育局教科書課
平成11年 4月 “ 調査係長
平成12年 4月 北海道大学学務部教務課共通教育掛主任
平成14年 4月 “ 法学研究科・法学部教務掛主任
平成15年 4月 釧路工業高等専門学校学生課教務係長
平成18年 4月 北海道大学文学研究科・文学部教務係長
平成21年 4月 “ 学務部教務課係長（教務企画担当）
平成24年 4月 “ 課長補佐
平成26年 4月 “ 学務企画課課長補佐
平成27年 4月 “ 入試課長
平成30年 4月 室蘭工業大学学務課長
令和 2年 4月 北海道大学学務部教育推進課長



医学系事務部保健科学研究院事務課長に

さとう よういち
佐藤 陽一 氏

昭和36年 5月15日生
昭和59年 3月 北海学園大学法学部卒業
昭和60年 4月 北海道大学
平成12年 9月 小樽商科大学庶務課人事係長
平成13年 4月 同 総務課人事係長
平成16年 4月 北海道大学病院総務課労務管理掛長
平成20年 4月 同 医学系事務部総務課係長
平成22年 4月 放送大学学園北海道学習センター事務長
平成25年 4月 北海道大学病院総務課課長補佐
平成28年 4月 小樽商科大学総務課長
令和 2年 4月 北海道大学医学系事務部保健科学研究院事務課長



医学系事務部会計課長に

い わ ま つ し ょ う い ち
岩松 正一 氏

昭和36年 4月28日生
昭和55年 4月 北海道大学
平成13年 4月 旭川医科大学会計課給与経理係長
平成14年 4月 旭川医科大学会計課照査係長
平成15年 4月 旭川医科大学会計課専門職員
平成16年 4月 北海道大学監査室専門職員
平成17年 4月 北海道大学監査室監査係長
平成19年 4月 北海道大学総務部人事課係長
平成21年 4月 北海道大学病院管理課係長
平成23年 4月 北海道大学施設部施設企画課課長補佐
平成26年 7月 北海道大学工学系事務部経理課課長補佐
平成29年 7月 北海道大学学務部学務企画課課長補佐
平成30年 4月 室蘭工業大学経理課長
令和 2年 4月 北海道大学医学系事務部会計課長



歯学事務部事務長に

か も し だ と し の り
鴨志田 敏則 氏

昭和39年 2月18日生
昭和57年 4月 北海道大学教育学部
平成14年 4月 旭川医科大学総務部庶務課人事第二係長
平成15年 4月 旭川医科大学総務部庶務課人事第一係長
平成17年 4月 北海道大学医学研究科・医学部人事係長
平成20年 4月 北海道大学総務部職員課係長
平成23年 4月 北海道大学総務企画部人事課労務管理室係長
平成24年 4月 北海道大学医学系事務部総務課課長補佐
平成26年 4月 北海道大学国際本部国際連携課課長補佐
平成28年10月 北海道大学国際部国際連携課課長補佐
平成29年 4月 帯広畜産大学総務課長
平成29年10月 北海道教育大学総務部人事課長
令和 2年 4月 北海道大学歯学事務部事務長



文学部事務長に

い け と お る
池田 徹 氏

昭和37年 1月生
昭和59年10月 東京学芸大学
昭和61年10月 放送教育開発センター
平成元年 4月 東京学芸大学
平成 2年10月 北海道大学
平成13年 4月 帯広畜産大学会計課司計係長
平成16年 4月 帯広畜産大学企画総務部財務課財務企画係長
平成16年 7月 北海道大学企画部企画調整課組織整備係長
平成19年 7月 北海道大学企画部企画調整課係長
平成21年 4月 北海道大学企画部企画調整課課長補佐
平成23年 4月 北海道大学北キャンパス合同事務部事務長補佐
平成24年 4月 北海道大学工学系事務部総務課課長補佐
平成26年 4月 北海道大学学務部教育推進課課長補佐
平成28年 4月 北海道大学学務部学務企画課課長補佐
平成29年 4月 北海道教育大学学務部入試課長
令和 2年 4月 北海道大学文学部事務部事務長



北海道大学病院総務課人事労務管理室長に

お い か わ あ き お
及川 晃男 氏

昭和41年 6月生
平成元年 3月 札幌大学経済学部卒業
平成元年 4月 北海道大学
平成 3年 4月 文部省官房総務課
平成 6年 4月 文部省官房人事課
平成 8年 4月 北海道大学
平成16年 4月 北海道大学総務部総務課専門職員
平成17年 4月 北海道大学総務部人事課企画調査係長
平成18年 4月 北海道大学総務部人事課給与第二係長
平成19年 4月 北海道大学総務部人事課係長
平成23年 4月 北海道大学総務企画部人事課係長
平成24年 4月 室蘭工業大学総務グループコーディネーター
平成26年 4月 北海道大学総務企画部企画課課長補佐
平成27年 4月 北海道大学総務企画部人事課課長補佐
平成30年 4月 室蘭工業大学総務広報課長
令和 2年 4月 北海道大学病院総務課人事労務管理室長



北海道大学病院医事課長に

はなばたけ じゅん
花 畠 純 氏

- 昭和40年 1 月生
- 昭和58年 4 月 北海道教育大学
- 平成12年 4 月 北海道大学
- 平成15年 4 月 旭川医科大学総務部会計課用度第一係長
- 平成16年 4 月 旭川医科大学総務部会計課調達係長
- 平成17年10月 旭川医科大学総務部会計課会計総務係長
- 平成20年 4 月 旭川医科大学監査室監査係長
- 平成21年 4 月 北海道大学監査室係長
- 平成23年 4 月 北海道大学工学系事務部経理課係長
- 平成25年 4 月 北海道大学函館キャンパス事務部事務長補佐
- 平成28年 4 月 北海道大学病院経営企画課課長補佐
- 平成30年 4 月 旭川医科大学病院事務部経営企画課長
- 令和 2 年 4 月 北海道大学病院医事課長

訃報

名誉教授 ^{ひがし}東 ^{さぶろう}三郎 氏
(享年93歳)



名誉教授 東 三郎先生が、令和元年12月13日にご逝去されました。先生は、昭和28年3月に北海道大学農学部林学科を卒業後、同年4月鹿児島県林務部に勤務、昭和29年5月に北海道大学農学部助手に任命され、昭和38年4月に助教授、昭和46年4月教授に昇任し、砂防工学講座担当となり、平成元年3月に停年により退職されました。

先生は、国土の保全と荒廃地での森づくりに関する教育・研究に専念さ

れ、多くの研究者・技術者の育成につとめられるとともに、我が国の砂防工学、森林科学の発展に貢献されました。先生の研究は、海岸・山腹緑化、環境林・水源林造成、地すべり・火山泥流対策など、土砂災害の減災や森林の保全・再生技術の発展に係る多くの先駆的業績をあげられ、地表変動現象を扱う野外科学研究に新境地を開拓したものです。

先生は、学内にあつては、農学部附属演習林長として大学の管理・運営に寄与されるとともに、学会活動にあたっては、日本林学会北海道支部長、地すべり学会北海道支部長、日本林学会理事、砂防学会会長を務められるなど、斯界の発展に尽力されました。また、学外にあつては、文部省視学委員、北海道特定開発行為審査会委員、北海道森林審議会委員、北海道環境影響評価審議会委員、北海道総合開発委

員会臨時委員、北海道開発審議会特別委員、北海道防災会議専門委員、札幌市土地利用審査会委員を務められるとともに、さらに、国土保全関連の各種委員会をリードされ、土砂災害の減災、森林・河川の保全と再生に係る多くの提言を行うなど、学問研究実績の社会実装に熱意をもって応じてこられました。また退職後にあつても、森林空間研究所を主宰され、国土保全の思想啓蒙者として高く評価され、平成4年4月には紫綬褒章を授与されました。

先生の長年にわたるご功績に敬意を表し、多大な貢献に感謝申し上げ、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(農学院・農学研究院・農学部)

名誉教授 ^{さかむら}坂村 ^{さだお}貞雄 氏
(享年94歳)



名誉教授 坂村貞雄先生(元農学研究科長・農学部長)が、令和2年3月6日午前0時24分にご逝去されました。先生は、大正14年10月1日群馬県に生まれ、昭和23年3月に北海道大学農学部農芸化学科を卒業、同年10月より北海道大学農学部副手としての勤務を経て、昭和24年6月北海道大学農学部助手に採用されました。昭和35年4月に助教授、昭和43年4月に教授に昇任され、農産物利用学講座を担任されました。この間、昭和34年から35年まで米国マサチューセッツ大学へご留学され、昭和46年2月に、文部省学術審

議会専門委員、同年4月に附属農場農産製造部主任、昭和49年4月から9月まで台湾中央研究院特約教授、昭和51年2月に日本学術会議農業科学研究連絡委員会委員、昭和58年8月から昭和60年8月まで北海道大学評議員、昭和59年11月に日本学術会議発酵学・農産物利用学研究連絡委員会委員、昭和62年4月から平成元年3月まで北海道大学農学研究科長・農学部長を務められ、昭和63年4月、紫綬褒章を授与されました。平成元年3月に停年により退職され、北海道大学名誉教授の称号を授与されました。その後、平成2年3月から平成8年2月まで帯広畜産大学学長を務められました。

先生は、一貫して農産物利用に係る様々な事例を有機化学の観点から研究を進められました。ご留学先ではマリクロットの色素、シリシクアシッドをご研究され、帰国後はナス、フキの変色に関わる化合物の研究に携わられました。ナス色素にナス果肉の汁液を加えると退色し、予め加熱処理した汁

液にその効果がない事を足がかりに、酵素の関与を明らかとされました。この研究に対して昭和36年6月、北海道大学から農学博士の学位を授与されるとともに、昭和39年4月、日本農芸化学会農芸化学賞(アントシアニンとその退色酵素に関する研究)を受賞されました。その後も生物学的事象を有機化学の観点から、苦味物質、植物病原菌の生産する毒素等の研究を続けられ、その集大成として、昭和56年4月、日本農学賞、読売農学賞を受賞されました。植物ホルモンとして認知されているエチレンやジャスモン酸の研究に欠かせない化合物を報告され、今日の植物生理学の分野にも多大な貢献をなされています。

先生の長年にわたるご功績に敬意を表し、多大な貢献に感謝申し上げ、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(農学院・農学研究院・農学部)

資料

令和2年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ

学部・学科等		募集 人員	入学者数		一般・AO・国際総合入試（備考）								その他		
					人数		比率		人数		比率				
			全体	女子	道内	道外	道内	道外	R1年度 卒業	過年度 卒業	R1年度 卒業	過年度 卒業	人数	比率	
総合入試文系		95	99	30	24	72	24.0%	73.0%	71	25	72.0%	25.0%	3	3.0%	
	国際総合入試	5	1	1	0	1	0.0%	100.0%	1	0	100.0%	0.0%	0	0.0%	
	計	100	100	31	24	73	24.0%	73.0%	72	25	72.0%	25.0%	3	3.0%	
総合入試理系	数学重点選抜群	129	131	16	41	88	31.3%	67.2%	90	39	68.7%	29.8%	2	1.5%	
	物理重点選抜群	233	234	17	88	146	37.6%	62.4%	136	98	58.1%	41.9%	0	0.0%	
	化学重点選抜群	233	239	48	81	157	33.9%	65.7%	146	92	61.1%	38.5%	1	0.4%	
	生物重点選抜群	175	178	66	33	143	18.5%	80.3%	119	57	66.9%	32.0%	2	1.1%	
	総合科学選抜群	247	249	77	82	166	32.9%	66.7%	167	81	67.1%	32.5%	1	0.4%	
	国際総合入試	10	5	2	0	3	0.0%	60.0%	3	0	60.0%	0.0%	2	40.0%	
	計	1,027	1,036	226	325	703	31.4%	67.9%	661	367	63.8%	35.4%	8	0.8%	
	文学部	155	162	75	53	107	32.7%	66.0%	107	53	66.0%	32.7%	2	1.2%	
教育学部		30	30	15	11	19	36.7%	63.3%	19	11	63.3%	36.7%	0	0.0%	
法学部		180	188	54	79	107	42.0%	56.9%	126	60	67.0%	31.9%	2	1.1%	
経済学部		160	163	36	69	93	42.3%	57.1%	109	53	66.9%	32.5%	1	0.6%	
理学部	数学科		13	13	4	3	9	23.1%	69.2%	10	2	76.9%	15.4%	1	7.7%
	物理学科		10	10	0	0	6	0.0%	60.0%	4	2	40.0%	20.0%	4	40.0%
	化学科		23	23	2	6	16	26.1%	69.6%	9	13	39.1%	56.5%	1	4.3%
	生物科学科	生物学専修分野	10	11	3	0	9	0.0%	81.8%	4	5	36.4%	45.5%	2	18.2%
		高分子機能学専修分野	5	5	3	0	5	0.0%	100.0%	5	0	100.0%	0.0%	0	0.0%
		小 計	15	16	6	0	14	0.0%	87.5%	9	5	56.3%	31.3%	2	12.5%
	地球惑星科学科		10	10	1	2	8	20.0%	80.0%	8	2	80.0%	20.0%	0	0.0%
計		71	72	13	11	53	15.3%	73.6%	40	24	55.6%	33.3%	8	11.1%	
医学部	医学科		102	102	25	45	56	44.1%	54.9%	65	36	63.7%	35.3%	1	1.0%
	保健学科	看護学専攻	67	67	62	48	19	71.6%	28.4%	53	14	79.1%	20.9%	0	0.0%
		放射線技術科学専攻	35	36	12	29	7	80.6%	19.4%	23	13	63.9%	36.1%	0	0.0%
		検査技術科学専攻	35	37	24	19	18	51.4%	48.6%	27	10	73.0%	27.0%	0	0.0%
		理学療法学専攻	17	19	10	13	6	68.4%	31.6%	6	13	31.6%	68.4%	0	0.0%
		作業療法学専攻	17	17	13	12	5	70.6%	29.4%	13	4	76.5%	23.5%	0	0.0%
		小 計	171	176	121	121	55	68.8%	31.3%	122	54	69.3%	30.7%	0	0.0%
	計		273	278	146	166	111	59.7%	39.9%	187	90	67.3%	32.4%	1	0.4%
歯学部		43	43	20	14	29	32.6%	67.4%	12	31	27.9%	72.1%	0	0.0%	
薬学部		24	26	12	8	17	30.8%	65.4%	13	12	50.0%	46.2%	1	3.8%	
工学部	応用理工系学科		38	42	5	6	31	14.3%	73.8%	18	19	42.9%	45.2%	5	11.9%
	情報エレクトロニクス学科		38	39	2	3	32	7.7%	82.1%	26	9	66.7%	23.1%	4	10.3%
	機械知能工学科		30	33	2	3	24	9.1%	72.7%	18	9	54.5%	27.3%	6	18.2%
	環境社会工学科		53	53	6	11	41	20.8%	77.4%	32	20	60.4%	37.7%	1	1.9%
	計		159	167	15	23	128	13.8%	76.6%	94	57	56.3%	34.1%	16	9.6%
農学部		53	54	12	6	48	11.1%	88.9%	30	24	55.6%	44.4%	0	0.0%	
獣医学部		35	39	20	2	36	5.1%	92.3%	22	16	56.4%	41.0%	1	2.6%	
水産学部		175	175	50	51	123	29.1%	70.3%	107	67	61.1%	38.3%	1	0.6%	
現代日本学プログラム		－	20	14	－	－	－	－	－	－	－	－	20	100.0%	
合 計		2,485	2,553	739	842	1,647	33.0%	64.5%	1,599	890	62.6%	34.9%	64	2.5%	

備考：「一般・AO・国際総合入試」の欄には、高等学校卒業程度認定試験合格者、高等専門学校第3学年修了者、外国の学校等卒業者、帰国子女入試による入学者及び外国人留学生は含まれない。これらの入学者は、「その他」の欄に計上している。

（学務部入試課）

令和2年度入学者の都道府県分布及び地域比率

地 域 名	入学者	男子	女子	地域%
-------	-----	----	----	-----

北 海 道	842	557	285	33.0%
-------	-----	-----	-----	-------

東 北	103	72	31	4.0%
-----	-----	----	----	------

青 森 県	13	10	3
岩 手 県	17	11	6
宮 城 県	40	28	12
秋 田 県	17	12	5
山 形 県	7	6	1
福 島 県	9	5	4

関 東	673	512	161	26.4%
-----	-----	-----	-----	-------

茨 城 県	41	25	16
栃 木 県	29	24	5
群 馬 県	20	15	5
埼 玉 県	96	80	16
千 葉 県	76	61	15
東 京 都	270	199	71
神 奈 川 県	141	108	33

北 陸 ・ 中 部	347	251	96	13.6%
-----------	-----	-----	----	-------

新 潟 県	38	27	11
富 山 県	34	27	7
石 川 県	40	28	12
福 井 県	13	11	2
山 梨 県	14	11	3
長 野 県	24	16	8
岐 阜 県	13	9	4
静 岡 県	60	42	18
愛 知 県	111	80	31

地 域 名	入学者	男子	女子	地域%
-------	-----	----	----	-----

近 畿	325	235	90	12.7%
-----	-----	-----	----	-------

三 重 県	22	18	4
滋 賀 県	13	9	4
京 都 府	41	31	10
大 阪 府	110	83	27
兵 庫 県	76	55	21
奈 良 県	42	29	13
和 歌 山 県	21	10	11

中 国 ・ 四 国	123	95	28	4.8%
-----------	-----	----	----	------

鳥 取 県	8	7	1
島 根 県	8	5	3
岡 山 県	19	16	3
広 島 県	41	33	8
山 口 県	12	8	4
徳 島 県	6	5	1
香 川 県	11	7	4
愛 媛 県	14	11	3
高 知 県	4	3	1

九 州 ・ 沖 縄	76	55	21	3.0%
-----------	----	----	----	------

福 岡 県	24	18	6
佐 賀 県	3	1	2
長 崎 県	8	3	5
熊 本 県	4	4	0
大 分 県	8	7	1
宮 崎 県	6	5	1
鹿 児 島 県	3	3	0
沖 縄 県	20	14	6

そ の 他	64	37	27	2.5%
-------	----	----	----	------

高等学校卒業程度認定試験等	17	11	6
帰 国 子 女 入 試	4	2	2
外 国 人 留 学 生	43	24	19

入 学 者 数 合 計	2,553	1,814	739
-------------	-------	-------	-----

地域別入学者数割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

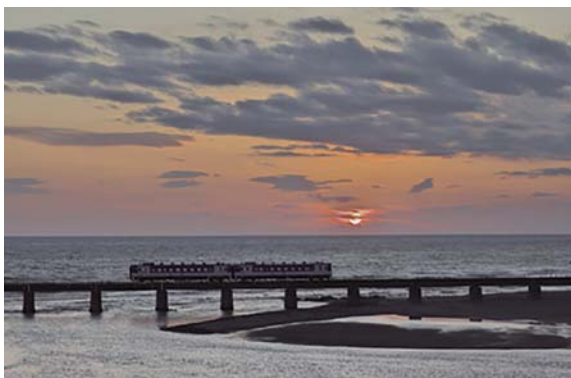
(学務部入試課)

編集メモ

北大時報No.709（平成25年4月号）から皆様にお楽しみいただいた連載「北の鉄道風景」。先月のNo.792（令和2年3月号）で最終回を迎えました。

84回にわたって、各地の鉄道風景と素敵な文章を執筆してくださった山本先生に、心より御礼申し上げます。連載写真を振り返るとともに、山本先生から皆様へのメッセージを掲載させていただきます。

平成25年4月号（No.709）掲載 北の鉄道風景（1）太平洋に沈む夕日



2011.4.17 日高本線 厚賀～大狩部（日高町・新冠町）

平成26年4月号（No.721）掲載 北の鉄道風景（13）桜咲く頃に



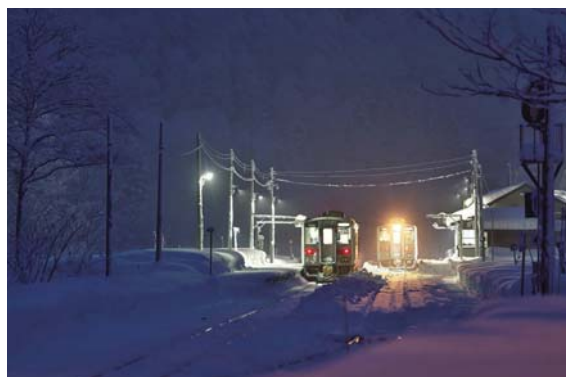
2005.5.8 函館本線 七飯～大沼（七飯町）

平成29年9月号（No.762） 北の鉄道風景（54）噴火湾秋景



2016.9.11 室蘭本線 有珠～長和（伊達市）

平成31年1月号（No.778）掲載 北の鉄道風景（70）列車交換



2016.1.2 留萌本線 峠下（留萌市）

2013（平成25）年4月号から開始しました「北の鉄道風景」ですが、先月号をもって、7年間にわたる連載を終わらせていただくこととなりました。このシリーズを続けてきました7年間で、北海道の鉄道を取り巻く環境は大きく変化しました。その結果、この連載で紹介させていただきました鉄道風景のいくつかが北の大地から消えてしまい、もう二度と見られなくなってしまうことに寂しさを禁じえません。連載を終えるにあたりまして、ご声援をくださった読者の皆様と、この連載の機会をくださった広報課のご関係の皆様に心より御礼申し上げます。

（情報科学研究院 准教授 山本 学）

裏表紙メモ

今月号から、裏表紙では「キャンパス風景」を連載します。北海道大学のキャンパスの風景を様々な角度からご紹介する予定です。

初回は、「北海道大学の顔」、正門。現在の門は、1936年、昭和天皇の来学にあたり新たに築造された門です。4月上旬の撮影当日は、新入生がご家族と正門前で記念撮影をする姿が多く見られました。

キャンパス風景 **1** 正門（北8条西5丁目）



北大時報 ④ No.793 令和2年4月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。 <https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html>